TOSHIBA

REGZA

地上･BS･110度CS
デジタルハイビジョン液晶テレビ
取扱説明書

32Z2000／37Z2000
42Z2000／47Z2000

操作編

:: はじめに 02

:: テレビを見る 08

:: 便利な機能を使う 20

:: 録画･予約をする 32

:: LAN HDDやi.LINK機器などに録画した番組を見る 41

:: インターネットを楽しむ 47

:: お好みや使用状態に合わせて設定する 53

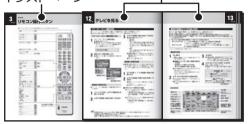
:: その他 困ったときには… 60

：：最初に「準備編」（別冊）をお読みください。
：：本書ではテレビの操作のしかたについて説明しています。
：：映像や音声が出なくなった、操作ができなくなったなどの場合は、「困ったときには…」をご覧ください。

お求めのテレビを安全に正しく使っていただくため、お使いになる前にこの取扱説明書「操作編」と別冊の「準備編」をよくお読みください。
お読みになったあとは、いつも手元に置いてご使用ください。

本機の特長

この取扱説明書の見かた

はじめにこのページを開きます。

操作説明のページを開き、リモコンのイラストでボタンの位置を確認しながら操作します。

リモコンのボタンは、説明文中でイラストで示しています。
機能が二つあるボタンでは、次の例のように図示しています。

実物	文章中の表示と意味
文字 画面表示	文字 画面表示　「文字」ボタンとして使用することを意味します。
	画面表示　「画面表示」ボタンとして使用することを意味します。

ページ番号は上に記載しています。

この取扱説明書内のマークの見かた

参照していただきたい情報が記載されているページの番号を示しています。

取扱上のお願いを記載しています。

取扱上のご注意を記載しています。

機能などの補足説明、参考にしていただきたいこと、制限事項などを記載しています。

地上デジタル、BSデジタル、110度CSデジタル放送受信

※地上デジタル放送で本機が受信できるのは、ご家庭のテレビで受信する固定受信サービスと、車などでの受信も考えた移動体受信サービスです。
携帯電話などで受信できる部分受信サービスは受信できません。（準備編 97）
また、地上デジタル音声放送は受信できません。
（「ラジオ放送の特長」準備編 96）

デジタル放送でダブルチューナーを搭載

●地上デジタル放送を見ながら、別の地上デジタル放送番組を外部機器に録画したり、二画面表示で2番組を同時に見ることができます。
（BS/CSデジタル放送の場合も、同様のことができます。）

フルHD対応IPS液晶パネル搭載

●高画質なハイビジョン番組をお楽しみいただけます。
（32Z2000はWXGAパネルです）

4th MEDIA（フォースメディア）に対応

●インターネットの光回線（NTT東日本、またはNTT西日本のフレッツ回線が必要です）を利用して、多チャンネル放送やビデオなどを楽しむことができます。11
● ハイビジョンサービスもお楽しみいただけます。

多彩な画質調整機能

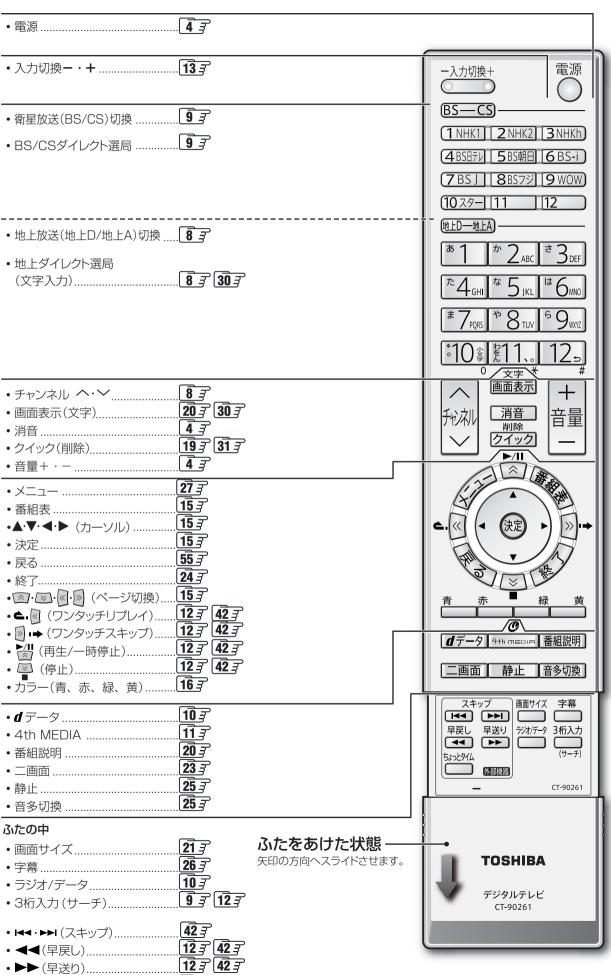
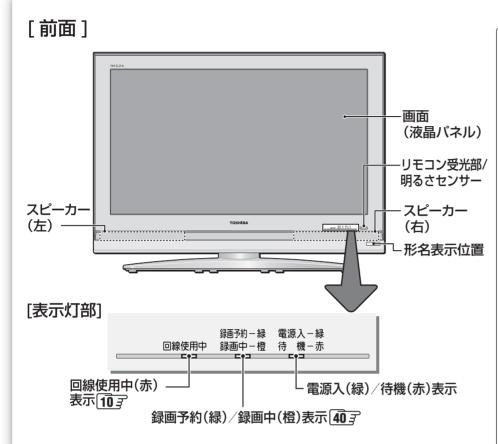
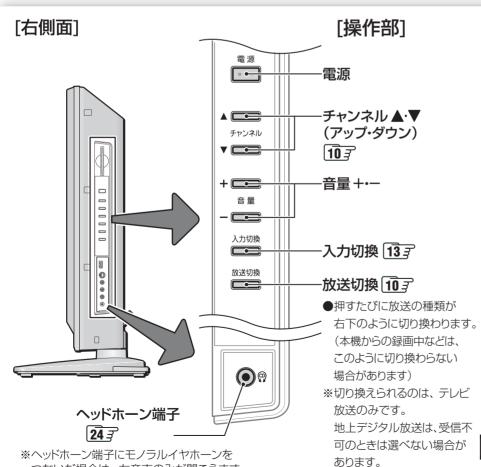
●テレビ画面に表示されている色を指定して、色あいや色の濃さなどを調整できます。56
（たとえば空の青さなどを自分のイメージに近づけて表示できます。）
また、レッド、グリーンなどの基本となる色ごとに色あいや色の濃さなどを調整できます。55
●デジタル放送やDVDのノイズを低減する「MPEG NR」、映像のざらつきやちらつきを低減する「ダイナミックNR」、バックライトを自動調整してメリハリのある映像にする「ヒストグラムバックライト制御」などを搭載しています。57、58

● この取扱説明書は、32Z2000、37Z2000、42Z2000、47Z2000で共用です。
使用しているイラストは32Z2000のものです。37Z2000、42Z2000、47Z2000はイメージが多少異なります。

リモコン操作ボタン

●イラストは、見やすくするために誇張や省略などをしており、実際とは多少異なります。

各部のなまえと基本の操作

[前面]

電源を入れるには

表示ランプが消えているとき

[表示灯部]　[右側面操作部]

電源入－緑
待　機－赤

電 源

表示ランプが赤色に点灯しているとき
（待機状態のとき）

[表示灯部]　[リモコン]

電源入－緑
待　機－赤

電源

電源を切るには

待機状態にするには

[リモコン]　[表示灯部]

電源

電源入－緑
待　機－赤

（赤）

[右側面]　[操作部]

●押すたびに放送の種類が右下のように切り換わります。（本機からの録画中などは、このように切り換わらない場合があります）

※切り換えられるのは、テレビ放送のみです。地上デジタル放送は、受信不可のときは選べない場合があります。

※ヘッドホーン端子にモノラルイヤホーンをつないだ場合は、左音声のみが聞こえます。

デジタルメディア対応の入力／出力端子を搭載

●HDMI端子にHDMI端子付きのDVDプレーヤーなどをつなぎ、映像、音声をデジタル信号のまま高品質で伝送して、視聴することができます。（準備編 48）
●USB端子にデジタルカメラやメモリーカードリーダー（ライター）などをつないで、写真（JPEGファイル）をテレビ画面で見ることができます。（準備編 51）

LAN HDDやi.LINK録画機器をつないでデジタル録画できます

●LAN HDDやi.LINK録画機器にデジタルハイビジョン番組を録画することができます。（32、準備編 52）

インターネット対応／Eメールを使った録画予約機能

●パソコンを使わずにテレビだけでインターネットを楽しめます。47
また、携帯電話やパソコンのEメールから録画予約ができます。36
※インターネットやEメールを使った録画予約機能を利用するには、ブロードバンド環境が必要です。

東芝独自の「テレビdeナビ」予約を搭載

●LAN端子付きの東芝HDD&DVDビデオレコーダーと連携して、デジタル放送番組を簡単に録画予約することができます。32

■ テレビの正しい見かた

■ 部屋の明るさは新聞が読める程度で

● 明るすぎ、暗すぎは目を疲れさせます。
時々、目を休めましょう。

■ 音量は適切に

● 音量は周囲に迷惑にならないように、適切な大きさでお聞きください。特に夜間はご注意ください。

もくじ

操作編（本書）

はじめに

本機の特長 …… 2
この取扱説明書の見かた …… 2
この取扱説明書内のマークの見かた …… 2
リモコン操作ボタン …… 3
各部のなまえと基本の操作 …… 4
電源を入れるには …… 4
電源を切るには …… 4
音量を調整するには …… 4

テレビを見る

地上アナログ放送を見る …… 8
地上デジタル放送を見る …… 8
BSデジタルや110度CSデジタル放送を見る …… 9
3ケタ（桁）のチャンネル番号で選ぶ（デジタル放送の場合） …… 9
ラジオやデータ放送を楽しむ …… 10
4th MEDIA（フォースメディア）を楽しむ …… 11
はじめに …… 11
4th MEDIAの見かた …… 11
ビデオやDVDなどの外部機器を見る …… 13
ペイ・パー・ビュー番組を見る …… 14
ペイ・パー・ビュー番組を購入する …… 14
番組表で選んで見る …… 15
番組表で選ぶ …… 15
番組表を便利に使う …… 16
クイックメニューでできること …… 18
クイックメニューを使う …… 19

便利な機能を使う

番組情報を見る …… 20
番組説明を見る …… 20
画面サイズを切り換える …… 21
二画面で見るには …… 23
ヘッドホーンモードを設定する …… 24
インターネットを二画面で見る …… 24
映像を一時静止する …… 25
音声多重放送を視聴する …… 25
映像、音声、データを切り換える …… 25
字幕を見る …… 26
降雨対応放送について …… 26
オフタイマーを使う …… 26
お知らせを見る …… 27
写真をテレビで見る …… 28
カラーボタンでできること …… 29
文字入力をする …… 30
市販のUSBキーボードを使う …… 31

録画・予約をする

見ている番組を録画する（外部機器録画） …… 33
番組表から録画・予約する（番組指定録画／予約） …… 34
現在放送中の番組を選んだ場合 …… 34
これから放送される番組を選んだ場合 …… 34
E メールで録画予約をする …… 35
パソコンや携帯電話で予約する …… 35
テレビサーフモバイルサービスで予約する …… 36
日時を指定して予約する（日時指定予約） …… 37
録画設定を変更する場合 …… 38
予約内容を確認する・予約を取り消す …… 39
予約番組の優先順位について …… 39
予約設定時にメッセージが表示された場合 …… 40
東芝 RD デジタルでの予約（録画）のご注意 …… 40
予約の動作について …… 40

LAN HDD や i.LINK 機器などに録画した番組を見る

基本の操作～番組を見る～ …… 41
LAN HDD の場合 …… 41
i.LINK 接続した機器の場合 …… 41
基本の操作～リモコンで操作する～ …… 42
機器操作中にはこんなこともできます！ …… 43
「ちょっとタイム」機能 …… 44
録画リストではこんなこともできます！ …… 45
機器選択画面ではこんなこともできます！ …… 46

インターネットを楽しむ

インターネットを楽しむ …… 47

お好みや使用状態に合わせて設定する

お好みの映像を選ぶ …… 53
お好みの映像に調整する …… 53
映像をより細かく調整する …… 54
色を細かく調整する
（カラーイメージコントロールプロ） …… 55
カラーパレットプロ調整 …… 55
ノイズリダクション（NR）設定 …… 57
ドット・クロスカラーリダクション設定 …… 57
ヒストグラムバックライト制御 …… 58

明るさセンサー **58**
ファインシネマ設定 **58**
画面振幅位置調整 **58**
ステレオ／モノラルの設定 **59**
お好みの音声に調整する **59**
WOW 設定 **59**
省エネ設定 **60**

その他

B-CAS カード番号表示 **60**
ダウンロードについて **61**
ダウンロード機能とは 61
困ったときには **63**
以下をご確認ください 63
自然現象や本機の特性に関すること 63
基本操作 63
映像 64
音声 64
デジタル放送関係 65
録画・再生 68
USB 機器関係 70
4th MEDIA（フォースメディア）関係 70
インターネット関係 70
エラー表示、メッセージ表示について 71
メニュー 一覧 **78**
Basic Operations **80**
アイコン一覧 **82**
USB 端子に接続できる機器について **83**
お手入れについて **83**
さくいん **84**
仕様 **87**
B-CASカードID番号記入欄 **89**
保証とアフターサービス .... **裏表紙**

※ 以下は別冊のもくじです。（一部省略しています。準備編もよくお読みください。）

準備編（別冊）

ご使用の前に

安全上のご注意
使用上のお願いとご注意
必ずお読みください

設置と基本の接続・設定

各部のなまえ
リモコンの準備
テレビを設置する
B-CAS(ビーキャス)カードを入れる
アンテナの接続
電話回線の接続
LAN端子の接続（1）～インターネット～
LAN端子の接続（2）～ 4th MEDIA ～
LAN端子についてのお知らせとご注意
電源を入れる
アンテナの設定と調整
はじめての設定をする

他の機器をつなぐ

本機に接続できる外部機器一覧
他の機器をつなぐ（1）
DVDプレーヤーをつなぐ
ビデオをつなぐ
ビデオ録画方式設定をする
東芝RDシリーズ（東芝製ビデオレコーダー）をつなぐ
HDMI端子付の機器をつなぐ
ステレオにつなぐ
ゲーム機をつなぐ
USB機器をつなぐ
他の機器をつなぐ（2）
LAN HDD、パソコン、DLNA認定サーバーをつなぐ
i.LINK機器をつなぐ

個別に設定をするとき

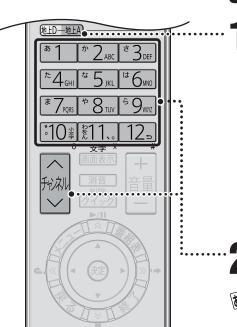
アンテナ設定
チャンネル設定（自動設定、手動設定など）
データ放送設定（郵便番号と地域の設定など）
通信設定（電話回線設定、通信接続設定など）
録画機器設定（i.LINK設定、LAN HDD設定など）
メール設定（基本設定、メール録画予約設定）
4th MEDIA（フォースメディア）設定
簡易確認テスト
選局機能設定（キーワード登録など）
視聴制限設定（視聴年齢制限、暗証番号など）
機能設定（ビデオ入力表示など）
音声設定（光デジタル音声出力の設定など）

その他

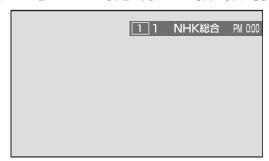
お買い上げ時の状態に戻すには
各種お問い合わせ先
メニュー 一覧

資料

デジタル放送について
本機で市販のキーボードを使う場合の動作について
地上アナログ放送の自動設定一覧表
地上デジタル放送の放送（予定）一覧表
用語について
東芝デジタルテレビZ2000で使われる
ソフトウェアのライセンス情報
東芝デジタルテレビZ2000で使われるフリー
ソフトウェアコンポーネントに関するエンド
ユーザーライセンスアグリーメント原文（英文）
保証とアフターサービス

テレビを見る

地上アナログ放送を見る

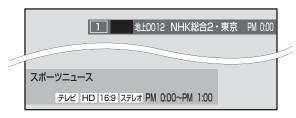
1 地上D―地上A で地上アナログ放送を選ぶ

（すでに地上アナログ放送を見ている場合は押す必要はありません）

2 1 ～ 12 または チャンネル で見たいチャンネルを選ぶ

- お買い上げ時の設定ではVHF放送の1～12チャンネルを選ぶことができます。
- 「はじめての設定」（準備編 32 ）をすれば、お住まいの地域で放送されているチャンネルを選ぶことができるようになります。
- 地上デジタル放送の開始に伴ってチャンネルが変更された場合や、CATV（ケーブルテレビ）放送の設定をする場合は、「手動設定」（準備編 63 ）をご覧ください。

地上デジタル放送を見る

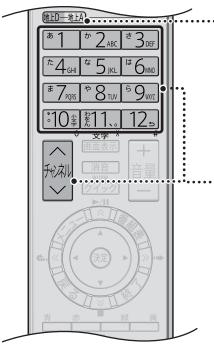
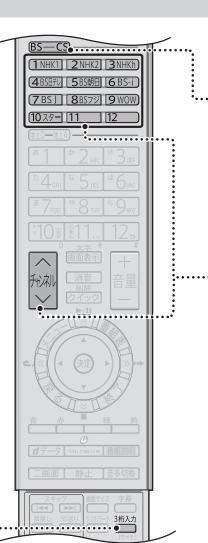
1 地上D―地上A で地上デジタル放送を選ぶ

（すでに地上デジタル放送を見ている場合は押す必要はありません）

2 1 ～ 12 または チャンネル で見たいチャンネルを選ぶ

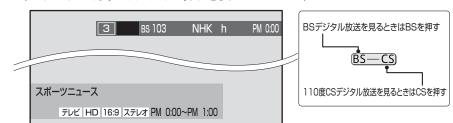
- 1 ～ 12 の各ボタンに登録された放送局が複数の番組を放送している場合は、そのボタンを繰り返し押せば番組を順に選ぶことができます。
- 地上デジタル放送では、お住まいの地域以外の放送も受信できている場合に、同じチャンネル番号が重複することがあります。この場合はチャンネル番号の次に付く枝番と呼ばれる番号で区別して選びます。（選びかたは次ページの「3ケタ（桁）のチャンネル番号で選ぶ」をご覧ください）

- お買い上げ時の設定では地上デジタル放送は映りません。「はじめての設定」（準備編 32 ）をすれば、お住まいの地域で視聴できる地上デジタル放送チャンネルを選ぶことができるようになります。
- 視聴できるチャンネルは番組表 15 で確認することができます。
- 「自動スキャン」（準備編 62 ）の機能によって、新たに開局したチャンネルや中継局の新設・変更があった場合にそれらが自動的に設定されます。「自動スキャン」を使わないで、「再スキャン」（準備編 62 ）で変更することもできます。
- チャンネル で選ぶときのチャンネルの順番は、放送の運用規定に従います。（番号順にならない場合があります）また、一つの放送局が同じ番組を複数のチャンネルで放送しているときは、代表チャンネルだけの選局となります。

■ **BSデジタルや地上デジタル放送の場合**

- 番組情報を取得する前に チャンネル でチャンネルを選ぶと、ハイビジョン番組の場合でも代表チャンネルだけではなく、すべてのチャンネル（例えばBS141、142、143）が選局されます。

BSデジタルや110度CSデジタル放送を見る

1 BS—CS で放送の種類を選ぶ

（チャンネルを変えるだけなら押す必要はありません）

2 1 NHK1 ～ 12 または で見たいチャンネルを選ぶ

● 一つのダイレクト選局ボタンを繰り返し押すと、チャンネルが切り換わる場合もあります。

例：4 BS日テレ を押すたびに141、142、143の順に選局できます。

お知らせ

● 一部のチャンネルや番組には、受信契約が必要なものや番組ごとに料金がかかるものがあります。未契約のチャンネルや有料番組 14ページ を選ぶと、画面にメッセージが表示されます。
● 視聴できるチャンネルは番組表 15ページ で確認することができます。
● ダイレクト選局ボタンに放送メディアの割当てをすれば、そのボタンでラジオ放送やデータ放送も選ぶことができるようになります。
● チャンネル で選ぶ場合、一つの放送局が同じ番組を複数のチャンネルで放送しているときは、代表チャンネルだけの選局となります。（番組情報を取得するまでは、すべてのチャンネルが選局されます）
● BSデジタル放送の場合、お買い上げ時にはリモコンボタン 1 NHK1 ～ 10 スター に表示された放送が設定されています。
11 、12 には、将来放送が予定されているBSチャンネルが設定されています。（放送が始まるまでは「該当するチャンネルはありません。」が表示されます）
● 110度CSデジタル放送の場合、お買い上げ時には 1 NHK1 と 2 NHK2 にCSプロモーションCHが設定されています。（ほかのボタンには設定されていません）

3ケタ（桁）のチャンネル番号で選ぶ（デジタル放送の場合）

1 3桁入力（ふたの中）を押す

● 画面の右上に、BS--- または CS--- または 地上D--- が表示されます。（放送の種類はそのときの状況によって変わります）
● 放送の種類を切り換えるには、3桁入力（ふたの中）を繰り返し押します。

2 1 ～ 10(0)で3ケタのチャンネル番号を押す

● たとえば103チャンネルを選ぶ場合 ➡ 1 10 3 の順に押す。（10 は「0」として使います）
● ラジオ/データ放送 10ページ のチャンネルを選ぶこともできます。その場合は、それぞれの放送メディアに切り換わります。

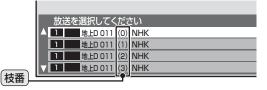
■ 見たいチャンネルの3ケタの番号がはっきりとわからない場合

● ＊ボタン（11＊）を使って、次のように選ぶことができます。

例1： 300番台のチャンネルを見たいとき 3 11＊ の順に押します。
→ 300番台で放送されている一番小さい番号のチャンネルが選ばれます。
300番台で放送されているチャンネルがない場合は、400番台以降のチャンネルが選ばれます。

例2： 450番台のチャンネルを見たいとき 4 5 11＊ の順に押します。
→ 450番台で放送されている一番小さい番号のチャンネルが選ばれます。
450番台で放送されているチャンネルがない場合は、460番台以降のチャンネルが選ばれます。

■ 枝番の付いた放送一覧（右図）が表示された場合

● ▲･▼で選んで 決定 を押すか、10(0)～ 9 で枝番（カッコ内の数字）を指定して選びます。

● お買い上げ直後や「設定の初期化」（準備編 91ページ）をした直後などに、一部のBSデジタル放送、110度CSデジタル放送チャンネルを3ケタの番号指定で選ぶことができない場合があります。
● 枝番の付いた放送一覧は、地上デジタル放送で隣接地域の同じチャンネル番号の放送が複数受信できたときに表示されます。

テレビを見る つづき

ラジオやデータ放送を楽しむ

● デジタル放送では映像や音声によるテレビ放送以外に、ラジオ放送とデータ放送があります。(地上アナログ放送にはラジオ放送やデータ放送はありません)

■ **ラジオ放送**

● ラジオ放送は、BSデジタル放送と110度CSデジタル放送で行われています。(地上デジタル放送にはラジオ放送はありません。110度CSデジタル放送では、2006年7月現在ラジオ放送は放送されていません)

● 放送内容に連動して画像が楽しめるものと、音声のみのラジオ放送があり、番組によって音楽CD並みの高音質を楽しむことができます。

■ **データ放送**

● 便利な情報やさまざまなニュースを見たり、クイズやゲームなどの双方向サービスを楽しんだりできます。データ放送には以下の2種類があります。操作のしかたは番組によって異なります。画面に表示される操作指示に従って操作をしてください。

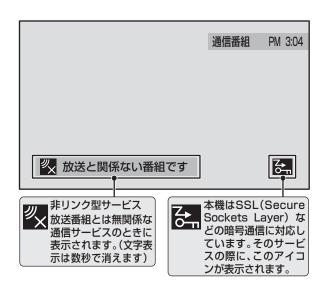
◆ **独立データ放送**

・ 番組とは無関係の独立したデータ放送です。

◆ **番組連動データ放送**

・ テレビ放送やラジオ放送の番組に連動して視聴できる放送サービスです。

■ **地上デジタル放送の双方向サービスについて**

● 地上デジタル放送の双方向サービスには、放送番組に連動した通信サービスと、放送番組とは無関係な通信サービスがあります。

ラジオまたは、独立データ放送を楽しむ

1 **デジタル放送を見ているときに、ラジオ/データ(ふたの中)を押す**

● 押すたびに以下のように切り換わります。

テレビ放送 ➡ ラジオ放送 ➡ 独立データ放送 (➡ テレビ放送に戻る)

● 地上デジタル放送にはラジオ放送はありません。

● チャンネル で他のチャンネルに切り換えられます。

● 前ページの操作で3ケタのチャンネル番号を入力して選ぶこともできます。

番組連動データ放送を楽しむ

1 **デジタル放送を見ているときに 画面表示 を押す**

● テレビd 、ラジオd が表示された場合、データ放送があります。

2 **dデータ を押す**

● 番組によっては押す必要がない場合があります。

● 画面に表示される操作指示に従って操作をしてください。

● データ放送を終了するには、クイック を押し、▲·▼で「データ放送終了」を選び、決定 を押します。

お知らせ

● インターネットを利用した双方向サービスでは、お客様の個人情報の入力を要求される場合がありますが、接続先のサイトによってはSSL(準備編 110)などによる通信時のセキュリティ対策が行われていない場合があります。

● 双方向サービスを利用する場合は、あらかじめ電話回線やLAN端子の接続と設定(準備編 26 、27 、70 ～ 74)をしてください。また、双方向サービス利用に必要な登録の申し込みをしてください。(付属の「ファーストステップガイド」をご覧ください)

● 双方向サービスの通信中は本体の「回線使用中」表示が点灯し、同一回線上の電話機やファクシミリなどは使えません。また、通話料がかかる場合があります。

● 通信に時間がかかり、次の操作がすぐにできないことがあります。

● テレビの動作中に電源プラグを抜かないでください。本機が記憶している双方向サービスでのお客様のポイント情報などが更新されないことがあります。

● 放送データの取得中は、一部の操作ができないことがあります。

● 画面の操作指示で、テレビd 、ラジオd は「データボタン」「データ放送ボタン」などと表示される場合があります。

● 本体の放送切換ボタンとチャンネルボタンでは、データ放送とラジオ放送の選択やチャンネル切換はできません。

● 本機は、ブックマーク機能や登録発呼機能には対応していません。

4th MEDIA(フォースメディア)を楽しむ

はじめに

4th MEDIAとは

- インターネットの光回線(NTT東日本、またはNTT西日本のフレッツ回線)を利用して多チャンネル放送やビデオなどを楽しめる有料のブロードバンド映像配信サービスです。(あらかじめ、接続と設定が必要です)
- 標準画質でのサービスのほかに、ハイビジョンでのサービスも予定されています。
  ※ ご使用の回線のスピードによっては、ハイビジョンサービスをご利用になれない場合があります。

4th MEDIAにはテレビサービスとビデオサービスなどがあります(2006年8月現在)

- テレビサービス … 50チャンネル以上の放送があります。
- ビデオサービス … 映画やドラマなど数多くのビデオをお好きな時間に楽しむことができます。早送り、早戻し、一時停止などもできます。

※ サービスの内容は、契約内容(料金プラン)によって異なります。上記サービスのほか、スペシャルサービス、カラオケサービスなどもあります。

この取扱説明書では、基本操作のみを記載しています

- ほかの操作については、「4th MEDIAのお問い合わせ・お申し込みはこちらから」(準備編 93)をご覧ください。
- 画面のイラストは一例であり、ご契約のプロバイダーによって異なります。

4th MEDIAを楽しむための準備

「4th MEDIAのお問い合わせ・お申し込みはこちらから」(準備編 93)を参照の上、4th MEDIAの申込みをする

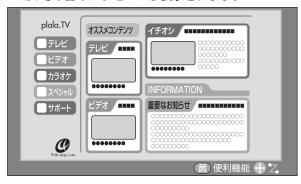
4th MEDIAの接続(準備編 28)と設定(準備編 83)をする

4th MEDIAの見かた

1 (4th MEDIAボタン)を押す

- しばらくすると4th MEDIAのトップページが表示されます。

※ **回線の状態によっては、時間がかかります。**

- 4th MEDIA設定(準備編 83)をしていない場合は、その旨のメッセージが表示されます。

2 ▲·▼·◀·▶で「テレビ」または「ビデオ」を選び、決定を押す

- テレビサービス、またはビデオサービスのトップページが表示されます。

3 ▲·▼·◀·▶で項目やチャンネルを選び、決定を押す

- この操作を繰り返してチャンネルやビデオを選びます。(視聴画面での操作は次ページをご覧ください)
- 購入画面などが表示されたら、画面の表示に従って操作してください。

4 4th MEDIAを終了するには 終了 を押す

- (4th MEDIAボタン)を押しても終了します。
- 「4th MEDIAを終了してよろしいですか?」が表示された場合は、◀·▶で「はい」を選んで、決定を押してください。

お知らせ

- 手順**1**や手順**2**の画面では、黄を押して、「便利機能」を使うことができます。13、47(「便利機能」は、4th MEDIAがサービスしている機能ではなく、本機独自の機能です)
- 4th MEDIAの視聴中に録画予約や視聴予約の開始時刻になると、4th MEDIAを終了して予約を実行します。
- LAN HDDでの録画中には、4th MEDIAは視聴できません。
- 4th MEDIAサービスをLAN HDDやi.LINK機器にデジタル録画することはできません。

4th MEDIA(フォースメディア)を楽しむ つづき

テレビサービスの視聴画面での操作

チャンネルを変える

● 順に選ぶとき

❶ チャンネル を押す

● チャンネルを指定して選ぶとき

❶ 3桁入力(ふたの中)を押す

❷ 1 〜 10/0 (0)で3ケタのチャンネル番号を押す

※ 間違えて入力したときは、3桁入力を押して、入力画面を消してから、再度3桁入力を押して入力し直してください。

音多切換をする

● 音声多重のテレビサービスでは、主音声と副音声が同時に聞こえます。

● 聴きたい音声を選ぶには、音多切換を押します。音多切換を押すたびに、次のように切り換わります。

※ 選局操作などをすると「主：副」に戻ります。

テレビサービスの選択画面に戻るには

❶ 戻る または ■(停止)を押す

チャンネルなどの情報を見るには

❶ 画面表示 を押す

● 情報表示を消すには、もう一度押します。

ビデオサービスの視聴画面での操作

※ サービス提供者側の状況によっては、各操作が実行されるのに時間がかかる場合があります。

基本の操作

● ▶/II(再生・一時停止)、早戻し、早送り(ふたの中)で操作します。

● 「ワンタッチスキップ：» ➡」「ワンタッチリプレイ：⬅ «」もできます。42

時間を指定して再生する(タイムサーチ)

❶ (サーチ)(ふたの中)を押す

● 画面右上に が表示されます。

❷ 1 〜 10/0 で時間を指定する

例)最初から1時間25分5秒後の位置を指定するとき

➡ 10/0 1 2 5 10/0 5 と6ケタの数字を押す

※ 間違えて入力したときは、(サーチ)を押して、入力画面を消してから、再度(サーチ)を押して入力し直してください。

音多切換をする

● 音声多重のビデオサービスでは、主音声と副音声が同時に聞こえます。

● 聴きたい音声を選ぶには、音多切換を押します。音多切換を押すたびに、次のように切り換わります。

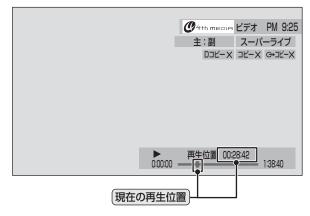
※ ビデオの視聴を終了すると「主：副」に戻ります。

ビデオ再生開始前の画面に戻るには

❶ 戻る または ■(停止)を押す

ビデオなどの情報を見るには

❶ 画面表示 を押す

● 情報表示を消すには、もう一度押します。

便利機能を使う

※「便利機能」は、4th MEDIAがサービスしている機能ではなく、本機独自の機能です。

1 4th MEDIAを見ているときに 黄 を押す

● 便利機能リストが表示されます。

2 ◀･▶で機能を選び、決定を押す

● 機能（アイコン）を選ぶとき、機能名が表示されます。
※ ここで設定した内容は、4th MEDIA を終了すると設定前の状態に戻ります。

アイコン、機能名	内容
「戻る」	一つ前のページに戻ります。
「進む」	一つ先のページに進みます。
「再読み込み」 「中止」	:表示しているページを読み込みし直します。 : 読込み中に読込みを中止します。（読込み中のときはが表示され、それ以外のときはが表示されます）
「スタートページ」	4th MEDIA のトップページに戻ります。
メニュー	· ページ操作……上記の「戻る」「進む」「再読込み / 中止」と同じです。 · 新しいページ…上記の「スタートページ」と同じです。 · 高度な操作……「いろいろな設定」50 をご覧ください。 · ブラウザ設定…以下をご覧ください。 「表示設定」50 「セキュリティー設定」51 「Cookie 設定」51 「ブラウザ情報」52

4th MEDIAの視聴制限について

● 4th MEDIAの視聴制限には、視聴年齢制限と番組購入制限があります。（視聴制限の設定については準備編 83 をご覧ください）
チャンネルやビデオを視聴する際に、視聴制限を超えている場合は暗証番号の入力が必要です。（その際、「ペアレンタルロックが設定されています。暗証番号を入力してください。」などのメッセージが表示されます）
※ ペイ・パー・ビューなどデジタル放送の視聴制限（準備編 86 ）と、4th MEDIAの視聴制限は別の設定です。
● 視聴年齢制限のあるプレミアムチャンネルの申込みをする際には、年齢認証キー※1の入力が必要です。（※1印については、別途お申込みが必要です）

ビデオやDVDなどの外部機器を見る

1 見たい機器の電源を入れ、機器がつないであるビデオ入力を 入力切換 で選ぶ

● 入力切換 を押すと、画面右上に入力端子一覧が表示され、入力切換 を押すたびに以下のように切り換わります。（切り換えてから映像が出るまでに少し時間がかかります）
入力切換 を押すと、逆の順に切り換わります。

● お買い上げ時は、ビデオ1からビデオ4までは、外部機器がつながっているかどうかを自動的に検知し、何もつながっていない入力端子をスキップする設定になっています。
※「ビデオスキップ設定」（準備編 89 ）で変更することができます。
● HDMI1からHDMI3、LAN、i.LINKについては、「ビデオスキップ設定」（準備編 89 ）で設定すると、使わない入力端子をスキップすることができます。

2 接続されている外部機器を操作する

● LAN HDDやi.LINK機器の場合は 41 をご覧ください。

お知らせ

■「ビデオやDVDなどの外部機器を見る」について
● 本体の入力切換ボタンは、リモコンの 入力切換 と同じ働きをします。
● 入力切換 を押し、入力端子一覧から▲･▼で切り換えたい入力を選び、決定 を押して切り換えることもできます。
● 入力切換時に画面に表示される「DVD」などの機器名を変えることができます。（準備編 88 「ビデオ入力表示設定」）
● ビデオ3を選んだときはゲームに適した画質と画面サイズになるように設定されています。一時的にビデオなどをつないで使うときは、ビデオ3を選んでから 映像 を押してください。常にテレビゲーム機以外の機器をつなぐときは、ビデオ入力3を「ゲーム」以外に設定してご使用ください。（準備編 88 「ビデオ入力表示設定」）

テレビを見る つづき

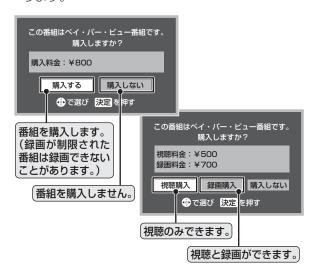
ペイ・パー・ビュー番組を見る

● ペイ・パー・ビュー(PPV)番組とは、番組ごとに視聴料金を払って購入する有料番組のことです。
● 2006年7月現在、本機が対応している放送でペイ・パー・ビュー番組は放送されていません。

ペイ・パー・ビュー番組を購入する

1 ペイ・パー・ビュー番組を選ぶ
● 番組購入画面になります。
● 番組を選んだときに下図の画面が表示された場合はプレビュー中です。プレビューとは番組購入前にしばらくの間視聴できるサービスです。

プレビュー中 決定 で購入

2 画面に従って番組を購入する
● 番組によっては、購入できる種類が選べる場合があります。

番組購入履歴を見る

● ペイ・パー・ビュー番組を購入した履歴を画面で見ることができます。

1 (メニュー)を押し、▲·▼で「設定」を選び、(決定)を押す

2 ▲·▼で「機能設定」を選び、(決定)を押す

3 ▲·▼で「番組購入情報」を選び、(決定)を押す

4 ▲·▼で「番組購入履歴」を選び、(決定)を押す
● 番組購入履歴が表示されます。
・**購入済み**
・**購入エラー**
予約した番組の開始時に受信障害、停電、番組が放送されなかったなどの理由で購入されなかった場合に表示されます。この場合は購入料金はかかりません。
・**取消**
予約した録画が始まる前に、購入が取り消された場合に表示されます。
● 番組購入履歴をすべて削除するには、(青)を押し、確認画面が表示されたら◀·▶で「はい」を選んで、(決定)を押します。
● 終わったら、(終了)を押します。

番組購入情報の送信

● 番組購入情報が送信されていない場合は「本機に関するお知らせ」27 でお知らせします。電話回線が正しく接続されていることを確認したあと、以下の操作で送信してください。

1 左下の手順 **1**～**3** で「番組購入情報」の画面にする

2 ▲·▼で「番組購入情報の送信」を選び、(決定)を押す
● 画面のメッセージに従って(決定)を押し、次に進んでください。
● 送信が完了したら、(終了)を押します。

次のメッセージが表示された場合

● 「センターと通信できません。電話機コードの接続が正しくない場合があります。」
・「電話回線の接続」(準備編 26)および「電話回線設定」(準備編 70)で、接続・設定を確認してください。
● 「B-CASカスタマーセンターに番組購入情報を送信することができませんでした。」
・「電話回線の接続」(準備編 26)で、接続を確認してください。

● 電話回線を接続していなかったなどの理由で、番組購入情報が送信されていない場合は、番組購入時に購入エラーになります。
● 1番組あたりの購入限度額を設定することができます。(準備編 86)
● 番組購入履歴は新しい順に最大32番組まで記憶されます。
● 購入した番組に複数の映像、音声、データがある場合は、基本以外のものを視聴するために追加料金がかかることがあります。

番組表で選んで見る

- デジタル放送の番組表は、放送電波で送られてくる情報で表示されます。
- **お買い上げ直後や電源を入れた直後、放送の種類を変えたときなどには、番組内容の表示に時間がかかることがあります。**
- **デジタル放送の番組表を最新にしておくために、本機の電源を毎日2時間以上「待機」状態にしておくことをおすすめします。**

※ **地上アナログ放送の番組表を見るには、次の設定が必要です。**
インターネットの常時接続・設定（準備編 27）とチャンネル設定（準備編 32 または 60）、地上A番組表設定（準備編 85）

※ 次ページの「お知らせ」もよくお読みください。

番組表で選ぶ

1 番組表 を押す

- 番組表が表示されます。（下図）
- 放送の種類を変えるときには、BS―CS または 地上D―地上A を押します。
  ラジオ／独立データ放送の番組表を見るときには、ラジオ/データ（ふたの中）を押します。

番組表 を押すたびに次のようになります。

全画面番組表 ➡ ミニ番組表 ➡ 表示が消える

※ミニ番組表については次ページ「番組表の時間帯表示を変える」をご覧ください。

2 ▲･▼･◀･▶ で現在放送中の番組を選ぶ

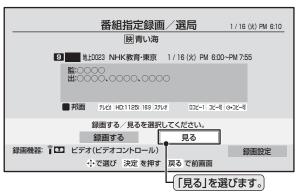
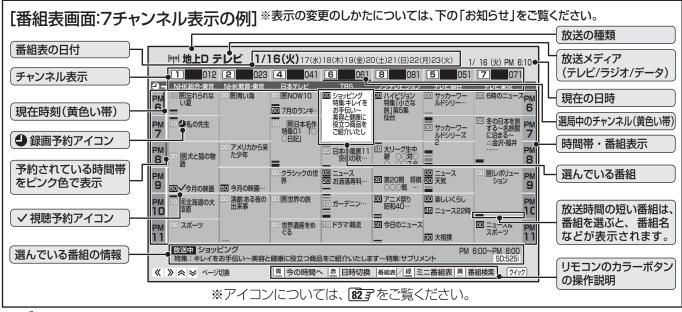
- ⌃･⌄･«･» で番組表のページを切り換えることができます。
- 選んでいる番組の説明を見るには、番組説明 を押します。20

3 決定 を押す

- 「番組指定録画／選局」画面が表示されます。（これから放送される番組を選んだときは、「番組指定予約」の画面になります。34 右側の手順 3 以降の操作）

4 ▲･▼･◀･▶ で「見る」を選び、決定 を押す

- 選んだ番組の放送画面になります。
- 録画もするときは、34 左側の手順 3 をご覧ください。

※アイコンについては、82 をご覧ください。

お知らせ

- 番組表は前回表示した日付と時間帯の部分が表示されます。（前回の表示日時を過ぎている場合は、今の日時で表示されます）
- テレビを視聴している条件などによっては番組表が空欄になる場合があります。この場合は、空欄の部分を選んでから、「番組情報の取得」18 をしてください。
- 番組表画面で予約済み番組を選ぶと、予約内容の確認や予約の取り消しなどができます。
- メニュー を押して、「設定」内の「機能設定」内、「選局機能設定」内の「番組表モード」で番組表表示を変更することができます。（「従来表示」に設定した場合は、操作や表示内容が一部変更になります。）

番組表で選んで見る つづき

番組表で選ぶ つづき

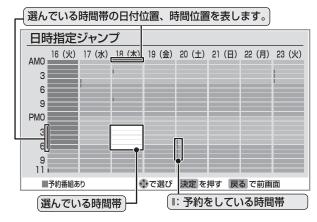
■ 番組表を便利に使う

■ 今の時間帯の番組表を表示する

❶ 番組表の画面で 青 を押す

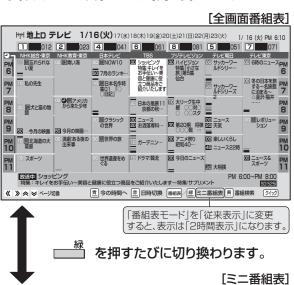
■ 指定した日時の番組表を表示する

❶ 番組表の画面で 赤 を押す

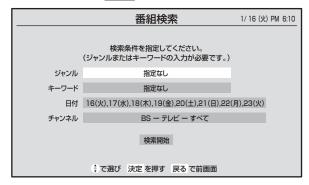
● ▲･▼･◀･▶ で日時を選び 決定 を押すと、選んだ時間帯の番組表が表示されます。

■ 番組表の時間帯表示を変える

（全画面番組表：6時間←→ミニ番組表：2時間）

❶ 番組表の画面で 緑 を押す

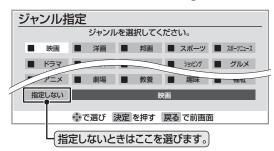
● 押すたびに、表示される時間が変わります。

※「番組表モード」で「従来表示」に変更すると、「5時間」←→「2時間」になります。

■ ジャンルやキーワードを指定して番組を検索する

❶ 番組表の画面で 黄 を押す

※ ジャンル、キーワードのどちらかは、必ず指定してください。

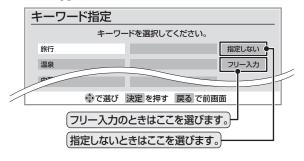
❷「ジャンル」を指定するときは、以下をする

① 「番組検索」画面で ▲･▼ で「ジャンル」を選び、決定 を押す

② 指定するジャンルを一つ選び、決定 を押す

❸「キーワード」を指定するときは、以下をする

① 「番組検索」画面で ▲･▼ で「キーワード」を選び、決定 を押す

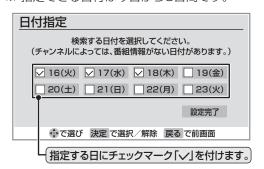
② 指定するキーワードを一つ選び、決定 を押す

● キーワード一覧表にない項目を指定するときは、「フリー入力」を選び 決定 を押し、文字を入力します。文字入力のしかたは、30 ページをご覧ください。

❹「日付」を指定するときは、以下をする

① 「番組検索」画面で▲・▼で「日付」を選び、(決定)を押す

② 指定する日付を▲・▼・◀・▶で選び、(決定)を押す

● (決定)を押すたびにチェックマークのオン、オフが切り換わります。

※ 指定できる日付は今日から8日間です。

③ すべての指定が終わったら▲・▼・◀・▶で「設定完了」を選び、(決定)を押す

❺「チャンネル」を指定するときは、以下をする

① 「番組検索」画面で▲・▼で「チャンネル」を選び、(決定)を押す

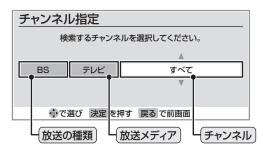
② 指定する項目を◀・▶で選び、▲・▼で内容を選ぶ

● 放送の種類：
BS ／ CS ／地上D／地上A ／すべて
※受信できない放送は表示されません。

● 放送メディア：
テレビ／ラジオ（BS、110度CSのみ）／データ／すべて

● チャンネル：（「すべて」もあります）
指定された放送の種類やメディアに該当するチャンネル／すべて

③ 指定が終わったら、(決定)を押す

❻ ▲・▼で「検索開始」を選び、(決定)を押す

❼「番組検索結果」画面から、見たい番組を▲・▼で選び、(決定)を押す

● 「番組指定録画／選局」画面が表示されます。

● これから放送される番組を選んだときは、「番組指定予約」画面になります。（34 右側の手順 **3** 以降の操作）

❽ ▲・▼・◀・▶で「見る」を選び、(決定)を押す

● 選んだ番組の放送画面になります。

● 録画もするときは、34 左側の手順 **3** をご覧ください。

テレビを見る

● データ放送の視聴中は番組表に切り換わらないことがあります。その場合は、テレビ放送に切り換えてから操作してください。
● 一部のCATV放送など、番組表情報がないものは番組表に表示されません。
● 番組表に表示できる番組情報は最大8日分です。
● 地上アナログ放送の番組表は、お客様への予告なく一時的に停止される場合や、サービス自体が終了される場合があります。あらかじめご了承ください。
● デジタル放送の番組情報で使用される特殊文字（多 など）は指定できません。検索の際は、番組情報内の特殊文字は自動的に除かれます。
● 番組の詳細情報はキーワード検索の対象になっていません。
● 番組検索の結果は指標としてお使いください。内容および利用した結果について、当社は一切の責任を負いません。
● 番組情報を定期的に更新しているため、操作がすぐにできない場合があります。
● 番組の中止・変更・延長などによって、実際の放送内容が番組表と異なる場合があります。
● 番組表や番組情報などで表示される内容および利用した結果について、当社は一切の責任を負いません。

テレビを見る つづき

番組表で選んで見る つづき

クイックメニューでできること

1 番組表の画面で[クイック]を押す

2 ▲･▼で項目を選び、(決定)を押す

● 放送の種類や受信内容などによっては、選べない項目があります。

番組情報の取得

見ている番組表の内容を更新します。（本機からの録画中はできません）

● 情報の取得が始まります。

※ 番組情報取得中は映像、音声が出ない場合があります。

● 地上アナログ放送の番組表とBSデジタル放送の場合は番組表全体が更新されます。

● 110度CSデジタル放送の場合は、選択中の番組が含まれているネットワークの番組表全体が更新されます。

● 地上デジタル放送の場合は、番組表で選択している放送局の情報だけが更新されます。

※ 情報取得を中止するときは[クイック]を押し、▲･▼で「番組情報の取得中止」を選び、(決定)を押します。

● 番組情報取得中にほかの操作をすると、情報の取得が中止されることがあります。

1CH表示／マルチ表示

選ぶたびに以下のように「1CH表示」と「マルチ表示」が切り換わります。（BSデジタル放送と地上デジタル放送のみ）

同じ放送事業者の他のチャンネルに別の番組がある場合は、緑の縦線が表示されます。

放送事業者ごとの1チャンネル表示

［1CH表示］

クイックメニューから「1CH表示」と「マルチ表示」を選ぶたびに切り換わります。

放送事業者ごとのマルチチャンネル表示

［マルチ表示］

番組記号一覧

番組記号の説明が表示されます。
- 表示される番組記号は一部のみです。
- 見終わったら、決定を押します。

文字サイズ変更

番組表に表示される文字の大きさを変えます。
❶ **変更したい文字サイズを▲·▼で選び、決定を押す**

ジャンル色分け設定

番組表の色分けされているジャンルを変更します。
❶ **変更したい色を▲·▼で選び、決定を押す**

❷ **▲·▼·◀·▶でジャンルを選び、決定を押す**
- 「指定しない」を選ぶと、色分け表示がなくなります。

❸ **▲·▼で「設定完了」を選び、決定を押す**

スキップチャンネル非表示

「チャンネルスキップ設定」(準備編 67)したチャンネルを番組表に表示させるかどうかの設定です。
- スキップチャンネルを表示しないように設定していた場合、クイックメニューの項目名は「スキップチャンネル表示」になります。
- クイックメニューが「スキップチャンネル表示」のときに決定を押すと、スキップチャンネルも表示した番組表に切り換わります。

クイックメニューを使う

- クイックを押すと、そのときに使うと便利な機能がメニューとして表示されます。
- クイックメニューの内容は、クイックを押すときの場面によって変わります。以下は、ほかのメニュー操作などをせずにテレビ番組を視聴している場合のものです。
- クイックメニューで選択できる項目は、放送の種類や外部機器の有無などによって変わります。
この場合、選択できない項目は薄く表示されます。

基本操作

1 **クイックを押し、▲·▼で項目を選んで、決定を押す**

2 **選んだ項目に従って操作する**
- 詳しくは各項目の該当するページをご覧ください。

項　目		記載ページ
外部機器録画		33
追っかけ再生		41
画面サイズ切換		21
フルサイズ切換		21
オフタイマー		26
信号切換	映像切換	25
	音声切換	25
	音多切換	25
	データ切換	25
	字幕切換	26
	降雨対応放送切換	26
映像設定		53～58
音声設定		24、59、準備編 90
データ放送終了		10
親切ヘッドホーン音量 (二画面表示のとき 副画面ヘッドホーン音量)		24

テレビを見る

お知らせ
■ ジャンル色分け設定について
- 複数の色に同じジャンルを登録することはできません。
- 各色に設定できるジャンルはそれぞれ一つです。
- この設定は、放送の種類や放送メディア(テレビ、ラジオ、独立データ)に対して共通の設定になります。

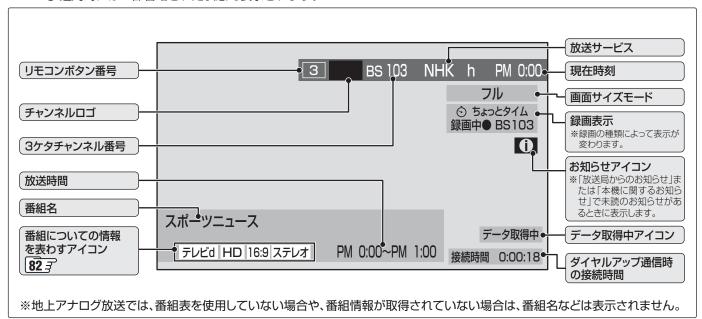
■ スキップチャンネル非表示／表示の設定について
- この設定は、放送の種類や放送メディア(テレビ、ラジオ、独立データ)に対して共通の設定になります。

便利な機能を使う

番組情報を見る

1 画面表示 を押す

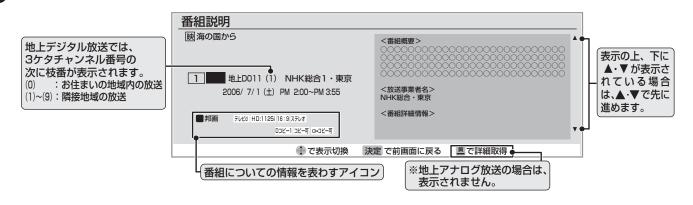
- 現在視聴しているチャンネルや番組の情報が表示されます。(数秒たつと、チャンネル以外の表示は消えます)
- すべての表示を消すには、もう一度画面表示を押してください。
- 選局時には一部省略された状態で表示されます。

※地上アナログ放送では、番組表を使用していない場合や、番組情報が取得されていない場合は、番組名などは表示されません。

番組説明を見る

1 番組説明 を押す

2 さらに詳しい説明を見るときは▼を押す

- 「詳細情報を取得していません」が表示されたときは、黄を押します。
- 「詳細情報を取得できませんでした」が表示された場合は、データ取得に失敗したか、または情報がなかったことを意味します。

3 説明画面を消すには決定を押す

- 画面に表示されるアイコンについては、「アイコン一覧」82 をご覧ください。
- i.LINK機器やLAN HDD、DLNA認定サーバー(準備編 57)に保存されている番組の再生時は、番組の情報が表示されない場合があります。
- 番組情報の表示や詳細情報の取得には時間がかかる場合があります。
- 番組情報を取得するタイミングによっては、最新の情報を表示できないことがあります。
- 番組によっては、録画、録音が制限される場合があります。その場合は、番組説明の画面でアイコンを表示します。82

画面サイズを切り換える

● 画面サイズを切り換えて迫力あるワイド画面が楽しめます。

1 画面サイズ（ふたの中）を押す

● 押すたびに以下のように切り換わります。（映像によって、選べるモードは異なります。）
● 各モードの説明は、次ページをご覧ください。

映像の種類	選べる画面サイズ
地上アナログ放送、 デジタル放送の4：3の映像、 ビデオ入力端子やHDMI入力端子からの映像 （525iと525pのみ）	スーパーライブ ➡ ズーム ➡ 映画字幕 ➡ フル ➡ ノーマル（➡ スーパーライブに戻る）
デジタル放送の16：9の映像	フル ※1 ➡ HDスーパーライブ ※2 ➡ HDズーム ※2（➡ フルに戻る） ● 選局操作、電源入／切などで「フル」に戻ります。
D4映像入力端子からのハイビジョン映像、 HDMI入力端子からのハイビジョン映像	フル ※1 ➡ HDスーパーライブ ➡ HDズーム ➡ ノーマル（➡ フルに戻る） ● 機器の操作、電源入／切などで「フル」に戻ります。

※1 「フル」は、詳細な画面設定ができます。下の「「フル」の画面設定をするとき」をご覧ください。
※2 「HDスーパーライブ」と「HDズーム」は、デジタル放送のハイビジョン放送と通常画質放送の16：9の映像で切り換えることができます。
この機能は画面サイズを切り換える機能であり、放送フォーマットを変換する機能ではありません。

便利な機能を使う

「フル」の画面設定をするとき

● 上の表の「フル※1」を選んだ場合の画面サイズを、常に「オーバースキャン」または「ジャストスキャン」に設定することができます。（映像によっては設定できない場合があります。その場合、「フルサイズ切換」は薄く表示されます。）
● お買い上げ時は「オーバースキャン」に設定されています。

1 クイックを押し、▲·▼で「フルサイズ切換」を選び、決定を押す

2 ▲·▼で「オーバースキャン」または「ジャストスキャン」を選び、決定を押す

● クイックを押して、クイックメニューの画面サイズ切換からも画面サイズの切換ができます。
● このテレビは、各種の画面サイズのモード切換機能を備えています。テレビ番組等のソフトの映像比率と異なるモードを選択されますと、オリジナルの映像とは見えかたに差が出ます。この点をご留意の上、画面サイズのモードをお選びください。
● テレビを公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテル等において、画面サイズのモード切換機能を利用して、画面の圧縮や引き伸ばし等を行いますと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害するおそれがありますので、ご注意願います。
● ワイド映像でない従来（通常）の4:3の映像を、スーパーライブなどを利用してワイドテレビの画面いっぱいに表示してご覧になると、周辺画像が一部見えなくなったり、変形して見えたりします。制作者の意図を尊重したオリジナルな映像は、ノーマルモード（16：9映像の場合はフルモード）でご覧になれます。
● 本機のS2映像端子とD4映像端子では、スクイーズ映像と4：3映像時のレターボックス映像を識別できます。これらの映像の視聴時には画面サイズが自動的にフルモードやズームモードに切り換わります。お好みで切り換えることもできます。
● 視聴する映像のフォーマットと画面サイズの組合せによっては、周囲の映像が隠れたり、画面の周囲が黒で表示されたり、左右の端がちらついたりすることがあります。また、放送画面に表示される選択項目を選ぶ際に枠がずれて表示されることがあります。

画面サイズを切り換える つづき

画面の見えかたについて

画像サイズのモード	画面の見えかた	説　明
スーパーライブ		4：3の映像をワイド画面で楽しむモードです。画面左右の端にいくほど映像が引き伸ばされます。
ズーム		上下が黒い帯になっている映画などのワイド映像（レターボックスといい、DVDソフトなどではケース背面などに「LB」と表示されています）を拡大して楽しむモードです。上下に黒い部分が出ることがあります。
映画字幕	映画を観に行きませんか? 映画を観に行きませんか?	レターボックスのワイド映像の下に字幕がはいっている場合に、字幕を隠れにくくするモードです。上に黒い部分が出ることがあります。
フル		DVDなどのスクイーズ映像（縦に伸びて見える映像）を、ワイド映像で表示するモードです。
ノーマル		4：3の映像をそのままの横と縦の比で表示します。
フル（オーバースキャン）		16：9の映像を少し大きめに表示するモードで、周囲の映像が少し画面の外に隠れます。
フル（ジャストスキャン）		16：9の映像を画面内にすべて表示するモードです。 映像によっては、画面の周囲がちらついて見えることがあります。 （1035iの放送番組の場合は、画面上部が黒く表示されます）
HDスーパーライブ		16：9の左右に帯のある映像をワイド画面で楽しむモードです。 画面左右の端にいくほど映像が引き伸ばされます。
HDズーム		16：9の上下左右に帯のある映像をワイド画面で楽しむモードです。

■ ゲーム機をつないで見ているとき

● ゲームモードに設定してあるビデオ入力では、選択できるモードが「ゲームフル」と「ゲームノーマル」になります。
- **ゲームフル**････････ゲームの映像をテレビ画面いっぱいに拡大して表示します。
- **ゲームノーマル**････ゲームの映像をそのままの横と縦の比で表示します。

二画面で見るには

● 同時に二つの画面を表示してテレビを楽しむことができます。
● 二画面のままでチャンネルを変えることもできます。

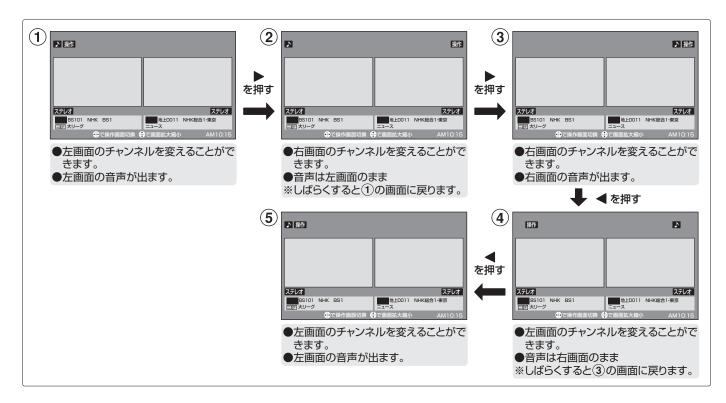
1 二画面 を押す

● もう一度 二画面 を押すと、一画面に戻ります。

2 ◀･▶で操作したい画面を選ぶ

● 操作できる画面には♪や 操作 が表示されます。
● ◀･▶を繰り返し押すと下の図のように画面が変わります。
● ▲･▼を押すと操作している画面の大きさが順に変わります。

3 チャンネルでチャンネルを選ぶ

● 1 NHK1 ～ 12 、1 ～ 12 でも選局できます。
● デジタル放送の場合は 3桁入力（ふたの中）を使った選局ができます。
● 入力切換 でテレビ放送とビデオ入力との切換えができます。
● 選んでいる番組の説明を見るには、番組説明 を押します。20

● 公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテルなどで「二画面」を使用すると、著作権法で保護されている著作権を侵害するおそれがありますので、ご注意願います。
● 地上アナログ放送を二つの画面に映すことはできません。
● 地上アナログ放送とビデオ入力やHDMI入力からの映像を二つの画面に映すことはできません。
● ビデオ入力やHDMI入力からの映像を二つの画面に映すことはできません。
● i.LINK端子やLAN端子に接続した機器、4th MEDIAを二画面表示することはできません。
● 二画面のときは、ラジオ放送、データ放送を視聴できません。ラジオ放送やデータ放送を視聴しているときに二画面にすると、最後に選んでいたテレビ放送チャンネルの映像で表示されます。
● 二画面表示のときのヘッドホーンモードについて、次のページをご覧ください。
● 二画面表示のときにインターネット機能 47 は使えません。（インターネット機能を使用中に二画面にすることはできます。24）
● 本機からの録画中は二画面表示にできません。また、二画面表示中に本機からの録画が始まると、一画面表示に戻ります。

便利な機能を使う つづき

ヘッドホーンモードを設定する

- 本機にヘッドホーンをつないだときの音の出かたを設定することができます。
- お好みにあわせて「主画面モード」、「副画面モード」、「親切モード」から選べます。
- お買い上げ時は「主画面モード」に設定されています。

1 クイック を押し、▲·▼で「音声設定」を選び、決定を押す

2 ▲·▼で「ヘッドホーンモード」を選び、決定を押す

3 ▲·▼で希望のモードを選び、決定を押す

- 各モードでの音の出かたと音量調整のしかたは、下表を参考にしてください。

■ 一画面表示のとき

モード	ヘッドホーン	スピーカー
主画面モード	音が出ます。 音量+−で調整	音が出ません。
副画面モード	音が出ます。 「親切ヘッドホーン音量」で調整	音が出ます。 音量+−で調整
親切モード	音が出ます。 「親切ヘッドホーン音量」で調整	音が出ます。 音量+−で調整

■ 二画面表示のとき

モード	ヘッドホーン	スピーカー
主画面モード	主画面（操作が表示されている画面）の音が出ます。 音量+−で調整	音が出ません。
副画面モード	副画面（操作が表示されていない画面）の音が出ます。 「副画面ヘッドホーン音量」で調整	主画面音が出ます。 音量+−で調整
親切モード	主画面（操作が表示されている画面）の音が出ます。 「親切ヘッドホーン音量」で調整	主画面音が出ます。 音量+−で調整

4 設定が終わったら、終了を押す

■ ヘッドホーンの音量調整のしかた

- 「主画面モード」に設定している場合は音量+−で調整します。
- 「副画面モード」や「親切モード」に設定して、ヘッドホーンをつないでいるときは、以下の手順で調整します。

❶ クイックを押し、▲·▼で「親切ヘッドホーン音量」または「副画面ヘッドホーン音量」を選び、決定を押す

※ ヘッドホーンをつないでいないときには、選べません。

❷ ◀·▶で音量を調整する

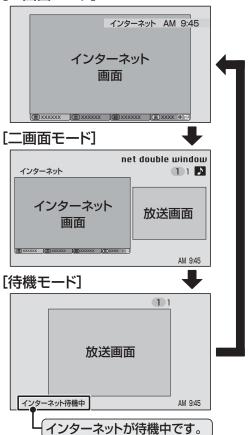
- 音量+−でも調整できます。

インターネットを二画面で見る

- インターネット機能については47をご覧ください。

1 インターネットを見ているときに、二画面を押す

- 押すたびに次のように切り換わります。

※ 画面はイメージです。実際の画面とは異なります。

- 「音声設定」はメニューを押してメニューの「設定」から選ぶこともできます。
- ヘッドホーンモードが、副画面モードまたは親切モードのときは、消音を押してもヘッドホーン音声は消えません。
- ヘッドホーンの音声には音声調整とWOWの効果は得られません。
- ヘッドホーンの音声とスピーカーの音声が少しずれて聞こえる場合がありますが、故障ではありません。

映像を一時静止する

1 **静止を押す**

● 解除するときは静止をもう一度押します。

音声多重放送を視聴する

● 音声多重放送番組の視聴時には、主音声、副音声、主：副を切り換えることができます。（この機能を音多切換といいます）

● 音声多重番組は、番組情報画面20に二重音声のアイコンが表示されます。

1 **音多切換を押す**

● 押すたびに以下のように切り換わります。

（例：主音声が日本語、副音声が英語の場合）

主音声

（左）日本語　（右）日本語

副音声

（左）英語　（右）英語

主音声：副音声

（左）日本語　（右）英語

映像、音声、データを切り換える

● デジタル放送では、一つの番組内に複数の映像や音声、データがある場合があり、お好みで選択することができます。

● 映像、音声、データが切り換えられる番組には、番組説明画面20に信号切換のアイコンが表示されます。

1 **クイックを押し、▲･▼で「信号切換」を選び、決定を押す**

2 **切り換えたい項目（「映像切換」「音声切換」「データ切換」）を▲･▼で選び、決定を押す**

3 **視聴したい映像、音声、データを▲･▼で選び、決定を押す**

● ¥が表示されている項目を視聴する場合は追加料金が必要です。視聴する場合には画面の操作に従って購入してください。

● 未購入のペイ･パー･ビュー番組で¥が表示された項目を選ぶと、「この映像は番組を購入したあとに選択してください。」のメッセージが表示されることがあります。このときは、終了を押してから、ペイ･パー･ビュー番組購入の操作をしてください。14

お知らせ

■ 映像の一時静止について
● ラジオ、データ放送視聴中、4th MEDIAの視聴中は静止画にすることはできません。
● 本機からの録画中は静止画にすることはできません。
● 静止中は、字幕は表示されません。
● 静止中は、データ放送の操作はできません。
● 選局操作をすると、静止画面を終了して、通常の画面になります。
● 営利目的、または公衆に視聴させることを目的として喫茶店、ホテルなどで「静止画」を使用すると、著作権法で保護されている著作権を侵害するおそれがあります。

■ 音声多重放送の切換えについて
● LAN HDDやDLNA認定サーバー（準備編57）に保存されている番組の再生時は、音多切換を押してステレオ音声の切り換えができます。
● クイックを押して、クイックメニューの信号切換からも音多切換ができます。

■ 映像、音声、データの切換えについて
● 選局操作をすると、信号切換で選択した状態は取り消されます。（基本の信号を選択した状態になります）
● 映像の切換と同時に音声も切り換わる場合もあります。（これをマルチビューサービスといいます）

便利な機能を使う つづき

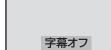
字幕を見る

- お買い上げ時は「字幕オフ（字幕を表示しない）」に設定されています。「字幕オン」に設定すると、字幕放送になったときに字幕が表示されます。
- 字幕放送番組は、番組説明画面 20 に字のアイコンが表示されます。（一部、表示と実際の放送が一致しない場合があります）
- 本機は地上アナログ放送の字幕放送には対応していません。

1 字幕（ふたの中）を押す

- 押すたびに「字幕オン」⟷「字幕オフ」と交互に切り換わります。

（例）「字幕オン」の場合

（例）「字幕オフ」の場合

- 番組によっては「字幕オン」の代わりに「日本語字幕」「英語字幕」または「字幕1」「字幕2」などが表示され、字幕を押したときに字幕の言語を選べることがあります。

降雨対応放送について

- BSまたは110度CSデジタル放送を視聴中に、雨や雪などで衛星からの電波が弱まったときには、降雨対応放送に切り換えて見ることができます。

※ 次のメッセージが表示された場合は、降雨対応放送に切り換えてください。

> 電波の受信状態が良くありません。
> クイックメニューから降雨対応放送に切り換えられます。
> コード：E201

1 クイックを押し、▲·▼で「信号切換」を選び、決定を押す

2 ▲·▼で「降雨対応放送切換」を選び、決定を押す

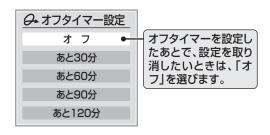
3 ▲·▼で「降雨対応放送」を選び、決定を押す

- 降雨対応放送をやめるには「通常の放送」を選んでください。

オフタイマーを使う

- オフタイマーを設定すると、設定時間後に電源が切れて、待機状態になります。

1 クイックを押し、▲·▼で「オフタイマー」を選び、決定を押す

2 ▲·▼で設定時間を選び、決定を押す

- 設定時間の1分前になるとメッセージが表示されます。
- 設定中にクイックを押すとクイックメニュー内に電源が切れるまでの残り時間が表示されます。

■ 字幕について

- 本機の「デジタル放送録画出力」端子から字幕は出力されません。
- クイックを押して、クイックメニューの信号切換からも字幕切換ができます。
- 二画面表示では、音声が出ている画面の字幕が表示されます。
- インターネット画面と二画面表示をしているときは、字幕が映像からはみ出すことがあります。
- 字幕を表示中、一部の操作をすると、字幕表示は消えます。通常画面に戻ると再び字幕を表示します。

■ 降雨対応放送について

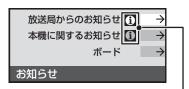
- 通常の放送よりも画質が低下します。
- 電波が強くなると、自動的に通常の放送に戻ります。
- 本機からの録画中に自動的に降雨対応放送に切り換わる場合があります。

■「オフタイマーを使う」について

- 本機の電源を「切」または「待機」にすると、オフタイマーの設定は取り消されます。
- 本機からの録画中にオフタイマーで設定した時間になると、画面の映像は消えますが録画は録画時間の終了まで続けられます。

お知らせを見る

● お知らせには、「放送局からのお知らせ」、「本機に関するお知らせ」、「ボード」の3種類があります。
● 未読のお知らせ(「ボード」を除く)があると、チャンネル切換時や画面表示を押したときに画面に「お知らせアイコン」が表示されます。

1 メニューを押し、▲·▼で「お知らせ」を選び、決定を押す

2 ▲·▼でお知らせの種類を選び、決定を押す

- **放送局からのお知らせ**・・・・・ デジタル放送局からのお知らせです。
- **本機に関するお知らせ**・・・・・ 録画予約やダウンロードなどについて、本機が発行したお知らせです。
- **ボード**・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 110度CSデジタル放送の視聴者に向けたお知らせです。

3 ▲·▼で読みたいお知らせを選び、決定を押す

● 読み終わったら終了を押します。

■「お知らせを見る」について

● 「放送局からのお知らせ」は、地上デジタルが7通まで記憶され、BSデジタルと110度CSデジタルは、合わせて24通まで記憶されますが、放送局の運用によってはそれよりも少ない場合もあります。記憶できる数を超えて受信した場合は、古いものから順に削除されます。
● 「本機に関するお知らせ」は、既読の古いものから順に削除される場合があります。
● 「ボード」は、110度CSデジタル放送のそれぞれに対し、今送信されているものが50通まで表示されます。

便利な機能を使う つづき

写真をテレビで見る

● USB機器（デジタルカメラ、USBメモリーカードリーダーに挿入したメモリーカード）、LAN HDD、DLNA認定サーバー（準備編 57）に記録されている写真（JPEGファイルの画像）を本機で見ることができます。
● USB機器の接続については、準備編 51 をご覧ください。

データのバックアップを取ることをお勧めします。
本機で使用したことでデータが変化・消失した場合の補償はできませんので、たいせつなデータは本機で使用する前にあらかじめバックアップをとっておいてください。

USB 機器を使用するときのお願いとご注意

●USB ケーブルを抜き差しするときは、必ず本機の電源を「切」にしてください。
●USB 機器の動作中に本機の電源を切ったり、電源プラグを抜いたりしないでください。記録されているデータが破壊されるおそれがあります。
●メモリーカードリーダーにメモリーカードを抜き差しするときは、本体の電源ボタンで電源を「切」にしてください。本機の電源が「入」や「待機」のときに抜き差しすると、メモリーカードの故障やデータの変化・消失の原因となります。

メッセージが表示されたとき
❶ 決定を押したあと、本体の電源ボタンを押して電源を切る
❷ 使用しない USB 機器をはずす
❸ 本体の電源を入れる

容量を越えたUSB機器が接続されました。
必要な機器のみ接続してください。
決定を押す

本機で再生できる写真（静止画ファイル）について

● 本機で再生できるファイルの仕様は、下表のとおりです。下表の場合でもパソコンのアプリケーションを使って加工や編集をした写真は、再生できないことがあります。
※ JPEG圧縮ではないファイル（非圧縮のファイルも含みます）や動画ファイルは再生できません。

● 本機で再生できる写真（静止画ファイル）

圧縮方式	JPEG 準拠
静止画ファイルフォーマット	Exif ver2.2 準拠
画素数	6000 × 4000 ピクセル以内
ファイルサイズ	24MB 以内

● 本機に対応しているファイルシステム（USB機器のPC接続モード時）

ファイルシステム	FAT12/FAT16/FAT32

1 メニューを押し、▲・▼で「写真再生」を選び、決定を押す

● 「写真機器選択」画面が表示されます。
　▲・▼で見たい機器を選び、決定を押します。
※ LAN HDDを選んだ場合で、LAN HDDにアクセスするためのユーザー名とパスワードの入力画面が表示された場合は 33 をご覧ください。
● 写真やフォルダがマルチ表示されます。
　※ **表示形式については、次ページの「写真の表示形式について」をご覧ください。**

2 次の操作で写真を見る

1枚だけ拡大して表示する（シングル表示）

❶ **▲・▼・◀・▶で写真を選び、決定を押す**
● フォルダ別表示の場合に、フォルダの中の写真を見るには、▲・▼・◀・▶でフォルダを選び、決定を押してフォルダを開きます。
※ 上の階層に戻るときは、▲・▼・◀・▶で「上の階層へ」を選び、決定を押します。
● 写真の表示中に、◀・▶で前や次の写真が選べます。

自動的に順番に表示する（スライドショー表示）

❶ **マルチ表示やシングル表示のときに 緑 を押す**
● 今選んでいる写真から順番に表示します。
・スライドショーを一時停止するには 青 を押します。もう一度押すと再び再生します。
・見たい写真を◀・▶で選ぶことができます。
・マルチ表示に戻るには 緑 を押します。
・シングル表示に戻るには 黄 を押します。

3 写真を見終わったら 終了 を押す

● 本機に対応している USB機器の規格

<table>
<tr><td rowspan="2">対応している規格</td><td>・Universal Serial Bus Mass Storage Class（この取扱説明書では PC 接続モードと表現します。）
※機器によってはマスストレージクラス、MassStorage などと表現されていることがあります。</td></tr>
<tr><td>・Universal Serial Bus Still Image Capture Device（この取扱説明書ではプリンタ接続モードと表現します。）
※機器によっては PTP などと表現されていることがあります。</td></tr>
</table>

● メモリーカードや機器の取扱いについては、それぞれの取扱説明書をよくお読みください。

● メモリーカードにアクセス（再生）しているときは、メモリーカードを取り出したり、本機の電源を切ったりしないでください。記録されているデータが破壊されるおそれがあります。
● DLNA認定サーバーに保存された写真については、DLNA認定サーバー側で自動的にサイズを変更して表示する場合があります。

カラーボタンでできること

並べ替え

- マルチ表示（通常表示）の写真を並べ替えることができます。
- DLNA認定サーバーの場合はできません。

❶ **通常表示のときに 青 を押す**
- 青 を押すたびに、「古い順」と「新しい順」が交互に切り換わります。
- 先にフォルダが並び、続いて写真が並びます。

写真を回転させる

❶ **シングル表示で写真を見ているときに 赤 を押す**
- 押すたびに時計回りに90度回転させることができます。
- 回転した状態は保存されません。

スライドショーの表示時間の間隔を変える

❶ **スライドショー表示のときに 赤 を押す**

❷ **▲·▼·◀·▶で表示時間の間隔を選び、決定 を押す**
- 表示時間の間隔とは、写真の表示が完了してから次の写真の表示が始まるまでの時間のことです。

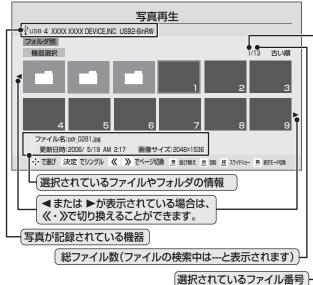
写真の表示形式について

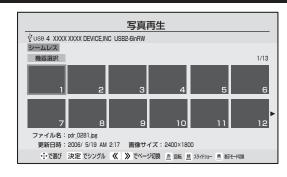
- 本機での写真の表示方法には以下の方法があります。
  - **マルチ表示**……………写真やフォルダをサムネイル（一覧表）で表示します。マルチ表示には、通常表示とシームレス表示の2種類があります。
  - **シングル表示** …………一枚の写真を画面に表示します。
  - **スライドショー表示** …シングル表示した写真を、自動で順番に表示します。

● 各機器で対応しているマルチ表示の形式

USB 機器	PC 接続モード	● 通常表示 ● シームレス表示 （DCIMフォルダがあるときのみ）
	プリンタ接続モード	● シームレス表示
LAN HDD		● 通常表示
DLNA 認定サーバー		● 通常表示

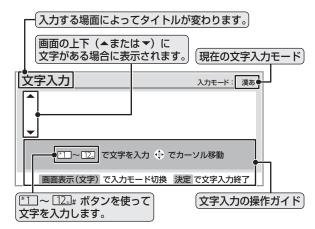
※ シングル表示、スライドショー表示（前ページ手順 **2** 参照）は、どの機器でも表示できます。

マルチ表示（通常表示）

- 複数の写真と、同じ階層にあるフォルダを同時に合計1000枚まで表示します。
  ※ 階層が深い場合や、ファイル名、フォルダ名が長い場合は表示できないことがあります。

マルチ表示（シームレス表示）

- 複数の写真が表示されます。（フォルダは表示されません。）ファイル数が多い場合や、JPEG 以外のファイルがある場合は表示に時間がかかることがあります。
  ※ PC 接続モードの場合は、第 1 階層にある DCIM フォルダや、その中にある第 6 階層までのフォルダに保存されている JPEG ファイルのみが最大 1000 ファイルまで表示されます。
  ※ プリンタ接続モードの場合は、JPEG ファイルのみが最大 1000 ファイルまで表示されます。
- シームレス表示ができる場合に、通常表示とシームレス表示を切り換えるには、黄 を押します。

- DCIMフォルダとは、デジタルカメラで写真を撮ったときに、その画像ファイルが保存されるフォルダのことです。
- 手順 **2** で写真以外の情報表示を消すには 画面表示 を押します。押すたびに表示と非表示を繰り返します。
- 写真（JPEGファイル）の表示中は、デジタル放送録画出力端子から映像・音声は出力されません。

文字入力をする

● 番組検索のキーワード検索でフリー入力を選んだ場合や、通信設定などの場面で文字入力画面が表示されます。

1 文字入力画面であ1～12を押して、文字を入力する

● 携帯電話で文字を入力するような操作で文字を入力します。

入力例：がっこう

➡ か2ABC、10小字、た4GHI(6回)、か2ABC(5回)、あ1(3回)
が　っ　こ　う

● 濁点(゛)や半濁点(゜)を入力するには、文字に続けて10小字を押します。

● 小文字(っ、ゃ、ゅなど)にするには、大文字に続けて10小字を押すやりかたもあります。確定前であれば10小字を押すたびに大文字⇔小文字に切り換えられます。

入力例：あい

● 同じボタンに割り当てられた文字を続けて入力する場合は、最初の文字を入力したあと、▶ を押してから次の文字を入力します。

● 文字入力モードを変えるときは 文字 画面表示 を押します。

2 漢字に変換しないときは決定を押す 漢字に変換するときは▼を繰り返し押し、希望の漢字が見つかったら決定を押す

● 希望する漢字に変換されない場合は、◀·▶で変換する範囲を変え、▲·▼で再度変換します。

● すべての入力が終わったら、決定を押して文字入力を終了します。

■ 文字入力モード

「漢あ」：漢字変換モード	ひらがなや漢字を入力できます。
「カナ」：全角カナモード	カタカナを入力できます。
「ａＡ」：全角英字モード	全角の英字を入力できます。
「abAB」：半角英字モード	半角の英字を入力できます。
「１２」：全角数字モード	全角の数字を入力できます。
「1234」：半角数字モード	半角の数字を入力できます。
「全角記号」：全角記号モード	全角の記号を入力できます。
「半角記号」：半角記号モード	半角の記号を入力できます。
「定型文」：定型文モード	定型文を入力できます。

● 文字入力の場面によっては、使用できる文字入力モードの種類が少なかったり、切り換えられなかったりすることがあります。

■ 入力文字一覧表

リモコン	文字入力モード			
	漢字変換モード	全角カナモード	英字モード	数字
あ1	あ→い→う→え→お→ぁ→ぃ→ぅ→ぇ→ぉ	ア→イ→ウ→エ→オ→ァ→ィ→ゥ→ェ→ォ	1→2→3→4→5→6→7→8→9→0	1
か2ABC	か→き→く→け→こ	カ→キ→ク→ケ→コ→ヵ→ヶ	a→b→c→A→B→C	2
さ3DEF	さ→し→す→せ→そ	サ→シ→ス→セ→ソ	d→e→f→D→E→F	3
た4GHI	た→ち→つ→て→と→っ	タ→チ→ツ→テ→ト→ッ	g→h→i→G→H→I	4
な5JKL	な→に→ぬ→ね→の	ナ→ニ→ヌ→ネ→ノ	j→k→l→J→K→L	5
は6MNO	は→ひ→ふ→へ→ほ	ハ→ヒ→フ→ヘ→ホ	m→n→o→M→N→O	6
ま7PQRS	ま→み→む→め→も	マ→ミ→ム→メ→モ	p→q→r→s→P→Q→R→S	7
や8TUV	や→ゆ→よ→ゃ→ゅ→ょ	ヤ→ユ→ヨ→ャ→ュ→ョ	t→u→v→T→U→V	8
ら9WXYZ	ら→り→る→れ→ろ	ラ→リ→ル→レ→ロ	w→x→y→z→W→X→Y→Z	9
10小字 0	゛→゜→小文字変換	゛→゜→小文字変換	小文字変換	0
わをん11、。*	わ→を→ん→ゎ→、→。→ー→␣(スペース)	ワ→ヲ→ン→ヮ→、→。→ー→␣(スペース)	※1	*
12#	※2 逆方向へ入力	※2 逆方向へ入力	※2 逆方向へ入力	#

※ 1：全角英字の場合……。→／→：→ー→＿→～→@→␣(スペース)
　　半角英字の場合……. → / → : → - → _ → ˜ → @ →␣(スペース)
※ 2：文字入力変換中に文字を通り過ぎたときに、逆方向へ戻します。

● 最後の候補までいくと、次は最初の候補に戻ります。

● 文字入力モードが「全角記号」、「半角記号」のときには、入力したい記号を文字入力画面から選びます。

● インターネットを見ているときには、定型文を選ぶことができます。48

■ 入力した文字は、次のように表示されます。
- ● 入力中の文字：黄色背景
- ● 未確定の文字：白色背景
- ● 漢字変換候補選択中の文字：青色背景
- ● 確定した文字：背景なし

● 確定せずに変換できるのは4文節までです。4文節以上のときは、確定してから残りを変換してください。

● 漢字候補選択時に 戻る を押せば、その文節を未変換状態に戻すことができます。

● データ放送番組視聴時の文字入力の場面では、ほとんどの場合、番組が指定する方法で文字を入力します。

文字の挿入や削除をするには

■ 文字を挿入する場合は▲·▼·◀·▶で文字を挿入したい場所を選び文字を入力する

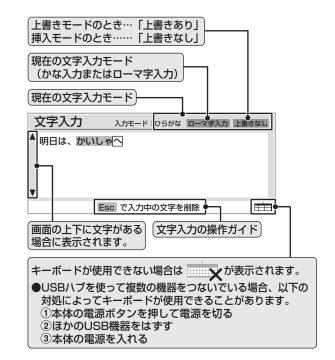
■ 文字を削除する場合は削除/クイックを短く1回押す

- カーソルの右に文字がない場合は、カーソルより左の1文字を削除します。
- カーソルの右に文字がある場合は、カーソルより右の1文字を削除します。

■ 文字列が確定されている場合で削除ボタンを押し続けたとき

- カーソルより右に文字列がない場合は、カーソルより左の文字をすべて削除します。
- カーソルより右に文字列がある場合は、カーソルより右の文字をすべて削除します。

市販のUSBキーボードを使う

- 本機のUSB端子にキーボードをつなぐと、文字入力やいくつかの機能の操作をすることができます。
- 接続については準備編 51 をご覧ください。

❶日本語入力モードの切換え

- Alt と カタカナ/ひらがな/ローマ字 を同時に押すと、ローマ字入力とかな入力が切り換わります。

❷文字入力モードの選択

- 文字入力モードは次の四つから選びます。
  （ひらがな／カタカナ／全角英数／半角英数）
  ※キーボード入力では定型文モードは使用できません。
- モード間の切換えは以下のとおりです。

入力モードの切り換わり	押すキー
ひらがな⇔カタカナ	無変換
ひらがな⇔全角英数	Capslock 英数
全角英数⇔半角英数	Shift ＋ 無変換 （いっしょに押す）

❸文字の入力

- 漢字に変換するときは、ひらがなモードで入力してから、スペースキーで漢字に変換します。

お知らせ

- 本機で使用できるキーボードについては 83 をご覧ください。
- キーのイラストは一例です。キーボードによっては異なる場合があります。
- 本機で市販のキーボードを使う場合の動作について、詳しくは準備編 98 をご覧ください。

録画・予約をする

● 本機と録画機器をつないでデジタル放送を録画することができます。
　また、録画中に他の放送やチャンネルを見ることもできます。

■ 使用できる録画機器

録画機器	こんなことができます
ビデオ (VHSやDVDなど)	自動録画機能※1のあるビデオに、本機からの操作でデジタル放送の予約や録画ができます。 自動録画機能※1のないビデオの場合は、付属のビデオコントロールケーブルを使って予約や録画ができます。 (※1「自動録画機能」……映像信号の入力を検出してビデオが自動録画する機能)
東芝RDシリーズ (東芝製ビデオレコーダー)	「テレビdeナビ予約」(本機で録画予約をすれば、東芝RDシリーズも自動的に予約される機能)で放送を録画できます。「テレビdeナビ予約」には以下の２つの種類があります。 ■ 東芝RDアナログでの予約……本機のデジタル放送録画出力端子からの信号(テレビ放送のみ)を録画します。 ※ ハイビジョンでの録画はできません。 ■ 東芝RDデジタルでの予約……東芝RDシリーズで受信したデジタル放送(テレビ放送のみ)を録画します。(デジタルチューナーを内蔵した東芝RDシリーズでのみできます) 「東芝RDデジタルでの予約(録画)のご注意」40もご覧ください。
i.LINK接続した機器	i.LINK端子に接続したHDDビデオレコーダーやD-VHSビデオに録画できます。
LAN HDD	LAN端子に接続したLAN HDDに録画できます。 ※ DLNA認定サーバー（準備編57）への録画はできません。

■ 接続・設定と録画前の準備

録画機器	接続・設定	録画前の準備
ビデオ (VHSやDVDなど)	準備編 41～43	録画できるビデオテープやディスクを入れておきます。 自動録画機能については、ビデオの取扱説明書をお読みください。
東芝RDシリーズ (東芝製ビデオレコーダー)	準備編 44～47	**録画や予約の設定をする前に、東芝RDシリーズの電源を入れておきます。** (予約設定後は、電源を「待機」にしてもかまいません。) DVDに録画する場合……録画できるディスクを入れておきます。 HDDに録画する場合……残量と番組の記録数を確認し、不要な番組は削除してください。
i.LINK接続した機器	準備編 58～59 76	i.LINK機器が本機からの入力と制御で動作する設定になっていることを確認します。 HDDビデオレコーダーに録画する場合は、残量と番組の記録数を確認し、不要な番組は削除しておきます。D-VHSに録画する場合はビデオテープを入れておきます。
LAN HDD	準備編 52～57 77～79	LAN HDDの電源を入れておきます。 残量と番組の記録数を確認し、不要な番組は削除しておきます。 複数のLAN HDDがある場合はメインシステムフォルダが保存されているLAN HDDの電源も入れます。

■ 録画・予約の種類

見ている番組を録画する → **33（外部機器録画）**

番組表で番組を指定して録画する → **34（番組指定録画／予約）**

視聴だけを予約する → **34、37（視聴予約）**

※ 右記もできます。
- **日時を指定して予約する 37**
- **Eメールなどを利用して、外出先から録画予約する 35**

お知らせ

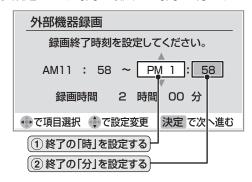
● 地上アナログ放送、CATV放送、ビデオ入力端子等につないだ機器の映像・音声は、本機の録画・予約機能で録画することはできません。番組連動データ放送と独立データ放送はi.LINK端子につないだ機器にだけ録画できます。(地上アナログ放送は視聴予約だけできます)
● 録画予約(「東芝RDデジタルでの予約」を除く)したペイ・パー・ビュー番組は、番組が始まった時点で購入され、うまく録画できなかった場合でも料金は請求されます。
● 万一本機の故障や受信障害などによって正常に録画･録音できなかった場合の内容や番組購入料金などの補償についてはご容赦ください。
● 予約できる番組数は、録画予約と視聴予約を合わせて32番組までです。
● 本体の電源ボタンで電源を切っている時には予約は実行されません。
● 録画機器がLAN HDDの場合、録画予約実行中に停電が発生したり、電源プラグを抜いたりすると、録画予約は中止されます。
● デジタル放送録画出力端子を使って録画した場合、映像フォーマットは525iに、音声は2チャンネルに変換されます。(ハイビジョンでの録画はできません)また、字幕放送番組の字幕、番組連動データ放送のデータ、独立データ放送は録画できません。
● D-VHSビデオをVHSモードやS-VHSモードで使うときは、ビデオの場合と同じ接続・設定・準備をしてください。
● i.LINK機器やLAN HDDに録画した番組を再生するには 41 をご覧ください。

見ている番組を録画する（外部機器録画）

● 録画の概要と録画前の準備等については 32 をよくお読みください。

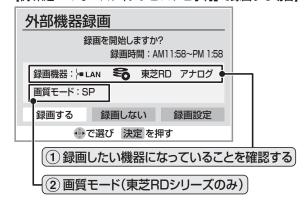
1 デジタル放送を見ているときに クイック を押す

2 ▲･▼で「外部機器録画」を選び、決定を押す
● 録画できない番組の場合は選べません。

3 録画終了時刻を設定し、決定を押す
● 終了時刻は、2時間後が設定されています。
変更するときは ◀･▶ で「時」または「分」を選び、▲･▼で終了時刻を設定します。
● 設定できる時間は最大23時間59分です。

4 録画先などを確認する
● 「録画機器」の欄に表示される名称は、下表をご覧ください。

録画機器	表示される名称
ビデオ（VHSやDVDなど）に録画するとき	「ビデオ（ビデオコントロール）」 「ビデオ（コントロールなし）」 「ビデオ（ビデオ入力自動録画）」 ※ 上記のうち、「ビデオ録画方式設定」（準備編 42）で設定した項目が表示されます。（設定の際に「設定しない」を選んだ場合は、「ビデオ（コントロールなし）」が表示されます）
i.LINK接続した機器に録画するとき	「i.LINK1」、「i.LINK2」など
LAN HDDに録画するとき	「LAN1」、「LAN2」など
東芝RDシリーズに「テレビdeナビ予約」で録画するとき	「東芝RDアナログ」 （「東芝RDアナログでの予約（録画）」をする場合に選ぶ） 「東芝RDデジタル１～３」 （「東芝RDデジタルでの予約（録画）」をする場合に選ぶ）

● 録画機器や設定を変更する場合は、▲･▼･◀･▶ で「録画設定」を選び、決定を押して設定をします。
以降の操作は 38 をご覧ください。

【例:東芝RDシリーズに「テレビdeナビ予約」で録画する場合】

5 録画機器の準備をする
● 前ページの２つめの表の「録画前の準備」をご覧ください。

6 ◀･▶で「録画する」を選び、決定を押す

LAN HDDのユーザー名とパスワード入力画面が表示されたとき

❶ ▲･▼･◀･▶で「ユーザー名」を選び、決定を押す
● 文字入力画面が表示されます。「文字入力をする」 30 を参照して、ユーザー名を入力してください。

❷ 同様にして「パスワード」も入力する

❸ 次回の入力を省略したい場合は、▲･▼で「次回入力」の欄に移動し、◀･▶で「しない」を選ぶ

❹ ▲･▼･◀･▶で「入力完了」を選び、決定を押す

※ LAN HDD側でユーザー名やパスワードを変更した場合は、ユーザー名とパスワードの入力が必要になります。

● ペイ・パー・ビュー番組は、録画できる番組であることを確認してから購入し、そのあとにクイックメニューの「外部機器録画」の操作をしてください。
● 複数のペイ・パー・ビュー番組を録画する場合は、番組が始まるたびに購入の操作をしないと録画されません。
● 録画機器側で設定した予約録画の待機中や録画中の場合は、それらが中止されたり、本機からの外部機器録画ができなかったりすることがあります。
● 本機からの録画中は本機の一部の操作が制限されます。録画機器側の制限についてはそれぞれの取扱説明書でご確認ください。
● クイックメニューの「外部機器録画」をしているときに予約録画の開始時刻になると、「外部機器録画」は中止されます。
● HDDビデオレコーダー（D-VHSビデオとみなされる機器を除く）で録画する場合は、番組ごとに分けて録画されます。

録画・予約をする つづき

番組表から録画・予約する（番組指定録画／予約）

● 録画の概要と録画前の準備等については 32 をよくお読みください。
※ 操作の途中でメッセージが表示された場合は、40 をご覧ください。

1 番組表 を押す

● 番組検索結果 17 からもできます。

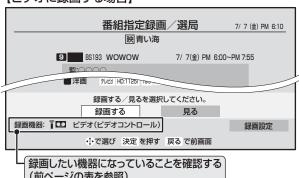
2 ▲·▼·◀·▶で録画したい番組を選び、決定 を押す

● **地上アナログ放送の番組は、視聴予約のみできます。**
● 次は、左下または右下の手順 **3** に進みます。

現在放送中の番組を選んだ場合

3 録画先などを確認する

● 録画先や設定を変更する場合は、▲·▼·◀·▶で「録画設定」を選び、決定 を押して設定をします。38

【ビデオに録画する場合】

4 録画機器の準備をする

● 32 の2つめの表の「録画前の準備」をご覧ください。

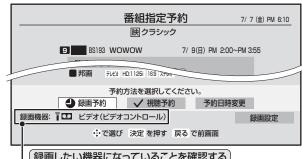
5 ▲·▼·◀·▶で「録画する」を選び、決定 を押す

※ 視聴制限やペイ・パー・ビューの画面が表示された場合は、画面の操作説明に従って操作してください。
● 録画先にLAN HDDを指定した場合で、LAN HDDにアクセスするためのユーザー名とパスワードの入力画面が表示された場合は前ページをご覧ください。

これから放送される番組を選んだ場合

3 録画先などを確認する

● 録画先や設定を変更する場合は、▲·▼·◀·▶で「録画設定」を選び、決定 を押して設定をします。38

【ビデオに録画する場合】

4 ▲·▼·◀·▶で「録画予約」「視聴予約」「予約日時変更」のどれかを選び、決定 を押す

- **録画予約**··········· これから放送される番組を録画します。
- **視聴予約**··········· これから放送される番組の視聴だけをします。録画はされません。「視聴予約」の場合はこれで予約完了です。
- **予約日時変更** ······ 予約日を毎日や毎週に変更する場合は「はい」を選び、決定 を押したあと、37 の手順 **5** 以降を行います。

● 予約日時変更をした場合、以下のようになります。
- ペイ・パー・ビュー番組は購入されません。
- 視聴制限（準備編 86）は解除されません。
- 録画予約では放送時間連動の設定はできません。
- 左側の手順 **5** 内の説明もお読みください。

5 決定 を押し、録画機器の準備をする

● 録画開始時刻前までに準備します。32 の2つめの表の「録画前の準備」をご覧ください。

● 視聴予約をした番組に切り換わるのは、本機の電源が「入」のときだけです。
ただし、「外部機器録画」をしているときには、視聴予約は取り消されます。
● 予約した録画は本機の電源が「入」や「待機」のときだけ実行されます。「待機」だった場合は、録画が始まっても映像や音声は出ません。
● 地上デジタル放送で放送局の変更があった場合、予約どおりに動作しないことがあります。
● 複数の番組が連続して予約されているとき、番組の最後の部分が少し録画されないことがあります。
● 予約をした時間帯は番組表にピンク色の帯で表示されます。15
● 録画予約の「放送時間」が「連動する」に設定されている場合で、録画予約番組の放送時間が遅延・延長などで視聴予約の開始時刻と重なったときは、視聴予約が取り消されます。

Eメールで録画予約をする

- 外出先からEメールを使って、本機に録画予約をすることができます。
- 録画の概要と録画前の準備等については 32 をよくお読みください。
- 「LAN端子の接続（1）」（準備編 27）、「メール設定」（準備編 81）の「基本設定」、「メール録画予約設定」をしてください。

パソコンや携帯電話で予約する

- パソコン、携帯電話のどちらからでも録画予約できます。

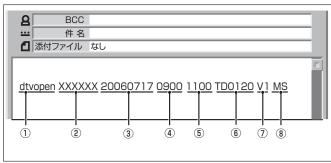
※ 本機が対応しているのはテキスト形式のメールのみです。HTML形式のメールには対応していません。（パソコンの場合）

- 録画機器を指定することもできます。
- 次ページの「メール録画予約の注意事項」をよくお読みください。

1 パソコンや携帯電話でメールを作成する

- メールの宛先は「メール設定」の「基本設定」（準備編 81）で登録したメールアドレスです。
- 本機で使用できるのは、POP3を使用しているメールのみです。
  - 件名は自由に入力してください。

  ※ **①～⑧はすべて半角文字で入力してください。また、各項目の間には半角スペースを入れてください。**

例）メール作成

① **識別コード**
- 「dtvopen」と入力します。（小文字）

② **パスワード**
- 「メール録画予約設定」（準備編 81）で登録した「メール予約パスワード」を入力します。

③ **録画日**
- 西暦（4ケタ）月日（4ケタ）を入力します。（1ケタの月日の場合は10の位に0を入れます）

④ **録画開始時刻**
- 00～23（時）に続けて00～59（分）を入力します。

⑤ **録画終了時刻**
- 00～23（時）に続けて00～59（分）を入力します。

⑥ **録画チャンネル**
- 放送の種類を表す略号とチャンネル番号を次のように入力します。

❶ 放送の種類を表す略号を入力する

放送の種類	略号
BSデジタル放送	BS
110度CSデジタル放送	CS
地上デジタル放送	TD

❷ 略号に続けてチャンネル番号を入力する

■ BSデジタル／ 110度CSデジタル放送の場合
- 3ケタのチャンネル番号を入力します。
  例）BS103、CS001

■ 地上デジタル放送の場合
- 通常の場合：3ケタチャンネル番号を入力します。
  例）チャンネル番号：011の場合…TD011
  ※ 枝番を指定する場合は、3ケタチャンネル番号と枝番を入力します。
  （上の例で、枝番が3の場合…TD0113）

⑦ **録画先機器**
- 録画先機器の略号と録画機器の番号を入力します。指定しない場合は、「メール録画予約設定」で登録した「録画機器」に録画します。

録画機器	略号と番号	説明
ビデオ（VHSやDVDなど）	V1	「ビデオ録画方式設定」（準備編 42）の手順 **2** で設定したモードになります。
i.LINK機器（D-VHSビデオなど）	「i1」～「i8」	数字は、機器の登録（準備編 76）に表示される番号
LAN HDD	「L1」～「L8」	数字は、機器の登録（準備編 77）に表示される番号

- LAN HDDのショートカットは指定できません。
- ユーザー名とパスワードの入力が必要なLAN HDDでは、以下のときのみメールでの録画予約ができます。
  - ・ユーザー名とパスワードを「次回入力しない」に設定しているとき 33
  - ・「メール録画予約設定」でそのLAN HDDを録画機器として設定しているとき（準備編 81）。

⑧ **二重音声記録モード**
- ビデオに音声多重番組を録画する場合は、記録モードを略号で入力します。
  指定しない場合は主音声＋副音声になります。

記録モード	略号
主音声	M
副音声	S
主音声＋副音声	MS

お知らせ
- 「メール録画予約設定」の「予約アドレス登録」（準備編 81、82）で、メール録画予約に使用するパソコンや携帯電話のメールアドレスをすべて登録しておいてください。
- 本機に録画予約するために送ったEメールを見ることはできません。

次のページにつづく

録画・予約をする つづき

Eメールで録画予約をする つづき

パソコンや携帯電話で予約する つづき

「予約設定結果通知」を使用している場合

● 予約メールの送信後、しばらくすると、メールが送られてきます。「予約設定結果通知」の設定については、準備編 81、82 をご覧ください。

(1)「予約を登録しました。」のメールの場合

• これで予約が完了です。

(2)下表に補足説明が必要なものについて記載します。

返信メール内容	対処のしかた・他
予約を登録できませんでした。メールの書式が正しくありません。メールの書式を確認してください。	「パソコンや携帯電話でメールを作成する」を確認してください。(前ページ手順 **1**)
予約を登録できませんでした。本体で登録できる日時を越えています。	予約を登録できるのは6週間先までです。
予約を登録できませんでした。指定されたチャンネルと録画設定では録画できません。	「パソコンや携帯電話でメールを作成する」を確認してください。(前ページ手順 **1**)
予約を登録できませんでした。指定された機器は録画機器ではありません。	録画機器を指定してください。
予約を登録できませんでした。本体側でエラーが発生しました。	停電や何らかの原因で本機の電源が切れた場合などが考えられます。

メール録画予約の注意事項

● パソコン側で自動的にメールサーバーからメールを受信してサーバー側のメールを削除するように設定している場合、本機で予約メールを受信する前に消えることがありますので、サーバーにコピーを残すなどの設定変更が必要です。
● 予約メールを送信するソフトによっては、自動的に改行されてしまうことがあります。その場合は、予約内容が正しく認識されません。
● メールサーバー内に極端に多くのメールがあると、予約メールを受信できない場合があります。
● 録画予約できるのは、予約メール1通につき1件です。
● 予約メールと同じ形式で始まるメールがあったとき、予約メールと判断して、パソコン側ではなく本機側で受信してしまう場合があります。
● 予約時に録画機器の状態(接続、テープの挿入、HDD残量)の確認は行われません。
● LAN HDDの場合、録画予約で指定した機器の電源が切れている場合や機器を認識できない場合には、録画予約はできません。
● 録画予約で指定した機器の電源が切れている場合や、機器を認識できない場合は、録画予約はできません。
● メールのウイルス対策はされていません。
● 一度に受信可能な予約メールは15件です。残った予約メールは次回の予約メール受信時に処理されます。
● 予約メールは「POP3アクセス間隔」(準備編 81「基本設定」)で指定した時間ごとに、本機が受信します。
● 正しく設定されていることを確認するために、事前に試し録画を行い、正しく録画できることをお確かめください。

テレビサーフモバイルサービスで予約する(携帯電話だけでできます)

● テレビサーフモバイルサービスを利用することで、簡単な操作で携帯電話からメールでの録画予約ができます。
● 録画先は「メール録画予約設定」(準備編 81)で設定した機器になります。

準備

❶ **携帯電話で「t@tvsurf.jp」宛てにタイトルと本文なしのメールを送る**(メールを送れない場合は、本文に文字を入れてください。)

※ 対応する携帯電話のキャリアは、iモード、EZweb、Vodafone live!です。
これらのキャリアであっても、携帯電話の機種や契約内容によっては使えない場合があります。
※ QRコード(下図)からメールの宛先を入手することもできます。

※ QRコードは、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

❷ **会員登録ページのURLが記載されたメールが携帯電話に送られてくるので、メールの説明に従って登録をする**

❸ **会員登録が完了すると、録画予約用のURLが記載されたメールが携帯電話に送られてくるので、そのURLをブックマークに登録する**(携帯電話の「お気に入り」に登録する)

メール録画予約のしかた

❶ **携帯電話で録画予約用のURL(上の❸参照)にアクセスする**

はじめにトップページの「☆利用規約」、「☆退会」、「#.ヘルプ」、「ご注意」、「対象機種」のリンクをクリックして、それぞれの内容をお読みください。

❷ **「☆メール予約」をクリックし、画面の手順に従って録画予約をする**

● 録画予約できるのはBSデジタル、110度CSデジタル、地上デジタル放送だけです。
● 予約設定画面の「録画用メールアドレス」と「パスワード」は、「メール録画予約設定」(準備編 81、82)で設定したものを入力します。

● テレビサーフモバイルは東芝が運営する携帯電話向けのテレビ録画予約サービスです。
● テレビサーフは株式会社東芝の商標です。
● iモードは株式会社NTTドコモの登録商標、EZwebはKDDI株式会社の商標、Vodafone live!はVodafone Group Plcの商標です。
● 別途インターネットサービスプロバイダーおよびインターネット回線業者との契約が必要です。
● テレビサーフモバイルのご利用には別途通信料が発生します。
● テレビサーフモバイルは携帯電話のみで利用可能です。
● テレビサーフモバイルについてのお問い合わせは、上の「準備」❷のメールに記載されているお問い合わせ先のアドレスまでお願いします。

日時を指定して予約する(日時指定予約)

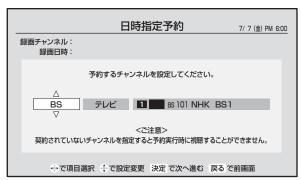
● 録画の概要と録画前の準備等については32もよくお読みください。

1 (メニュー)を押す

2 ▲·▼で「予約リスト」を選び、(決定)を押す

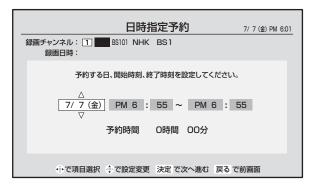
3 ▲·▼で「新規予約」を選び、(決定)を押す

新規予約を選びます。

4 録画するチャンネルを設定する

①◀·▶で設定する項目を選び、▲·▼で内容を選ぶ

- 放送の種類 ：BS ／ CS ／地上D／地上A
  ※ **地上Aの番組は、視聴予約のみできます。**
- 放送メディア：テレビ／ラジオ(BS、110度CSのみ)／データ
- チャンネル ：指定された放送の種類やメディアに該当するチャンネル

②設定が終わったら(決定)を押す

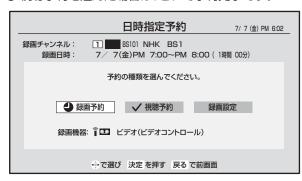
5 録画する日時を設定する

① ◀·▶で設定する項目を選び、▲·▼で日時を設定する

- ● 日付は6週間先まで指定できます。「毎日」「月～金」「毎週月曜」などの繰り返し録画も選べます。
- ● 設定できる時間は最大23時間59分です。

②設定が終わったら(決定)を押す

6 録画先を画面で確認後、◀·▶で「録画予約」または「視聴予約」を選び、(決定)を押す

- ● 録画先や設定を変更する場合は、◀·▶で「録画設定」を選び、(決定)を押して設定をします。38
- ● 視聴予約を選んだ場合は、これで予約完了です。

7 録画機器を準備して、(決定)を押す

- ● 32 の2つめの表の「録画前の準備」をご覧ください。
- ● 予約を取り消す場合は、39 をご覧ください。

- ● 34 のお知らせもお読みください。
- ● 日時指定予約では、ペイ・パー・ビュー番組の購入はできません(視聴、録画はできません)。
- ● 東芝RDアナログでは、番組名や番組説明は録画時に記録されません。
- ● 日時指定予約では放送時間連動、映像信号、音声信号の変更設定はできません。映像、音声は基本のものだけが録画されます。

録画・予約をする つづき

録画設定を変更する場合

● 33 手順4 右側 、34 手順 3、37 手順 6 で、「録画設定」を選んだ場合に、設定を変更する方法について説明します。

1 設定する項目を▲･▼･◀･▶で選び決定を押し、▲･▼で内容を選んで決定を押す

● 設定する項目の内容は下表のとおりです。

2 ▲･▼･◀･▶で「設定完了」を選び、決定を押す

録画設定
録画機器 ビデオ(ビデオコントロール)
二重音声 主音声と副音声
設定完了
で選び 決定 を押す 戻る で前画面

※ その時の状況によっては、設定や変更できない項目があります。

ビデオ(VHSやDVDなど)に録画する場合

項　目	設定する内容	説　明
録画機器	ビデオ（ビデオコントロール）/ ビデオ（コントロールなし）/ ビデオ（ビデオ入力自動録画）	「ビデオ録画方式設定」(準備編 42)で設定した項目が表示されます。(「設定しない」にしている場合は、「ビデオ(コントロールなし)」が表示されます)
映像信号	映像1/映像2/映像3など	日時指定予約の場合および、選択できる信号がない場合は設定できません。
音声信号	音声1/音声2/音声3など	
二重音声	主音声と副音声/主音声/副音声	二重音声については 25 をご覧ください。
放送時間	連動する/連動しない	下の「お知らせ」をご覧ください。

i.LINK機器に録画する場合

項　目	設定する内容	説　明
録画機器	i.LINK1/i.LINK2など	「i.1 ～ i.8」(準備編 77)に登録した録画可能な機器を選んでください。
放送時間	連動する/連動しない	下の「お知らせ」をご覧ください。

LAN HDDに録画する場合

項　目	設定する内容	説　明
録画機器	LAN1/LAN2など	録画先のLAN HDD（またはフォルダのショートカット）を選んでください。
放送時間	連動する/連動しない	下の「お知らせ」をご覧ください。
上書き録画	する/しない	番組指定予約の予約日時変更や日時指定予約で、「毎日」「毎週」「月～金」「月～土」を指定したときに設定できます。

東芝RDシリーズに「テレビdeナビ予約」で録画する場合

項　目	設定する内容	説　明
録画機器	東芝RDアナログ／東芝RDデジタル1～3	録画予約の種類(機器)を選びます。
画質モード	TS/SP/LP/MN1.4 ～ MN9.2	「TS」は、「東芝RDデジタル1 ～ 3」のときにだけ設定できます。(機種によっては、「記録先」が「DVD」のときには「TS」に設定できない場合があります) 音質モードがL-PCMのときは、SP/LP/MN8.2以上は選択できません。
音質モード	M1/M2/L-PCM	画質モードがSP/LP/MN8.2以上のときは、L-PCMは選択できません。(画質モードがTSのときは、音質モードの設定はできません)
DVD互換	切/入(主音声)/入(副音声)	音声多重番組の場合に、本機はこの設定に従った音声をビデオレコーダーに出力します。DVD-Video作成を前提とする場合は、必ず「入(主音声)」または「入(副音声)」に設定します。「切」に設定した場合は、音声多重番組のままVRモードで録画されます。
記録先	HDD/DVD	ビデオレコーダーの記録先を設定します。(機種によっては、「画質モード」が「TS」のときには「DVD」に設定できない場合があります)
映像信号	映像1/映像2/映像3など	「東芝RDデジタル1 ～ 3」の場合、日時指定予約の場合、および選択できる信号がない場合は設定できません。
音声信号	音声1/音声2/音声3など	

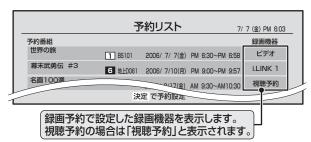
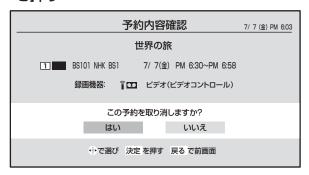
お知らせ

■ 放送時間連動について

● 放送局から番組遅延の情報が送信されていれば、最大3時間までの遅れに連動して録画をする機能です。(放送時間の繰上げには対応しません)
● 日時指定予約の場合は設定できません。
● ペイ・パー・ビュー番組はこの設定に関係なく、放送時間連動に対応します。
● ビデオやDVDで「ビデオコントロールなし」の場合および「テレビdeナビ予約」の場合には、放送時間連動に対応できません。
● 放送時間の変更によって、予約した番組が録画できなかった場合の補償は一切できませんので、あらかじめご了承ください。

予約内容を確認する・予約を取り消す

1 メニュー を押す

2 ▲·▼で「予約リスト」を選び、決定 を押す

3 ▲·▼で予約内容を見たい番組を選び、決定 を押す

予約を取り消すには

❶ ◀·▶で「はい」を選び、決定 を押す

- 放送が始まっていないペイ・パー・ビュー番組の予約を取り消した場合は、購入されません。

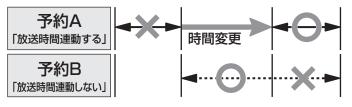
4 終わったら、終了 を押す

予約番組の優先順位について

- 予約した番組の放送時間が変更されて、他の予約番組と重なったときには、優先順位をつけて録画します。

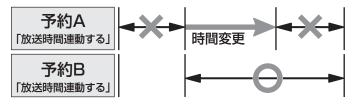
「放送時間」を「連動する」に設定した予約番組と「連動しない」に設定した番組が重なった場合

■ 「放送時間」を「連動する」に設定した番組が優先されます。

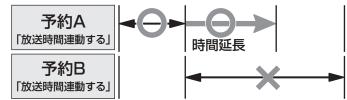
- 次の例では「放送時間」を「連動する」に設定していた予約Aが時間変更に対応したため、予約Aと重なった部分の予約Bは録画されません。

「放送時間」を「連動する」に設定した複数の予約番組が重なった場合

(1) 開始時刻が変更された場合

■ 開始時刻の早い予約が優先されます。

- 次の例では「放送時間」を「連動する」に設定していた予約Aの開始時刻が変更になったため、録画開始時刻の早い予約Bが優先されます。予約Aは取り消されます。

(2) 終了時刻が延長された場合

■ 先に予約を実行した番組の終了時刻が優先されます。

- 次の例では「放送時間」を「連動する」に設定していた予約Aの終了時刻が延長し時間変更に対応したため、先に予約を実行した予約Aが優先されます。予約Bは取り消されます。

(3) 複数の予約番組の開始時刻が同じになった場合

■ 最初に予約設定した番組が優先されます。

- 二番目以降に設定した番組の予約は取り消されます。

お知らせ

■ 予約リストについて

- 「新規予約」を選んで 決定 を押すと日時指定予約ができます。37ページ
- チャンネル番号の表示が「ーーー」となって、内容が薄く表示された予約は、「初期スキャン、再スキャン、自動スキャン」(準備編 61ページ、62ページ)などでチャンネルがなくなったために録画できないことを示します。
- 「東芝RDデジタルでの予約」については、予約リストに表示されません。(番組表にも予約アイコンは表示されません。)予約内容は東芝RDシリーズでご確認ください。

■ ビデオやDVDで「ビデオ(コントロールなし)」の場合および東芝RDシリーズの「テレビdeナビ予約」の場合で、本機の録画予約を取り消したときには録画機器側でも予約を取り消してください。

■ **番組表画面で予約済み番組を選んだ場合にも、予約内容の確認や予約の取り消しなどができます。**

■ 優先順位で取り消された予約については、その旨を「本機に関するお知らせ」27ページでお知らせします。

録画・予約をする つづき

予約設定時にメッセージが表示された場合

● 予約設定時にメッセージが表示された場合に、予約を続けるための手順を説明します。

「予約数がいっぱいです。」が表示された場合

❶ ◀・▶で「はい」を選び、決定を押す

● 予約をやめる場合は、「いいえ」を選びます。

❷ 予約リスト画面で他の予約を取り消す

● 前ページ左側手順 **3** の操作で取り消します。

「他の予約と時間が重なっています。」が表示された場合

❶ ◀・▶で「はい」を選び、決定を押す

● 予約をやめる場合は、「いいえ」を選びます。

❷ 予約が重複している番組のリスト画面で、「はい」を選び、決定を押す

● 重複している予約がすべて取り消されます。

「ソフトウェアのダウンロード予約と時間が重なっています。」が表示された場合

❶ ◀・▶で「はい」を選び、決定を押す

● ダウンロード予約が取り消されます。

● 録画予約をやめる場合は、「いいえ」を選びます。

● ダウンロードについては、61 をご覧ください。

東芝RDデジタルでの予約(録画)のご注意

● 東芝RDシリーズ側で非契約のチャンネルの場合は、予約の設定はできますが番組は録画されません。

● ペイ・パー・ビュー番組の場合は、録画実行時に東芝RDシリーズでの番組購入の操作が必要です。

● 視聴制限のある番組の場合、東芝RDシリーズ側で視聴制限が解除されない場合には番組は録画されません。

● 放送時間連動には対応していません。

予約の動作について

● テレビを視聴中の予約の動作について説明します。

予約設定後

● 録画予約の場合は本体前面の「録画予約(緑)」表示が点灯します。

▼

予約した番組放送が始まるとき

● 予約した番組の放送開始時刻近くになると、画面にメッセージが表示されます。予約を中止する場合は、終了を押します。

● 予約した番組の放送開始時刻になると、自動的に予約した番組のチャンネルに切り換わります。

● 録画予約の場合は、本体前面の「録画中(橙)」表示が点灯します。

● 視聴予約したペイ・パー・ビュー番組の開始時には、番組購入の画面が表示されますので、購入の操作をしてください。

● 視聴予約した視聴制限のある番組が始まるときには、視聴制限がある旨のメッセージが表示されます。決定を押したあと、暗証番号(準備編 87)を入力してください。

▼

予約した番組の放送中

● 録画予約した番組の録画中に操作できないボタンを押すと、「＊＊＊を録画中です。終了を押すと録画を中止します。」または、「録画実行中は切り換えられません。」が表示されます。

録画を中止したいとき

❶ 終了を押し、メッセージが表示されている間に、もう一度終了を押す

● クイックを押して、▲・▼で「外部機器録画中止」を選んで中止することもできます。

● ビデオやDVDに「ビデオ(コントロールなし)」で録画している場合や、東芝RDシリーズに「テレビdeナビ予約」で録画している場合は、上記の操作をしても録画機器側の録画は中止されません。録画機器側でも録画中止の操作をしてください。

▼

予約した番組の放送終了時

● 予約した動作を終了し、本機を通常どおり使用できます。

● 録画予約した番組の録画が終了した場合は、本体前面の「録画中(橙)」表示が消えます。ただし、ほかにも録画予約がある場合は、「録画予約(緑)」表示は点灯したままです。

LAN HDDやi.LINK機器などに録画した番組を見る

LAN HDDやi.LINK機器に録画した番組を見る

- 接続については準備編 52 ～ 59 、設定については準備編 76 ～ 79 をご覧ください。
- つないだ機器の取扱説明書もよくお読みください。
- LAN HDDの場合は、あらかじめ電源を入れておいてください。
- DLNA認定サーバーを使用する場合は、準備編 57 もご覧ください。

基本の操作～番組を見る～

1 メニューを押す

LAN HDDの場合

2 ▲・▼で「LAN再生」を選び、決定を押す

- 「LAN機器選択」画面が表示されます。

3 ▲・▼で機器を選び、決定を押す

- 録画リストが表示されます。(一番下の図)
  ※ 録画リストについては、43 の「録画リストについて・他」もよくお読みください。
- LAN HDDを選んだ場合で、LAN HDDにアクセスするためのユーザー名とパスワードの入力画面が表示された場合は、33 をご覧ください。

4 ▲・▼で見たい番組を選ぶ

- 選んでいる番組の情報を見るには、番組説明を押します。20

5 決定を押す

- 選んだ番組の再生が始まります。
  ※ 再生されるまでに時間がかかる場合があります。
- 「録画中」の番組を選ぶと、録画している番組を再生します。(これを「追っかけ再生」と呼びます)たとえば、録画予約中に帰宅したとき、録画予約が終了するまで待たずに再生することができます。(汎用LAN端子につないだLAN HDDでは、追っかけ再生ができない場合があります)
- 停止、早送り、早戻しなどの操作はリモコンのボタンで行います。42

i.LINK接続した機器の場合

2 ▲・▼で「i.LINK再生」を選び、決定を押す

- 「i.LINK機器選択」画面が表示されます。

3 ▲・▼で機器を選び、決定を押す

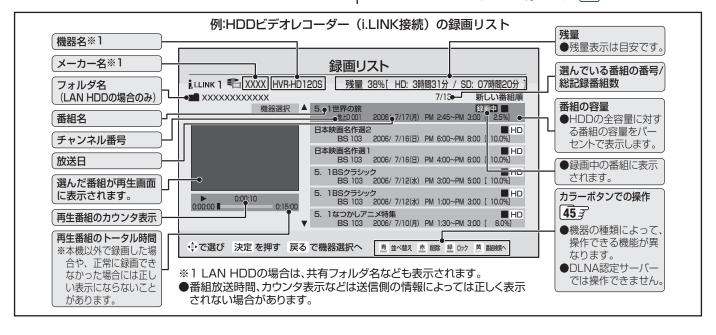
HDDビデオレコーダー(i.LINK接続)を選んだ場合

- 録画リストが表示されます。(一番下の図)
  ※ 録画リストについては、43 の「録画リストについて・他」もよくお読みください。

❶ ▲・▼で見たい番組を選ぶ
- 選んでいる番組の情報を見るには、番組説明を押します。20

❷ 決定を押す
- 選んだ番組の再生が始まります。
  ※再生されるまでに時間がかかる場合があります。
- 「録画中」の番組を選ぶと、録画している番組を再生します。(これを「追っかけ再生」と呼びます)たとえば、録画予約中に帰宅したとき、録画予約が終了するまで待たずに再生することができます。
- 停止、早送り、早戻しなどの操作はリモコンのボタンで行います。42

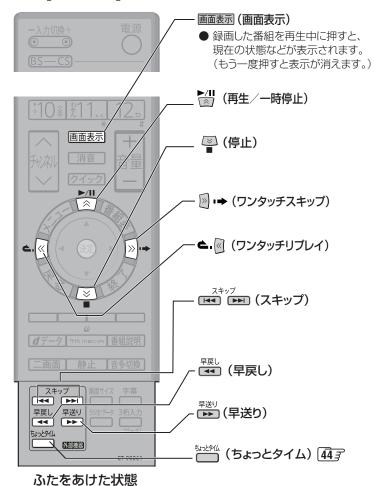
D-VHSビデオ(i.LINK接続)を選んだ場合

❶ 再生を押すと再生がはじまります。
- 停止、早送り、巻戻しなどの操作はリモコンのボタンで行います。42

LAN HDDやi.LINK機器などに録画した番組を見る つづき

基本の操作～リモコンで操作する～

● 番組を再生中にリモコンのボタンで操作ができます。

［リモコン］

お知らせ

● 降雨対応放送中の番組を録画した場合、早送り再生や早戻し再生の映像は正しく表示できません。
● データ放送を録画した場合、録画した内容によっては再生できないことがあります。

■ 追っかけ再生について
- 「追っかけ再生」は、クイックからできます。
- 追っかけ再生時に、早送りなどで現在録画中の場面まで進むと、録画機器によっては追っかけ再生を停止する機器があります。このような機能は、録画機器によって動作が異なります。
- 録画を開始してから追っかけ再生ができるようになるまでに、数分間かかる場合があります。
- 汎用LAN端子につないだLAN HDDでは、追っかけ再生ができない場合があります。
- 追っかけ再生中の早送り／早戻し再生などの特殊再生機能は、正しく動作しないことがあります。

■ 頭出し再生について
- 頭出し再生の順番は録画リストの古い番組順になります。

■ DLNA認定サーバー（準備編 57）について
- DLNA認定サーバーによっては、「再生」と「再生停止」しかできない場合があります。また、再生時間表示などが表示されない場合があります。

■ D-VHSについて
- HDDビデオレコーダーをD-VHSモードで使用している場合は、正しく動作しないことがあります。また、リモコンボタンによる動作は、一般のD-VHS機器と異なる場合があります。
- データ放送の録画番組を再生しているときに一時停止にすると、映像が消えます。
- 番組連動データ番組を再生中に一時停止にする場合は、終了を押してデータ放送部分を終了してからにしてください。
- データ放送の録画番組を再生しているときに画面に従って操作をすると、現在のデータ放送チャンネルに飛ぶことがあります。

ボタン	i.LINK機器		LAN HDDや DLNA認定サーバーの動作
	HDDビデオレコーダーの動作	D-VHSビデオの動作	
►/II（再生／一時停止）	再生します。 再生中に押すと一時停止します。 ちょっとタイム録画中に押すと、ちょっとタイムの追っかけ再生がはじまります。	再生します。 再生中に押すと一時停止します。	再生します。 再生中に押すと一時停止します。
■（停止）	停止します。 ちょっとタイム再生中に押すと再生を始める前に選択していたチャンネルまたは入力に戻ります。	停止します。	LAN HDD…停止します。 DLNA認定サーバー…停止します。
早送り（ふたの中）	早送り再生をします。（押すごとに速さが変わります。）	早送りします。	HDDビデオレコーダーと同様。
早戻し（ふたの中）	早戻し再生をします。（押すごとに速さが変わります。）	巻戻します。	HDDビデオレコーダーと同様。
（ワンタッチスキップ）	再生中に押すと、30秒ほど先に進んで再生します。 （スキップする時間は、「ワンタッチスキップ設定」準備編 80 で変更できます。）	―――	HDDビデオレコーダーと同様。
（ワンタッチリプレイ）	再生中に押すと、10秒ほど戻って再生します。 （リプレイする時間は、「ワンタッチリプレイ設定」準備編 80 で変更できます。）	―――	HDDビデオレコーダーと同様。
スキップ ►►I（ふたの中）	一つ先に進んで頭出し再生します。	一つ先に進んで頭出しします。	HDDビデオレコーダーと同様。
スキップ I◄◄（ふたの中）	前に戻って頭出し再生します。 （再生してから5秒以内の場合は、前の番組の先頭に戻ります。）	前に戻って頭出しします。	HDDビデオレコーダーと同様。
ちょっとタイム（ふたの中）	ちょっとタイム録画中に押すと、ちょっとタイムの追っかけ再生がはじまります。	―――	―――

機器操作中にはこんなこともできます！

■ 録画リストを表示する（D-VHSを除く）

❶ **機器操作中に、クイックを押す**

❷ **▲･▼で「録画リスト」を選び、決定を押す**

■ 機器選択画面を表示する

● i.LINK機器を使用していた場合は「i.LINK機器選択」画面、LAN HDDを使用していた場合は「LAN機器選択」画面を表示します。

❶ **機器操作中に、クイックを押す**

❷ **▲･▼で「機器選択」を選び、決定を押す**

■ リピート再生設定（D-VHSを除く）

● リピート再生やロックリピート再生の設定をします。

❶ **機器操作中に、クイックを押す**

❷ **▲･▼で「リピート再生設定」を選び、決定を押す**

❸ **▲･▼で設定項目を選び、決定を押す**

● **リピートオフ**：通常の再生をします。
● **リピート再生**：一つの番組を繰り返して再生します。
● **ロックリピート再生**：ロックしている番組を順次再生します。再生される順番は録画リストの古い番組順になります。

• ロックについては45をご覧ください。

※ 設定した「リピート再生」、「ロックリピート再生」のアイコンは、録画した番組を再生した際に、画面表示を押すと画面上で確認できます。
※ 録画中の番組は、リピート再生できません。

■ 電源を操作する（i.LINK機器のみ）

● i.LINK機器の電源のオン、オフをします。
※ 録画中、ちょっとタイム中の機器の電源はオフできません。

❶ **機器操作中に、クイックを押す**

❷ **▲･▼で「電源入／待機」を選び、決定を押す**

■ 録画リストについて･他

● 録画リストでは、録画番組の削除やロックなどもできます。45
● 録画リストに表示できる最大数は、HDDビデオレコーダーで128、LAN HDDではフォルダ数と番組数を合わせて1000までです。これを超えた機器では正しく動作しないことがあります。最大数は機器によっても制限されることがありますので、各機器の取扱説明書でご確認ください。
● LAN HDDに録画した番組をパソコンなどで編集すると、録画リストに表示されない場合があります。
● 地上デジタル放送のチャンネル番号などは、本機のチャンネル設定が変更された場合や、本機以外の操作で録画した番組の場合には、録画リストに正しく表示されないことがあります。
● HDDビデオレコーダーでは、数秒程度の短い録画内容や、受信障害やコピー制限などで正常に録画できなかった番組は、レコーダー自身が自動的にそれらを削除することがあります。

■ 接続機器について

● 「機器（メディア）にアクセスできません。」が表示された場合は、機器の電源がはいっているか、正しく接続されているかなどを確認してください。LAN HDDの場合は、HDDの名前や共有フォルダの名前が変更されたとき、共有フォルダが削除されたときなどにもアクセスできなくなります。
● 汎用LAN端子につないだHDDで録画・再生する場合、他のネットワーク機器の動作状態によっては、録画や再生（追っかけ再生も含む）ができないことがあります。
● 他の機器から本機がi.LINK操作されているときは、本機から操作することはできません。本機から操作するには、他の機器からの操作を終了させてください。
● i.LINK機器の場合、「機器に接続できません。」が表示されたときは、いったん機器操作モードを終了し、i.LINKケーブルをつなぎ直してから再び機器操作モードにしてください。
● DLNA認定サーバーを使用する場合は、準備編57のお知らせもご覧ください。
● ブロードキャスト（準備編76）の場合は、「i.LINK機器選択」画面に「ブロードキャスト」と表示されます。本機で対応していないブロードキャスト出力信号の場合には、本機では視聴できません。
● 「登録モード設定」で「手動」に設定している場合は、i.LINK機器の登録をしてください。（準備編76）
● ボタンによる動作は、機器によって異なることがあります。各機器の取扱説明書をご覧ください。

■ **ロックリピート再生について**
● ロックリピート再生する際は、再生の切り換わりに時に音がひずむことがあります。
● 頭出し再生は、ロックリピート再生時であっても全番組が頭出し再生の対象となります。
● ロックしていない番組を選んだ場合は、その番組だけを繰り返し再生します。
● DLNA認定サーバーでは、ロックリピート再生できません。

LAN HDDやi.LINK機器などに録画した番組を見る つづき

「ちょっとタイム」機能(HDDビデオレコーダー(i.LINK接続)のみ)

「ちょっとタイム」とは…

- テレビを視聴中に電話がかかってきたときなどのように、少しの間視聴を中断したいときに便利な機能です。
  ちょっとタイム(ふたの中)を押すと、視聴中の番組の録画が始まります。
  用事が終わったら、もう一度ちょっとタイム(ふたの中)を押すと、録画が始まったところからの再生が始まります。
- 「ちょっとタイム」をするには、追っかけ再生のできるHDDビデオレコーダー (i.LINK接続)を使います。
- 設定は「その他のi.LINK設定」(準備編 76)をご覧ください。
- 「ちょっとタイム」はアンテナ入力からのデジタル放送のテレビ番組でだけ使用することができます。

「ちょっとタイム」を使う

1 [用事などで、視聴を中断したいとき]

ちょっとタイム(ふたの中)を押す

- 録画が始まります。

※ ボタンを押してから録画が始まるまでには数秒かかります。

2 [用事が終わったあと、続きを視聴するには]

もう一度ちょっとタイム(ふたの中)を押す

- 録画が始まったところから、再生が始まります。

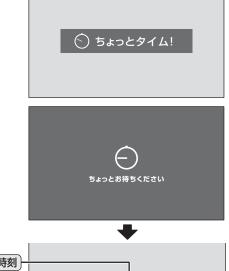
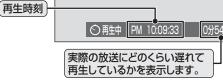
早送り、停止などの操作をするには

- リモコンのボタンで操作してください。42

「ちょっとタイム」を終了するには

❶ 終了を押し、メッセージが表示されているされている間に、もう一度終了を押す

- 録画が終了し、録画したものは削除されます。

※ 終了以外(電源などを押すなど)で終了した場合は、自動的に削除されずに残ることがあります。
(その場合、ちょっとタイムでは再生できません)

- 「ちょっとタイム」は、終了の操作をしない場合、開始から最長6時間で終了し、録画したものは削除されます。ただし、HDDビデオレコーダー(i.LINK接続)に録画できる残量がなくなった場合は、その時点で録画を終了します(この場合は、終了の操作をするまで「ちょっとタイム」の再生ができます)。
- 「ちょっとタイム」ができるのはテレビ放送のみです。(ラジオやデータ放送はできません)
- 「ちょっとタイム機器電源設定」(準備編 76)の設定で、ちょっとタイム録画が始まるまでの時間を短かくすることができます。
- 上図の再生時刻や遅れ時間の表示は目安です。
- 「ちょっとタイム」での録画中や再生中は、画面右下にその旨が薄く表示されます。
- 録画禁止の番組は「ちょっとタイム」はできません。(その場合、「この番組はちょっとタイムできません」が表示されます)
- 録画予約などで録画中には「ちょっとタイム」はできません。
- 「ちょっとタイム」での録画中に、早送り再生によって再生位置が現在の録画位置の近くまで来ると、通常の再生になります。
- 「ちょっとタイム」中には、現在放送中の番組の録画 33、34 はできません。
- 「ちょっとタイム」での録画中にリモコンの電源や本体電源ボタンを押したり、i.LINKケーブルが抜かれたり、停電がおきると録画は中止されます。
- HDDビデオレコーダーをD-VHSモードの状態で本機に登録または接続した場合は、「ちょっとタイム」機能は使用できません。HDDビデオレコーダーをディスクモードにしてから、接続・登録(準備編 58、76)してください。
- 「ちょっとタイム」中に予約した録画が始まると「ちょっとタイム」は終了となり、「ちょっとタイム」録画した番組は削除されます。
- 「ちょっとタイム」録画中は、クイックメニューで電源を待機にすることはできません。43
- HDDビデオレコーダー(i.LINK接続)の残量がなくなったり、i.LINKケーブルが抜かれたりするなどで「ちょっとタイム」録画が終了したあと、「ちょっとタイム」再生をすると再生開始までに時間がかかる場合があります。

録画リストではこんなこともできます！

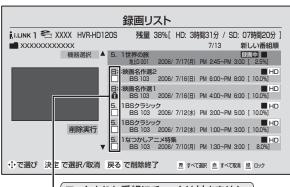
● DLNA認定サーバー（準備編 57）の場合は、操作できません。

録画番組やフォルダを並べ替える

❶録画リスト画面で、[青] を押す
● [青] を押すたびに「新しい番組順」⇔「古い番組順」と交互に切り換わります。

録画番組やフォルダを削除する

● ＨＤＤビデオレコーダー（i.LINK接続）の録画番組や、LAN HDDの録画番組またはフォルダを削除することができます。
※ 録画中や「ちょっとタイム」中は、削除できません。

❶録画リスト画面で、[赤] を押す
● 番組名やフォルダ名の前にボックスが表示されます。

ロックされた番組にチェックは付きません。

❷削除したい番組やフォルダを▲･▼で選び、(決定) を押す
● (決定) を押すたびに「選択」⇔「取消」に切り換わります。
● ＨＤＤビデオレコーダー（i.LINK接続）の場合は次のことができます。
• すべてを選択する場合は [青] を押します。
• 選択をすべて取消する場合は [赤] を押します。
• ロック設定または解除したい場合は [緑] を押します。

❸▲･▼･◀･▶で「削除実行」を選び、(決定) を押す

❹確認画面で、「はい」を◀･▶で選び、(決定) を押す
※ 削除中は操作しないでください。

❺「削除しました。」が表示されたら、(決定) を押す

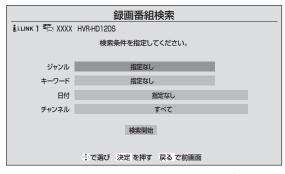
録画番組をロックする

● i.LINK機器やLAN HDDを複数の機器から操作すると意図しない番組が削除されることがあります。
たいせつな番組は、あらかじめロックしておくと、誤った削除を防止することができます。
※ 録画中や「ちょっとタイム」中は、ロックできません。

❶録画リスト画面で、ロックしたい番組を▲･▼で選び、[緑] を押す
● [緑] を押すたびにロック⇔解除と交互に切り換わります。
● ロックした番組にはアイコン「🔒」がつき、削除はできなくなります。

録画番組を検索する

● ジャンル、キーワードなどの検索条件を指定して番組を検索できます。
※ LAN HDDでは録画中の検索はできません。

❶録画リスト画面で、[黄] を押す
● 検索画面が表示されます。

❷▲･▼で「ジャンル」、「キーワード」を選び、(決定) を押す
● 選びかたは 16 ❶、❷の手順で操作してください。
※ ジャンル、キーワードのどちらかは必ず指定してください。

❸日付を指定するときは、以下をする
① ▲･▼で「日付」を選び、(決定) を押す
② 日付指定画面で、指定する日付を▲･▼･◀･▶で選び、(決定) を押す
※ 画面の左端の項目を「指定する」にしたときに、検索開始日と終了日を指定できます。

❹チャンネルを指定するときは、以下をする
① ▲･▼で「チャンネル」を選び、(決定) を押す
② チャンネル指定画面で、◀･▶で指定する項目、▲･▼で指定する内容を選ぶ
• 放送の種類 ：BS ／ CS ／地上D ／すべて
• 放送メディア ：テレビ／ラジオ／データ／すべて
• チャンネル ：すべて／上記の受信可能なチャンネル
③ 指定が終わったら、(決定) を押す

❺検索場所を指定するときは、以下をする
● LAN HDDの場合は、検索する場所（フォルダ）を指定することができます。指定した階層を含めて３階層下まで検索できます。
① ▲･▼で「検索場所」を選び、(決定) を押す
② ▲･▼･◀･▶で「フォルダ」を選び、(決定) を押す
• 選んだフォルダの下の階層のフォルダ一覧が表示されます
• 上の階層に移動する場合は、「上の階層へ」を選び、を押してください。
③ 手順①、②の操作を繰り返して検索するフォルダを選ぶ
④ ▲･▼･◀･▶で「この中を検索」を選び、(決定) を押す

❻▲･▼･◀･▶で「検索開始」を選び、(決定) を押す
● 検索にはしばらく時間がかかります。

次のページにつづく

● 機器によってはロックできない場合があります。機器の取扱説明書をご覧ください。
● ごみ箱機能のあるLAN HDDでは、削除したファイルはゴミ箱フォルダの中に移動します。ファイルを完全に削除したい場合は、ゴミ箱の中を空にして（削除して）ください。

LAN HDDやi.LINK機器などに録画した番組を見る つづき

録画リストではこんなこともできます！ つづき

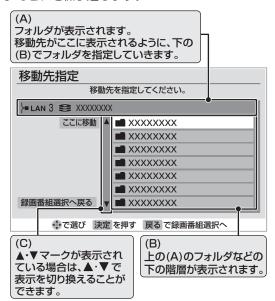
❼検索結果が表示されたら、▲·▼で番組を選ぶ
● 選んでいる番組の説明を見るには、番組説明を押します。20
● 録画リストに戻るには黄を押します。

❽ 決定を押す
● 選んだ番組の再生が始まります。
● 再生中に早送りなどの操作をしたいときは、リモコンで操作してください。42

録画番組を移動する
● LAN HDDに録画した番組を移動することができます。
※録画中には移動できません。

❶移動したい番組を▲·▼で選び、クイックを押す

❷ ▲·▼で「移動」を選び、決定を押す
● 移動先指定画面が表示されます。

❸（A）に移動先を指定する
● 上の階層に移動したいときは、▲·▼·◀·▶で「上の階層へ」を選んで決定を押します。
● 移動先にしたいフォルダを（B）から▲·▼で選んで決定を押します。（A）に希望のフォルダが表示されるまでこれを繰り返します。

❹手順❸の図の（A）に移動先が表示されたら、▲·▼·◀·▶で「ここに移動」を選び、決定を押す
※ 番組の移動中は操作しないでください。

❺移動が完了したら、決定を押す

名前の変更
● LAN HDDフォルダの名前を変更することができます。
※録画中に名前の変更はできません。

❶名前を変更したいフォルダを▲·▼で選び、クイックを押す

❷ ▲·▼で「名前の変更」を選び、決定を押し、新しい名前をつける
● 入力できない文字は、半角カタカナと¥/:*?<>¦$@,” などです。
● 文字入力のしかたは、30をご覧ください。

フォルダ作成
● LAN HDDに新しいフォルダを作成します。
※録画中にフォルダの作成はできません。

❶ クイックを押し、▲·▼で「フォルダ作成」を選び、決定を押す

❷文字入力画面でフォルダの名前を入力する
● 入力できない文字は、半角カタカナと¥/:*?<>¦$@,” などです。
● 文字入力のしかたは、30をご覧ください。

ショートカット作成
● LAN HDDにショートカットを作成することができます。
※録画中にショートカットの作成はできません。
※ ショートカットとは、録画番組が保存されているLAN HDDの場所（フォルダ）への入り口です。

❶ショートカットを作りたいフォルダを▲·▼で選び、クイックを押す

❷ ▲·▼で「ショートカット作成」を選び、決定を押す
● ショートカットが「LAN機器選択」画面に作成されます。作成できる数は最大16個です。

❸ショートカットの作成が完了したら、決定を押す

機器選択画面ではこんなこともできます！

❶「LAN機器選択」画面、または「i.LINK機器選択」画面で、クイックを押す

❷ ▲·▼で項目を選び、決定を押す
● 以下のことができます。

機器の情報
● 接続されている機器の情報を見ることができます。
● 情報を確認後、決定を押します。

名前の変更（LAN HDDのみ）
● ショートカットの名前を変更することができます。
● 半角30文字以内の名前がつけられます。
● 文字入力のしかたは、30をご覧ください。

ショートカット削除（LAN HDDのみ）
● ショートカットを削除することができます。
● 削除するには、◀·▶で「はい」を選び、決定を押します。
※ 録画予約が設定されているショートカットは削除できません。（メッセージが表示されます）

● 機器によっては「名前の変更」ができない場合があります。
● ショートカット作成後にフォルダの名前を変えると、ショートカットからアクセスできなくなります。

インターネットを楽しむ

インターネットを楽しむ

● 接続、設定については、準備編 27 、72 をご覧ください。

ホームページを見る／終了する

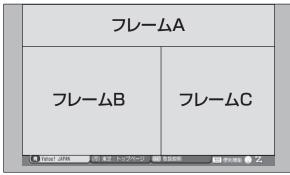
1 メニューを押し、▲·▼で「インターネット」を選び、決定を押す

● インターネット画面が表示されます。
● ▲·▼·◀·▶を押し続けると、画面に表示しきれない部分を見ることができます。ページ送り・ページ戻し・«·»を押すと、ページが大きく移動します。

● 青、赤、緑のタブごとに画面をもっています（各画面はカラーボタンを押して切り換えられます）。タブには設定されているホームページ名が表示されます。設定されているホームページは変更できます。

Webページがいくつものフレームで作られている場合にフレーム間を移動するとき

● Webページによっては、一つのページが複数のフレーム（それぞれが別々の内容を表示する領域）で構成されていることがあります。その場合は、以下の操作でフレームを選びます。

❶ 今見ているタブの色のボタン（青、赤、緑）を押す

● 押すたびにフレームが順番に選ばれます。（選んでいるフレームには青い枠がつきます）
● ▲·▼·◀·▶でも同様に選ぶことができます。

リンク先を別のタブに開くには

❶ dデータを押す

● 新しいリンク先を別のタブで開くことができます。どのタブを開くのかは、設定で変更することができます。

2 見たい項目を▲·▼·◀·▶で選び、決定を押す

● 画面右下の▲·▼·◀·▶が明るく表示されている場合は、画面に表示しきれない部分が矢印の方向にあることを表しています。
▲·▼·◀·▶を押し続けると、その方向に進んで表示されます。
ページ送り・ページ戻し・«·»を押すと、ページが大きく移動します。

3 インターネットを終了するには終了を押す

「便利機能」を使う

●「便利機能」はよく使う機能への入り口です。

1 Webページを見ているときに黄を押す

● 便利機能リストが表示されます。

2 ◀·▶で機能を選び、決定を押す

● 機能(アイコン)を選ぶとき、機能名が表示されます。

アイコン、機能名	内容
「戻る」	一つ前のページに戻ります。
「進む」	一つ先のページに進みます。
「再読込み」 ✕「中止」	表示しているページを読込みし直します。 ✕：読込み中に読込みを中止します。（読込み中のときは✕が表示され、それ以外のときはが表示されます）
「スタートページ」	今選んでいる色タブ（青・赤・緑のどれか）に登録されているページに戻ります。 登録のしかたは 49 をご覧ください。
「URL入力」	アドレス(URL)を入力してホームページを表示させるときに使います。48
「お気に入り」	あらかじめ登録したお気に入りのリストから選ぶときに使います。48
「お気に入りに追加」	今表示しているページをお気に入りに追加するときに使います。48
「履歴」	表示したページ履歴から選ぶときに使います。48
「メニュー」	ページ操作 48 や、いろいろな設定 49 ～ 52 をするときに使います。

インターネットを楽しむ

お知らせ

● インターネットを終了するときは、必ず終了を押してください。終了前に本体の電源ボタンを押したり、電源プラグを抜いたりすると、お気に入りや履歴、Cookieなどのさまざまな情報が正しく保存されません。
● インターネットの利用中に、LANケーブルを抜いたり、ネットワーク接続環境を変更したりすると、本機の操作ができなくなることがあります。そのような状態になったときは、本体の電源ボタンで電源を切ってからもう一度入れてください。
● 本機からの録画中にはインターネットはできません。利用中に予約録画が始まると、インターネットは自動的に終了します。
● Webページが表示されるまでの時間は、接続業者との契約の種類や回線の混み具合などによって大きく異なります。

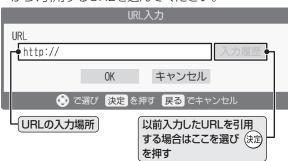
インターネットを楽しむ つづき

インターネットを楽しむ つづき

URLを入力してWebページを見る

1 黄 を押し、◀·▶で「URL入力」を選び、決定を押す

2 ▲·▼·◀·▶で「URLの入力場所」を選び、決定を押し、見たいWebページのURLを入力する

- 入力文字は半角英数字と半角記号で254文字までです。文字入力のしかたは 30 をご覧ください。
- 今までに入力したURLを引用する場合は「入力履歴」から、引用するURLを選んでください。

3 ▲·▼·◀·▶で「OK」を選び、決定を押す

「お気に入り」リストからWebページを見る

1 黄 を押し、◀·▶で「お気に入り」を選び、決定を押す

2 ▲·▼で見たいWebページを選び、決定を押す

Webページを「お気に入り」に登録する

- 最大54個のWebページを「お気に入り」に登録することができます。(お買い上げ時に登録されているものも含みます。)

1 登録したいWebページを開く

2 黄 を押し、◀·▶で「お気に入りに追加」を選び、決定を押す

- お気に入りリストの一番下に追加されます。

履歴からWebページを見る

- 今までに見たWebページの履歴から選ぶことができます。

1 黄 を押し、◀·▶で「履歴」を選び、決定を押す

2 ▲·▼で見たいWebページを選び、決定を押す

ページ操作（メニュー内）

1 黄 を押し、◀·▶で「メニュー」を選び、決定を押す

2 ◀·▶で「ページ操作」を選び、▲·▼でページ操作の項目を選び、決定を押す

- 各操作項目の内容は下表のとおりです。

ページ操作の項目	内容	「便利機能」での名称
ページを戻る ※1	一つ前のページに戻ります。	戻る
ページを進む ※1	一つ次のページに進みます。	進む
読込み中止 ※1	表示しているページの読込みを中止します。	中止 ※2
再読込み ※1	今見ているページを最新の状態にします。	再読込み ※2
ページの消去	今見ているページを消去します。	―――
お気に入りに追加 ※1	今見ているページをお気に入りに追加します。	お気に入りに追加
スタートページに設定	今見ているページを選択しているタブのスタートページとして設定します。詳しくは次のページをご覧ください。	―――

- ※1 「便利機能」と同じ動作をします。
- ※2 「再読込み」、「中止」は、データの読込みをしているときには「中止」を表示し、それ以外のときには「再読込み」を表示します。

お知らせ

■ ホームページとWeb（ウェブ）ページについて
- ホームページは階層構造になっています。この取扱説明書では、下の階層を含めた全体をホームページと記載し、個々のページをWebページと記載しています。(Webページまたは、ページと略して記載している個所もあります)

■ インターネット機能使用時の文字入力では、さらに以下の機能を使うことができます。
- 改行ができるようになります。(記号一覧末尾に改行記号が追加されます)
- URLの入力時にwww.などの定型文を一覧から選んで入力することができます。

■ 定型文の入力方法
❶ URLの入力時に 文字 を押す
❷ ▲·▼·◀·▶で定型文一覧から選び、決定を押す
[定型文]
www. co.jp/ .ne.jp/ .ac.jp/ .or.jp/ .com/ http:// https://

スタートページに設定

● スタートページは、その色のタブ(青、赤、緑)を選んだときに、最初に表示されるページです。

1 青、赤、緑で登録したい色タブに切り換えてから、スタートページに登録したいWebページを開く

2 黄を押し、◀·▶で「メニュー」を選び、決定を押す

3 ◀·▶で「ページ操作」を選び、▲·▼で「スタートページに設定」を選び、決定を押す

4 確認画面で「OK」を選び、決定を押す

新しいページを見る

1 黄を押し、◀·▶で「メニュー」を選び、決定を押す

2 ◀·▶で「新しいページ」を選び、▲·▼で項目を選び、決定を押す

● 各操作項目の内容は下表のとおりです。

項目	内容	「便利機能」での名称
スタートページ	スタートページとして設定されているページを表示します。	スタートページ
お気に入りから	お気に入りリストから選んで表示します。	お気に入り
URL入力	URLを直接入力して、Webページを表示します。	URL入力
履歴から	以前表示したページの履歴から選べます。	履歴

「お気に入り」の編集をする

● 「お気に入り」に登録したWebページのタイトルやURLを編集することができます。

1 黄を押し、◀·▶で「メニュー」を選び、決定を押す

2 ◀·▶で「高度な操作」を選び、▲·▼で「お気に入り編集」を選び、決定を押す

お気に入りの並べ替えをする場合

❶ 並べ替えをしたいお気に入りを▲·▼·◀·▶で選び、黄を押す

❷ 移動したい場所を▲·▼·◀·▶で選び、決定を押す

● 最初から登録されているお気に入りは、並べ替えができません。

3 ▲·▼で編集、または削除したいお気に入りを選び、決定を押す

● 最初から登録されているお気に入りは削除できません。

お気に入りを編集する場合

❶ ▲·▼·◀·▶で編集したい項目(「タイトル」または「URL」)を選び、決定を押す

● 文字入力のしかたは30をご覧ください。

● タイトルに入力できる文字数は、全角文字12文字(半角文字24文字)です。(「お気に入り」を最大登録可能数の54個まで登録した場合の目安です)

● URLの入力文字数は半角英数字/半角記号で254文字までです。定型文の入力方法については前ページの「お知らせ」をご覧ください。

❷ ▲·▼·◀·▶で「OK」を選び、決定を押す

お気に入りを削除する場合

❶ ▲·▼·◀·▶で「削除」を選び、決定を押す

4 を押す

インターネットを楽しむ つづき

インターネットを楽しむ つづき

いろいろな設定

1 黄を押し、◀·▶で「メニュー」を選び、決定を押す

2 ◀·▶で「高度な操作」を選び、▲·▼で設定項目を選び、決定を押す

- 設定できる項目と内容は下表のとおりです。
- 設定できない項目名は薄く表示されます。
- 「フレーム切り替え」を選んだ場合は、フレームが移動します。
- 「ページ情報表示」または「サーバ証明書表示」を選んだ場合は、内容確認後決定を押して終了します。

3 設定したい状態を▲·▼で選び、決定を押す

4 ▲·▼·◀·▶で「OK」を選び、決定を押す

設定項目	内容
ジャストフィット設定	**「有効」**にするとWebページの横幅を、本機の表示エリアの幅に合わせて表示します。
フレーム切り替え	「Webページを見る/終了する」47の「Webページがいくつものフレームで作られている場にフレーム間を移動するとき」と同じ動作です。
ページ情報表示	現在見ているWebページの情報を表示します。
サーバ証明書表示	「サーバ証明書」を表示します。
文字サイズ変更	画面の文字サイズを変更することができます。**「大きく」、「やや大きく」、「普通」、「やや小さく」、「小さく」**から選びます。※この文字サイズはWebページだけの設定です。
画面倍率変更	Webページの表示を拡大・縮小することができます。**「50%」、「75%」、「100%」、「125%」、「150%」、「200%」**から選びます。※Webページによっては拡大・縮小できない場合もあります。
文字コード変更	日本語の文字コードが異なっている場合は、文字コードを変更してください。●一般的に日本語のWebページは**「Shift-JIS」**ですが、**「EUC-JP」**の場合もあります。

表示設定

1 黄を押し、◀·▶で「メニュー」を選び、決定を押す

2 ◀·▶で「ブラウザ設定」を選び、▲·▼で「表示設定1」または「表示設定2」を選び、決定を押す

- 設定できる項目と内容は下表のとおりです。

3 設定したい状態を▲·▼で選び、決定を押す

4 ▲·▼·◀·▶で「OK」を選び、決定を押す

表示設定1の項目について

項目
Java Scriptを有効にする
Window Openを有効にする（Java Scriptを有効にしているときのみ設定できます）
Target属性を有効にする
CSSを有効にする

表示設定2の項目について

項目	設定した場合の動作（またはその項目で設定できる内容）
優先的にウィンドウを開くタブ	Webサイトからの指示で新たにウィンドウを開く際には、今ご覧の色のタブ以外の所でウィンドウを開きます。その際、どの色のタブに開くのかを優先順位をつけて設定できます。画面表示の「優先度1」と「優先度2」にそれぞれ色を設定してください。お買い上げ時には、優先度1：緑、優先度2：赤、に設定されています。（この設定の場合、新しいウィンドウを開く際には、緑のタブに優先的に開きますが、今緑のタブでご覧の場合には、赤のタブに開きます）
新しいウィンドウを開いた後の動作	新しいウィンドウを開いたあと、開く前と開いたあとのどちらのウィンドウの操作ができるようにするのかを設定します。

お知らせ
- 各項目の用語については、準備編110をご覧ください。

セキュリティー設定

1 黄を押し、◀·▶で「メニュー」を選び、決定を押す

2 ◀·▶で「ブラウザ設定」を選び、▲·▼でセキュリティー設定」を選び、決定を押す

3 ▲·▼で設定したい項目、または表示したい項目を選び、決定を押す
- 設定項目と内容は下表のとおりです。
- 「ルート証明書」または「CA証明書」を選んだ場合は、下の「ルート証明書」または「CA証明書」を選んだ場合をご覧ください。

4 設定が終わったら▲·▼·◀·▶で「OK」を選び、決定を押す

項目	設定した場合の動作（またはその項目で設定できる内容）
保護あり/なしの混在ページを表示	保護あり/なしが混在しているページを表示します。
保護あり/なしページ間の移動時に通知する	保護あり→保護なしのページへの移動時に、その旨のメッセージを表示してお知らせします。
使用するSSLバージョン：SSL2.0、SSL3.0、TLS1.0	SSL2.0、SSL3.0、TLS1.0を使用する設定ができます。
ルート証明書	証明書の内容確認と有効/無効の設定ができます。
CA証明書	証明書の内容確認と有効/無効の設定ができます。

■「ルート証明書」または「CA証明書」を選んだ場合
- 証明書のリストが表示されます。
- 以下の操作で、証明書の内容確認、証明書の有効／無効の設定ができます。（設定しない場合には、戻るを繰り返し押して戻ってください）

❶ ▲·▼で証明書を選び決定を押し、◀·▶で「有効」または「無効」を選び、決定を押す

❷ 戻るを繰り返し押して戻る

証明書が有効のときに表示されます

Cookieの設定

- Cookie（クッキー）とは……
  ユーザーの情報やアクセスした履歴などの情報をWebサーバからの指示で本機内に自動的に受信、記録して、インターネットブラウザとWebサーバ間でやりとりをするための仕組み、またはその受信・記録されるファイルのことです。Netscape社によって開発され、本機をはじめ、各種のインターネットブラウザが対応しています。多くの場合、ユーザーがWebサイトをより使いやすくするために使用されますが、個人情報の流出につながるとの指摘もされています。本機では以下の操作でWebサイトから送られてくるこのCookieを受信するかしないかの設定をすることができます。
  ※ Cookieを受信しないように設定すると、Webサイトによってはまったく利用できなくなる場合があります。

1 黄を押し、◀·▶で「メニュー」を選び、決定を押す

2 ◀·▶で「ブラウザ設定」を選び、▲·▼で「Cookie設定」を選び、決定を押す

3 ▲·▼で設定する項目を選び、決定を押す
- 設定できる項目と内容は下表のとおりです。
- 「Cookie全削除」を選んだ場合は、確認画面で「OK」を選び、決定を押します。

4 設定が終わったら▲·▼·◀·▶で「OK」を選び、決定を押す

項目	設定した場合の動作
受信する	Cookieを受信し、本機内に記録します。
受信しない	Cookieの受信はしません。
通知する	Cookieを受信する際、その旨のメッセージを表示してお知らせします。
Cookie全削除	本機内に記録されているCookieをすべて削除します。

インターネットを楽しむ つづき

URL履歴をすべて削除する

● 今までに入力したURLの履歴をすべて削除します。

1 黄 を押し、◀·▶で「メニュー」を選び、決定を押す

2 ◀·▶で「ブラウザ設定」を選び、▲·▼で「URL履歴全削除」を選び、決定を押す

3 ◀·▶で「OK」を選び、決定を押す

表示履歴をすべて削除する

● 今までに表示したページの履歴をすべて削除します。

1 黄 を押し、◀·▶で「メニュー」を選び、決定を押す

2 ◀·▶で「ブラウザ設定」を選び、▲·▼で「表示履歴全削除」を選び、決定を押す

3 ◀·▶で「OK」を選び、決定を押す

ブラウザ情報を見るには

1 黄 を押し、◀·▶で「メニュー」を選び、決定を押す

2 ◀·▶で「ブラウザ設定」を選び、▲·▼で「ブラウザ情報」を選び、決定を押す

3 確認したら決定を押す

お好みや使用状態に合わせて設定する

お好みの映像を選ぶ

1 クイック を押し、▲･▼で「映像設定」を選び、決定 を押す

2 ▲･▼で「映像メニュー」を選び、決定 を押す

3 ▲･▼でお好みの映像を選び、決定 を押す
(詳しくは、下表をご覧ください)
● 終わったら、終了 を押します。

映像メニュー
あざやか
標準
映画
メモリー
テレビプロ
映画プロ

映像メニュー	内　容
あざやか	明るく、迫力ある映像で楽しむとき
標準	お部屋で落ち着いた雰囲気で楽しむとき(日常、ご家庭で使用されるときの推奨設定です)
映画	暗くした部屋で映画館のような雰囲気で楽しむとき(暖かみのある色あいを再現します)
メモリー	お好みに調整した映像で楽しむとき
テレビプロ	テレビ番組を見るのに適した設定です(お好みにあわせて、さらに細かな調整を記憶させることができます)
映画プロ	映画を見るのに適した設定です(お好みにあわせて、さらに細かな調整を記憶させることができます)

※「メモリー」、「テレビプロ」、「映画プロ」には、それぞれ異なったお好みの調整を記憶させることができます。

お好みの映像に調整する

● 上記の「お好みの映像を選ぶ」で「テレビプロ」または「映画プロ」を選んで調整すると、調整した状態をそれぞれに記憶できます。「テレビプロ」「映画プロ」以外を選んでいて調整した場合は、調整した状態が映像メニューの「メモリー」に記憶されます。

1 クイック を押し、▲･▼で「映像設定」を選び、決定 を押す

2 ▲･▼で「映像調整」を選び、決定 を押す

3 ▲･▼で調整項目を選び、決定 を押す
● 調整項目の詳しい内容については、下表をご覧ください。
● 「詳細設定」をする場合は次ページをご覧ください。

4 ◀･▶でお好みの映像に調整し、決定 を押す
● いくつもの項目を設定する場合は、手順 **3**、**4** を繰り返してください。
● 決定 を押さずに▲･▼で調整項目を切り換えることもできます。
● 調整が終わったら、終了 を押します。

ユニカラー 100
バックライト 100
黒レベル 00
色の濃さ 00
色あい 00
シャープネス 00
詳細調整 →
初期設定に戻す →
映像調整

調整項目	内　容	◀･▶を押したとき
ユニカラー	コントラスト・明るさ・色の濃さが同時に調整できます。	00 ～ 100 淡くなる⇔濃くなる
バックライト	お好みの見やすい画面の明るさに調整できます。	00 ～ 100 暗くなる⇔明るくなる
黒レベル	黒の階調を調整します。(黒髪などを見やすくします)	−50 ～ +50 暗くなる⇔明るくなる
色の濃さ	色の濃さが調整できます。	−50 ～ +50 淡くなる⇔濃くなる
色あい	色あいが調整できます。(肌の色に注目して調整します)	−50 ～ +50 紫っぽくなる⇔緑っぽくなる
シャープネス	映像の鮮明さが調整できます。	−50 ～ +50 やわらかい映像になる⇔くっきりした画像になる
詳細調整	さらに細かく映像を調整できます。	次ページをご覧ください。
初期設定に戻す	調整した項目をお買い上げ時の状態に戻します。	――――

● メニュー を押してメニューの「設定」から「映像設定」を選ぶこともできます。
● ゲーム画面のときは映像メニューの切換えはできません。

お好みや使用状態に合わせて設定する つづき

お好みの映像に調整する つづき

映像をより細かく調整する

1 クイック を押し、▲・▼で「映像設定」を選び、決定を押す

2 ▲・▼で「映像調整」を選び、決定を押す

3 ▲・▼で「詳細調整」を選び、決定を押す

色温度	高
ダイナミックガンマ	強
ガンマ調整	00
Vエンハンサー	強
詳細調整	

4 ▲・▼で調整項目を選び、決定を押す
- 調整項目の詳しい内容については、下表をご覧ください。

5 ◀・▶または▲・▼でお好みの映像に調整し、決定を押す
- 数字の調整項目は、◀・▶で調整します。それ以外は▲・▼でレベルを選び 決定を押してください。
- いくつもの項目を設定する場合は、手順 **4**、**5** を繰り返してください。
- 調整が終わったら、終了を押します。

映像の何を調整するか？	詳細調整項目		調整レベル	映像状態
色あいの調整 映像のホワイトバランスや肌色などを好みに合わせて生彩にします。	色温度		「低」「中」「高」	色調を調整します。 **低**：暖色系、**高**：寒色系
	色温度「低」「中」「高」	Gドライブ	－15～00～+15	明るい部分の色温度を微調整します。「＋」方向で緑(G)または青(B)が強くなります。
		Bドライブ	－15～00～+15	
階調の調整 映像の明部と暗部のコントラストのバランスを細かく調整します。	ダイナミックガンマ		「オフ」「弱」「中」「強」	それぞれのシーンに最適な階調を調整し、調整を強くするに従って、メリハリ感が強調されます。
	ガンマ調整		－5～00～+5	映像の明部と暗部のコントラストのバランスを補正します。 「＋」方向で画面全体が明るくなります。
輪郭の調整 映像の輪郭などを強調したり弱めたりすることができます。	Vエンハンサー (垂直輪郭補正)		「オフ」「弱」「中」「強」	横線の輪郭を補正します。調整を強くするに従って、輪郭が強調されます。

※ 色温度調整は、まず▲・▼で「低」「中」「高」を選び、決定を押します。そのあと、GドライブとBドライブのそれぞれの調整をしてください。

映像調整をお買い上げ時の状態に戻すとき

❶上記の手順 **3** で▲・▼で「初期設定に戻す」を選び、決定を押す
❷◀・▶で「はい」を選び、決定を押す

お知らせ
- メニューを押してメニューの「設定」から「映像設定」を選ぶこともできます。

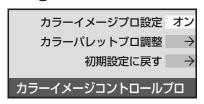
色を細かく調整する(カラーイメージコントロールプロ)

カラーイメージコントロールプロのオン／オフを設定する

● 下の「カラーパレットプロ調整」をする場合は、「オン」に設定します。(お買い上げ時は「オン」に設定されています)

1 クイックを押し、▲·▼で「映像設定」を選び、決定を押す

2 ▲·▼で「カラーイメージコントロールプロ」を選び、決定を押す

3 ▲·▼で「カラーイメージプロ設定」を選び、決定を押す

4 ▲·▼で「オン」または「オフ」を選び、決定を押す

● 設定が終わったら、終了を押します。

カラーパレットプロ調整

● カラーパレットプロ調整には、「ベースカラー調整」と「ユーザーカラー調整」があります。

● 調整した内容は、「映像メニュー」53の「メモリー」に記憶されます。

ベースカラー調整

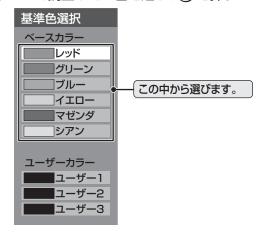
● レッド、グリーン、ブルーなどの色ごとに、色あいや色の濃さ、明るさを調整できます。

❶ 以下の操作で、「カラーパレットプロ調整」の画面にする

① クイックを押し、▲·▼で「映像設定」を選び、決定を押す

② ▲·▼で「カラーイメージコントロールプロ」を選び、決定を押す

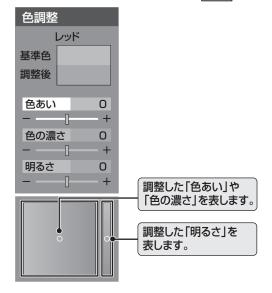
③ ▲·▼で「カラーパレットプロ調整」を選び、決定を押す

❷ ▲·▼で調整したい色を選び、決定を押す

❸ 以下の操作でお好みの色に調整する

① 青を押して静止画にする
(もう一度押すと静止画が解除されます)

● 動画のままでも調整できますが、静止画のほうが調整しやすくなります。

② ▲·▼で「色あい」、「色の濃さ」、「明るさ」のどれかを選んだあと、◀·▶で調整する

※ 元の色(初期状態)に戻すには、赤を押します。

③ 手順②で他の項目を選び、同様に調整する

④ 選んだ色の調整が終わったら、戻るを押す

※ いくつもの色を調整する場合は、手順❷、❸を繰り返します。

❹ 調整が終わったら、終了を押す

● ベースカラーの調整範囲は−30 〜+30です。

● テレビを公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテルなどで、「カラーパレットプロ調整」を利用して、オリジナルの映像と異なる色の画面を表示すると、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害するおそれがありますので、ご注意願います。

色を細かく調整する(カラーイメージコントロールプロ) つづき

カラーパレットプロ調整 つづき

■ ユーザーカラー調整

● 実際にテレビ画面に表示されている色を指定して、その色の色あいや色の濃さ、明るさを調整できます。調整した結果は、指定した色と同じ色すべてに、同じように反映されます。肌色をお好みの色に調整する場合などに便利な機能です。

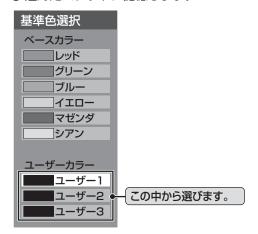
❶ 以下の操作で、「カラーパレットプロ調整」の画面にする

① クイック を押し、▲·▼で「映像設定」を選び、決定 を押す

② ▲·▼で「カラーイメージコントロールプロ」を選び、決定 を押す

③ ▲·▼で「カラーパレットプロ調整」を選び、決定 を押す

❷ ▲·▼で「ユーザー 1」「ユーザー 2」「ユーザー 3」のどれかを選び、決定 を押す

● 選んだパレットに記憶します。

❸ 以下の操作で調整したい色を登録する

① 青 を押して静止画にする
(もう一度押すと静止画が解除されます)

● 動画のままでも調整できますが、静止画のほうが調整しやすくなります。

② ▲·▼で「基準色変更」を選び、決定 を押す

● カーソルが表示されます。

③ ▲·▼·◀·▶でカーソルを調整したい色の上まで移動し、決定 を押す

● 「基準色」に色が登録されます。

❹ 以下の操作で新しく登録したい色に調整する

① 青 を押して静止画にする

② ▲·▼で「色あい」、「色の濃さ」、「明るさ」のどれかを選び、◀·▶で色を調整する

※ 元の色(初期状態)に戻すには、赤 を押します。

③ 手順②で他の項目を選び、同様に調整する

④ 色の調整が終わったら、戻る を押す

❺ 終了 を押して、メニューを消す

■ カラーイメージコントロールプロをお買い上げ時の状態に戻すとき

● すべての色がお買い上げ時の状態に戻ります。

❶ 以下の操作で、「カラーイメージコントロールプロ」の画面にする

① クイック を押し、▲·▼で「映像設定」を選び、決定 を押す

② ▲·▼で「カラーイメージコントロールプロ」を選び、決定 を押す

❷ ▲·▼で「初期設定に戻す」を選び、決定 を押す

❸ 初期設定に戻す場合は、◀·▶で「はい」を選び、決定 を押す

❹ 終了 を押して、メニューを消す

お知らせ

● を押してメニューの「設定」から「映像設定」を選ぶこともできます。

● ユーザーカラーの調整範囲は－30 ～＋30です。

ノイズリダクション(NR)設定

● 映像のノイズやざらつきを減らします。
※ 映像によっては、効果がわかりにくい場合があります。
● 設定した内容は、「映像メニュー」53の「メモリー」に記憶されます。

1 クイックを押し、▲·▼で「映像設定」を選び、決定を押す

2 ▲·▼で「ノイズリダクション設定」を選び、決定を押す

MPEG NR 弱
ダイナミックNR オート
ノイズリダクション設定

3 設定したい項目を▲·▼で選び、決定を押す
● 設定項目については、下表をご覧ください。

4 ▲·▼でお好みの映像に調整し、決定を押す
● 別の項目を設定する場合は、手順 **3**、**4** を繰り返してください。
● 調整が終わったら、終了を押します。

映像の何を調整するか？	設定項目	設定レベル	映像状態
ノイズ量の調整 映像のノイズ量を調整します。	MPEG NR（エムペグ）	「オフ」「弱」「中」「強」	デジタル放送やDVDなどの動きの速い映像の、ブロックノイズ(モザイク状のノイズ)を減らす機能と、モスキートノイズ(輪郭のまわりにつく、ちらつきノイズ)を減らす機能です。 ※強くかけると精細感をそこなう場合があります。
	ダイナミック NR	「オート」「オフ」「弱」「中」「強」	画像のざらつきノイズやちらつきを減らす機能です。 ※強くかけると残像が気になる場合があります。 通常は「オート」に設定してください。

※ 下の「ドット・クロスカラーリダクション」を「オン」に設定すると、「ダイナミックNR」の設定状態は、自動的に「オフ」になります。

ドット・クロスカラーリダクション設定

● 画像のざらつきノイズを減らす設定です。
● 「オン」に設定すると、つぶ状のノイズや虹状のにじみを減らします。
※ 映像によっては残像が気になる場合や、効果がわかりにくい場合があります。
● 「オン」に設定すると、「映像メニュー」53は「メモリー」になります。

1 クイックを押し、▲·▼で「映像設定」を選び、決定を押す

2 ▲·▼で「ドット・クロスカラーリダクション」を選び、決定を押す

3 ▲·▼で「オン」または「オフ」を選び、決定を押す
● 調整が終わったら、終了を押します。

※ 上の「ノイズリダクション設定」で、「ダイナミックNR」を「オフ」以外に設定すると「ドット・クロスカラーリダクション」は自動的に「オフ」になります。
※ 「ドット・クロスカラーリダクション」は、標準画質の番組をハイビジョンに変換して放送している場合と、デジタル標準テレビ放送(SD)に効果が発揮されますが、それ以外の場合には残像が気になることがあります。そのため「オン」の設定は一時的なものとなっており、**選局や電源切(待機) ／入などをすると、自動的に「オフ」となります。**
※ 「ドット・クロスカラーリダクション」は、地上アナログ放送、アナログビデオ信号、750p(720p)の信号の映像には働きません。

お好みや使用状態に合わせて設定する つづき

ヒストグラムバックライト制御

● 「オン」にすると映像の明るさに応じてバックライトの明るさを自動調整し、メリハリのある映像にします。
● 「オン」に設定すると、「映像メニュー」53は「メモリー」になります。

1 クイックを押し、▲·▼で「映像設定」を選び、決定を押す

2 ▲·▼で「ヒストグラムバックライト制御」を選び、決定を押す

3 ▲·▼で「オン」または「オフ」を選び、決定を押す

● 設定が終わったら、終了を押します。

明るさセンサー

● 「オン」に設定すると、周囲の明るさにあわせて、画面の明るさを自動で調整します。
● お買い上げ時は「オン」に設定されています。

1 クイックを押し、▲·▼で「映像設定」を選び、決定を押す

2 ▲·▼で「明るさセンサー」を選び、決定を押す

3 ▲·▼で「オン」または「オフ」を選び、決定を押す

● 設定が終わったら、終了を押します。

ファインシネマ設定

● 映画ソフトのもつスムーズな映像の動きと画質を再現します。

1 クイックを押し、▲·▼で「映像設定」を選び、決定を押す

2 ▲·▼で「ファインシネマ」を選び、決定を押す

3 ▲·▼で「オフ」または「オート」を選び、決定を押す

- **オフ**········特別な処理をせずにそのまま映します。
- **オート**······映画ソフトなどの1秒間に24コマの映像をテレビ用の30コマに変換した映像のときに、自動的に本来の映画ソフトのもつスムーズな映像の動きと画質を再現します。

● 設定が終わったら、終了を押します。

画面振幅位置調整

● 周囲の映像が隠れたり、画面に字幕がはいりきらないとき調整することができます。

1 クイックを押し、▲·▼で「映像設定」を選び、決定を押す

2 ▲·▼で「画面振幅位置調整」を選び、決定を押す

3 ▲·▼で「上下振幅調整」、「上下画面位置」または「左右振幅調整」を選び、決定を押す

- **上下振幅調整**····映像の縦のサイズを調整します。
- **上下画面位置**····映像の表示位置を上下に調整します。
- **左右振幅調整**····映像の横のサイズを調整します。

※ 画面サイズのモードによっては、調整できない場合があります。

4 ◀·▶でお好みの状態に調整し、決定を押す

● 上下振幅や左右振幅、映像の表示位置は、−03 ～＋03の範囲で調整できます。
● 調整画面では◀·▶を押さないと数秒でメニュー画面に戻ります。
● 調整が終わったら、終了を押します。

● メニューを押してメニューの「設定」から「映像設定」を選ぶこともできます。

■ 明るさセンサーについて
● 明るさセンサーの近くに物を置いたり、ふさいだりしないでください。明るさセンサーが正しく動作しなくなることがあります。
明るさセンサーの位置は4をご覧ください

■ ファインシネマ設定について
● 「ファインシネマ」を「オート」に設定した場合に、映像に違和感があるときは「オフ」に設定してください。
● 「ファインシネマ」は、525p(480p)、750p(720p)の信号の映像には働きません。

ステレオ/モノラルの設定

● 電波の弱いステレオ放送のときに、雑音が出ることがあります。その場合、「モノラル」に設定すれば聴きやすくなることがあります。

1 クイックを押し、▲･▼で「音声設定」を選び、決定を押す

2 ▲･▼で「ステレオ／モノラル」を選び、決定を押す

3 ▲･▼で「ステレオ」または「モノラル」を選び、決定を押す
● 設定が終わったら、終了を押します。

■「モノラル」に設定していてステレオ放送を受信したとき
● 音声はモノラルになります。
● チャンネル切換時には、「ステレオ」と表示されます。
● 画面表示を押したときは、「モノラル選択中」と表示されます。

お好みの音声に調整する

1 クイックを押し、▲･▼で「音声設定」を選び、決定を押す

2 ▲･▼で「音声調整」を選び、決定を押す

3 調整する項目を▲･▼で選び、決定を押す
● 調整項目の内容は下表のとおりです。

4 ◀･▶でお好みの音声に調整し、決定を押す
● 各項目の調整画面では、◀･▶を押さないと数秒で音声調整画面に戻ります。
● ▲･▼を押すと手順 **3** に戻ります。
● いくつもの項目を調整する場合は手順 **3**、**4** を繰り返してください。
● 調整が終わったら、終了を押します。

調整項目	◀･▶を押したとき
バランス	－50　～　＋50 左の音が強調される　右の音が強調される
高音	－50　～　＋50 高音が軽減される　高音が強調される
低音	－50　～　＋50 低音が軽減される　低音が強調される

WOW設定

● SRS WOWを使用すると、テレビの音声をより豊かな音場で楽しめます。SRS WOWは以下の三つの技術を融合した音質改善技術です。これら三つの機能を同時に使用したときに、SRS WOWとしての効果が十分に発揮されます。

1 クイックを押し、▲･▼で「音声設定」を選び、決定を押す

2 ▲･▼で「WOW」を選び、決定を押す

3 設定する項目を▲･▼で選び、決定を押す
● 設定項目の内容は下表のとおりです。

4 希望の設定を▲･▼で選び、決定を押す
● いくつもの項目を設定するときは手順 **3**、**4** を繰り返してください。
● 設定が終わったら、終了を押します。

調整項目		▲･▼を押したとき
WOW	SRS 3D	ステレオ音声を自然な広がり感を持ったサラウンドで再生する機能です。 オン ⟷ オフ
	FOCUS	ドラマのセリフや楽器の音の輪郭を明りょうにして聞きやすくする機能です。 オン ⟷ オフ
	TruBass	豊かな低音を再生する機能です。 （2段階で強調の設定ができます） オフ ⟷ 弱 ⟷ 強

● WOW、SRSと(●)記号はSRS Labs, Inc.の商標です。
● WOWはSRS Labs, Inc.からのライセンスに基づき製品化されています。

● メニューを押してメニューの「設定」から「音声設定」を選ぶこともできます。
■ ステレオ／モノラルの設定について
● ステレオ／モノラルの設定は、地上アナログ放送視聴時とアンテナ端子からのCATV放送視聴時にだけできます。
■ 音声調整について
● D4映像端子とHDMI端子の入力信号を視聴するときの音声（高音と低音）は、他の入力信号や放送を視聴するときとは別に調整できます。
■ WOW設定について
● 音声によっては、WOWの設定を変えても効果が分かりにくい場合があります。
● SRS 3Dは、音声多重放送を視聴しているときには働きません。

お好みや使用状態に合わせて設定する つづき

省エネ設定

1 (メニュー)を押し、▲·▼で「設定」を選び、(決定)を押す

2 ▲·▼で「機能設定」を選び、(決定)を押す

3 ▲·▼で「省エネ設定」を選び、(決定)を押す

4 設定する項目を▲·▼で選び、(決定)を押す
- 各設定項目の内容は下表のとおりです。

5 希望の設定を▲·▼で選び、(決定)を押す
- いくつもの項目を設定する場合は、手順 **3**、**4** を繰り返してください。
- 設定が終わったら、(終了)を押します。

消費電力	標準
番組情報取得設定	取得する
無操作自動電源オフ	動作しない
オンエアー無信号オフ	待機にする
外部入力無信号オフ	待機にする

省エネ設定

設定項目	設定と内容
消費電力	・**標準** ……標準の明るさです。 ・**減1** ……画面の明るさをおさえて、消費電力を低減します。 ・**減2** ……明るさと消費電力を「減1」よりさらにおさえたモードです。
番組情報取得設定	・**取得する** ………電源が「待機」状態(リモコンの電源ボタンで電源を切った状態)のときにデジタル放送の番組情報を取得します。取得時に電力を消費します。 ・**取得しない** ……番組情報を取得しません。そのため、番組表の内容が表示されない場合があります。
無操作自動電源オフ	・**待機にする** ……テレビの無操作状態が約3時間続くと、電源が切れ待機状態になります。 ・**動作しない** ……テレビの無操作状態が続いても電源が切れません。
オンエアー無信号オフ	・**待機にする** ……放送受信時に、無信号状態が約15分間続くと、電源を切り待機状態にします。 ・**動作しない** ……無信号状態が続いても電源が切れません。 ※ビデオ入力(外部入力)を選んでいるときは機能しません。
外部入力無信号オフ	・**待機にする** ……外部入力選択時やi.LINK機器操作モードのときに、無信号状態が約15分間続くと、電源が切れ待機状態になります。 ・**動作しない** ……無信号状態が続いても電源が切れません。

その他

B-CASカード番号表示

- B-CASカードに登録されている番号をテレビ画面で確認することができます。

1 (メニュー)を押し、▲·▼で「設定」を選び(決定)を押す

2 ▲·▼で「機能設定」を選び、(決定)を押す

3 ▲·▼で「B-CASカード番号表示」を選び、(決定)を押す
- テレビ画面にB-CASカードの情報が表示されます。
- 内容を確認したら、(終了)を押します。

ダウンロードについて

ダウンロード機能とは

- 本機のソフトウェアを書き換える機能です。機能の追加や改善をします。
- ダウンロードには、下表の三つの場合があります。

BSや地上Dの放送波で送られる自動ダウンロード用ソフトウェアをダウンロードする	あらかじめ設定しておくことによって、自動ダウンロード用のソフトウェアが送られてきたときに、本機が自動的にダウンロードします。
BSや地上Dの放送波で送られる任意ダウンロード用ソフトウェアをダウンロードする	任意ダウンロードについての情報があるときは「本機に関するお知らせ」27でお知らせします。 ダウンロードをする場合は、下の操作でダウンロード予約をしてください。
東芝サーバーからソフトウェアをダウンロードする（次ページ）	イーサネット通信（LAN端子の接続）によって、東芝サーバーからソフトウェアのダウンロードをします。

ダウンロード中は、電源プラグを抜いたり、本体の電源ボタンで電源を切ったりしないでください。
ソフトウェアの書込みが中断され、本機が正常に動作しなくなる場合があります。

放送波で送信されるソフトウェアをダウンロードする

- ダウンロードをするには、あらかじめ、電源「入」の状態でBSまたは地上デジタル放送を数分間受信する必要があります。（本機がダウンロード情報を取得するためです）
- ダウンロードは電源が「待機」のときにだけ行われます。

自動ダウンロードの設定をする

- お買い上げ時は自動ダウンロードするように設定されています。
- 「ダウンロードしない」に設定した場合は、自動ダウンロードサービスが行われていることを「本機に関するお知らせ」27でお知らせします。

1 メニューを押し、▲・▼で「設定」を選び決定を押し、▲・▼で「機能設定」を選び、決定を押す

2 ▲・▼で「ソフトウェアのダウンロード」を選び、決定を押す

3 ▲・▼で「放送からのダウンロード」を選び、決定を押す

4 ▲・▼で「自動ダウンロード」を選び、決定を押す

5 ▲・▼で「ダウンロードする」または「ダウンロードしない」を選び、決定を押す

- 青を押して自動ダウンロードの日時一覧を確認することができます。
- 設定が終わったら、終了を押します。

任意ダウンロードをするには

- 任意ダウンロードの情報があるときには「本機に関するお知らせ」27でお知らせします。
  ダウンロードする場合は、以下の操作でダウンロードの予約をしてください。

1 左の手順 1 ～ 3 をする

2 ▲・▼で「ダウンロードの予約」を選び、決定を押す

3 画面の説明を読み、ダウンロード予約する場合は、◀・▶で「はい」を選び、決定を押す

4 ▲・▼で予約日時を選び、決定を押す

5 画面のメッセージを読み、決定を押す

- 予約できるダウンロードは一つです。
- 終わったら、終了を押します。
- **予約の開始時刻の前までにリモコンの電源ボタンを押して電源を「待機」にしておいてください。**

- 任意ダウンロード用のソフトウェアは、お客様が任意で採用するものであり、自動ダウンロード用のソフトウェアとは異なります。
- ダウンロードによって、一部の設定内容がお買い上げ時の状態に戻ったり、予約やお知らせが削除されたりする場合があります。
- 任意ダウンロードの開始時刻に本機からの録画をしていると、ダウンロード予約は取り消されます。
- 悪天候の場合や録画予約との重複などによってダウンロードが取り消された場合、「本機に関するお知らせ」27でお知らせします。

ダウンロードについて つづき

放送波で送信されるソフトウェアをダウンロードする つづき

任意ダウンロードをするには つづき

■ 任意ダウンロード予約の日時を変更するには

❶前ページの「任意ダウンロードをするには」の手順 1 ～ 3 の操作で、予約日時一覧の画面にする
❷変更後の日時を▲･▼で選び、(決定)を押す
❸◀･▶で「はい」を選び、(決定)を押す
❹画面のメッセージを読み、(決定)を押す
- 終わったら、(終了)を押します。
- 予約開始時刻の前までに、リモコンの(電源)を押して電源を「待機」にしておいてください。

■ 任意ダウンロード予約を取り消すには

❶前ページの「任意ダウンロードをするには」の手順 1 ～ 3 の操作で、予約日時一覧の画面にする
❷予約済みのダウンロード日時を▲･▼で選び、(決定)を押す
❸画面のメッセージを読み、◀･▶で「はい」を選び、(決定)を押す
- 終わったら、(終了)を押します。

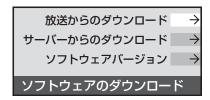
東芝サーバーからダウンロードする

- イーサネット通信を利用して東芝サーバーに接続し、ソフトウェアをダウンロードします。
- あらかじめ、LAN端子の接続と設定が必要です。（準備編 27、72）

ダウンロードの自動確認を設定する

- 「ダウンロードの自動確認」を「確認する」に設定しておくと、東芝サーバーからのダウンロードの情報があるときには「本機に関するお知らせ」27でお知らせします。

1 (メニュー)を押し、▲･▼で「設定」を選び(決定)を押し、▲･▼で「機能設定」を選び、(決定)を押す

2 ▲･▼で「ソフトウェアのダウンロード」を選び、(決定)を押す

3 ▲･▼で「サーバーからのダウンロード」を選び、(決定)を押す

4 ▲･▼で「ダウンロードの自動確認」を選び、(決定)を押す

5 ▲･▼で「確認する」または「確認しない」を選び、(決定)を押す
- 終わったら、(終了)を押します。

ダウンロードをする

- 東芝サーバーからソフトウェアをダウンロードして、本機内部のソフトウェアを更新します。

1 左下の手順 1～3 をする

2 ▲･▼で「ダウンロード開始」を選び、(決定)を押す

3 ◀･▶で「はい」を選び、(決定)を押す
- ソフトウェアのダウンロードが始まります。

4 画面の説明文を読んだあと◀･▶で「はい」を選び、(決定)を押す
- ソフトウェアの更新をしない場合は「いいえ」を選びます。

5 画面の指示に従って、操作する
- ソフトウェアの更新にはしばらく時間がかかる場合があります。
- ソフトウェアの更新が終了したあとで(決定)を押すと、電源が「待機」になってから再び「入」になり、通常の視聴ができるようになります。

ソフトウェアのバージョンを確認する

1 左の手順 1、2 をする

2 ▲･▼で「ソフトウェアバージョン」を選び、(決定)を押す

3 ソフトウェアのバージョンを確認して、(決定)を押す
- 確認したら、(終了)を押します。

- 回線の速度が遅い場合には、正しくダウンロードできないことがあります。このとき、「通信エラー」が表示されます。サーバーが一時的に停止していることもありますので、LAN端子の接続や設定（準備編 27、72）を確認し、数時間後にもう一度ダウンロードしてみてください。

困ったときには...

以下をご確認ください

自然現象や本機の特性に関すること

BS・110度CSデジタル放送での一時的な映像障害

- アンテナへの積雪や豪雨などで電波が弱くなったときには、映像にノイズが多くなったり、映らなくなったりすることがあります。
- 春分、秋分、日食など、太陽と衛星の方向が一致する食のときには、放送が休止になります。

キャビネットからの「ピシッ」というきしみ音

- 「ピシッ」というきしみ音は、部屋の温度変化でキャビネットが伸縮するときに発生する音です。画面や音声などに異常がなければ心配ありません。

本機内部からの「カチッ」という音

- 本機は、電源が「待機」のときに番組情報取得などの動作をします。このときに、本機内部から「カチッ」という音が聞こえることがあります。

本機内部からの「ジー」という音

- 本機から「ジー」という液晶パネルの駆動音が聞こえる場合がありますが、故障ではありません。

蛍光管について

- お買い上げ時、蛍光管の特性上、画面にちらつきが出ることがあります。この場合、本体の電源をいったん「切」にして、もう一度電源を入れ直して確認してください。

警告

■ 修理・改造・分解はしない

内部には電圧の高い部分があり、感電・火災の原因となります。
内部の点検・調整および修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

- 電源プラグがはずれたり、アンテナなどに異常があると本機の故障と間違えることがあります。
  修理を依頼される前に以下のことをお調べください。

基本操作

このようなとき	確認事項	対処のしかた・その他
電源がはいらない	• 待機表示ランプ(赤)は点灯していますか。	• 待機表示ランプ(赤)が点灯していない場合は、電源プラグがコンセントに正しく差し込まれているかご確認ください。 本体の電源ボタンを押して電源を入れてください。4
	• 待機表示ランプ(赤)が点滅していますか。	• 電源プラグをコンセントから抜き、一分以上たってからもう一度コンセントに差し込んでも待機表示ランプ(赤)が点滅しているときは故障です。 本体の電源ボタンで電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げ店にご相談ください。
リモコンが動作しない	• 待機表示ランプ(赤)は点灯していますか。	• 待機表示ランプ(赤)が点灯していないときは、本体の電源ボタンを確実に押して電源を入れてください。4
	• リモコンを本機のリモコン受光部に向けて操作していますか。	• リモコンをリモコン受光部に向けてください。(準備編 20)
	• リモコンの乾電池が消耗していませんか。	• 新しい乾電池に交換してみてください。(準備編 20)
	• リモコンの乾電池の極性(+、−)が逆向きにはいっていませんか。	• 極性(+、−)を正しく入れてください。(準備編 20)
すべての操作ボタンが動作しない	• 電源プラグがコンセントに正しく差し込まれていますか。 ※ソフトウェアのダウンロード 61 をしている場合は、終了するまで操作ボタン(本体、リモコンの 電源 以外のボタン)は動作しません。**ソフトウェアのダウンロード中は、絶対に電源プラグを抜いたり、本体の電源ボタンで電源を切ったりしないでください。**ソフトウェアの書き込みが中止され、正常に動作しなくなることがあります。	• 本体の電源ボタンを押して電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。約10秒後に電源プラグをコンセントに差し込み、本体の電源ボタンを押して電源を入れてください。(リセット)
地上アナログ放送の番組表が表示されない	• 正しい接続・設定をしていますか。	• 15 冒頭の説明をご覧ください。

困ったときには… つづき

映像

このようなとき	確認事項	対処のしかた・その他
放送の映像が出ない	• アンテナ線がはずれていませんか。	• アンテナ線を正しく接続してください。（準備編 23）
	• アンテナ、アンテナ線が破損、または断線していませんか。	• アンテナ、アンテナ線をご確認ください。
	• アンテナは正しい方向に向いていますか。	• アンテナを正しい方向に向けてください。
映像や番組表が表示されるまでに時間がかかる	• 本体の電源ボタンで電源「入」にしましたか。	• 本体の電源ボタンで電源「入」にしたときは時間がかかります。（リモコンで電源「入」にしたときよりも時間がかかります）
	• 別の放送メディアのチャンネルを選局しましたか。	• 別の放送メディアのチャンネルを選局した場合は映像が表示されるまでやや時間がかかります。
接続した機器の映像が出ない	• 接続コードが正しく接続されていますか。	• 接続した映像コードの入力、出力が合っているか確認してください。
	• 入力切換は合っていますか。	• 本体またはリモコンの 入力切換 で外部機器を接続した入力端子を選んでください。
色がつかない、色がおかしい、画面が暗い	• ご希望の映像メニューや映像調整になっていますか。	• 映像メニューをご確認ください。53 映像メニューを選択してもご希望の映像にならない場合は「映像調整」54 でご希望の映像に設定します。
映像が二重、三重になる（ゴースト）	• 山やビルなどからの反射電波が考えられます。アンテナの位置、高さ、向きは合っていますか。	• 「GR設定」（準備編 68）をしてみてください。 • アンテナの位置、高さ、向きを変えてみてください。（お買い上げの販売店にご相談ください）
雪や雨が降ったような画面になる	• アンテナの向きがずれていませんか。 • アンテナ線がはずれたり、切れたりしていませんか。	• アンテナの向き、アンテナ線の接続（準備編 23）に問題がない場合は、チャンネル設定が正しいか確認してください。（準備編 63）
画面にはん点が出る	• 平行フィーダー線（準備編 23 お知らせ）をお使いではありませんか。	• 自動車、オートバイ、電車、高圧線、ネオンサイン、クリーナー、ヘアードライヤーなどからの妨害が原因と考えられます。アンテナ線の位置を原因妨害源（道路など）から離れた位置に移動することをお勧めします。 • 平行フィーダー線から電波妨害に強い同軸ケーブルに変えてみることをお勧めします。 ※上記の対処で直らない場合は、お買い上げ店などにご相談ください。
画面にしま模様が出る	• 平行フィーダー線（準備編 23 お知らせ）をお使いではありませんか。	• 近くのテレビやパソコン、テレビゲーム、ビデオ、オーディオ機器、DVD 機器、携帯電話などや無線局などからの電波の混信が考えられます。 • アンテナ線は他の機器の電源コードや接続ケーブルからできるだけ離してみてください。 ※上記の対処で直らない場合は、お買い上げ店などにご相談ください。

音声

このようなとき	確認事項	対処のしかた・その他
音声が出ない	• 音量が最小になっていませんか。	• ＋音量－ で音量を上げてみてください。4
	• 画面に「 消音 」マークが表示されていませんか。	• 消音 を押すと消音を解除できます。4 （＋音量－ を押しても解除されます）4

デジタル放送関係

デジタル放送全般

このようなとき	確認事項	対処のしかた・その他
デジタル放送だけが映らない	• B-CASカードが正しく挿入されていますか。（カードの上下や裏表は正しいですか）	• B-CASカードを挿入しないと、放送や「放送局からのお知らせ」の受信ができません。B-CASカードを正しい方向で入れてください。（準備編 22）
	• アンテナをさえぎる障害物はありませんか。 • アンテナ線がはずれていませんか。 • アンテナの向きがずれていませんか。	• BS・110度CSアンテナの方向を確認・調整してください。（準備編 31） • 地上デジタル放送に対応したアンテナ線が正しく接続されているかをご確認ください。
	• BS、110度CS放送の場合、アンテナ電源供給が「供給しない」になっていませんか。	• マンションなどの共聴アンテナ以外ではアンテナ電源供給を「供給する」にします。（準備編 31）
映像や音声が(ときどき)出たり、出なかったりする 映像の動きが(ときどき)停止する	• 電波の種類（BS、110度CS、地上デジタル）に適合したアンテナを使用していますか。 • 衛星デジタル放送の場合、地域に適したサイズ（口径）のアンテナを使用していますか。	• 放送に適合したアンテナをご使用ください。
	• アンテナをさえぎる障害物はありませんか。 • アンテナ線がはずれていませんか。 • アンテナの向きがずれていませんか。	• BS・110度CSアンテナの方向を確認・調整してください。（準備編 31） • 地上デジタル放送に対応したアンテナ線が正しく接続されているかをご確認ください。
	• 積雪や豪雨、雷などが発生していませんか。	• 天候が回復すればもとの状態に戻ります。
有料放送が視聴できない	• B-CASカードは正しく入れてありますか。	• B-CASカードを正しい向きに入れてください。（準備編 22）
	• 有料放送を視聴するための手続きはお済みですか。	• 付属のファーストステップガイド（有料放送加入申込書）で視聴手続きをしてください。
	• 電話回線の接続や設定は正しいですか。	• 電話回線の接続や設定が正しいかご確認ください。（準備編 26、70）
引っ越しをしたら、データ放送や文字スーパー表示が表示されなくなった	• データ放送用の地域設定は正しいですか。	• 新住所に合わせて「郵便番号と地域の設定」をしてください。（準備編 69）

映像／音声

このようなとき	確認事項	対処のしかた・その他
特定のチャンネルの映像や音声が出ない	• アンテナとの接続にデジタル放送に非対応のケーブルや機器などを使用していませんか。	• 携帯電話など本機の受信周波数帯域に相当する周波数を使用している機器の影響によって、映像や音声が出なくなる場合があります。 • デジタル放送に対応したケーブルや機器などをご使用ください。（準備編 23、25 の「お知らせ」を参照）
不自然なブロックノイズ（モザイク状のノイズ）が見えるときがある	• 積雪や豪雨、雷などが発生していませんか。 • 特に動きの激しい画面でブロックノイズが見えますか。	• デジタル放送受信の特性上、発生することがあります。 以下の場合は故障ではありません。 • 降雨対応放送の映像の場合 • 悪天候などで、受信状態が悪化した場合 • 画面の激しい変化に映像処理が対応できない場合

困ったときには... つづき

デジタル放送関係 つづき

■ お知らせ

このようなとき	確認事項	対処のしかた・その他
「お知らせ」アイコンが消えない	•「お知らせ」の内容を確認しましたか。	• メニューの「お知らせ」画面から「放送局からのお知らせ」「本機に関するお知らせ」の内容を表示させると消えます。27☞
未読の「お知らせ」がなくなっている ・放送局からのお知らせ ・本機に関するお知らせ ・ボード	•「設定の初期化」をしませんでしたか。	•「設定の初期化」をすると「お知らせ」は削除されます。（準備編 91☞）
	•「お知らせ」は最大件数を超えていませんか。	•「放送局からのお知らせ」「本機に関するお知らせ」については、最大数を超えて受信した場合は未読でも自動的に削除されることがあります。詳しくは 27☞ の「お知らせ」をご覧ください。
	•「ボード」については、そのとき受信したものしか表示されません。	――――
「放送局からのお知らせ」が受信できない	• B-CASカードは正しく入れてありますか。	• B-CASカードを正しい向きに入れないと「お知らせ」は受信できません。（準備編 22☞）

■ 地上デジタル放送の受信や予約など

このようなとき	確認事項	対処のしかた・その他
地上デジタル放送がまったく受信できない ※以下も含みます • 地上デジタル放送の番組表などが表示されない • 本体の放送切換ボタンを押しても地上デジタル放送に切り換わらない	• B-CASカードは正しく入れてありますか。	• B-CASカードを正しい向きに入れてください。（準備編 22☞）
	• 地上デジタル放送用アンテナは正しく接続されていますか。	• 地上デジタル用アンテナの接続をご確認ください。（準備編 23☞、24☞）
	• アンテナの方向は正しいですか。	• 地上デジタル用アンテナを地上デジタルの放送局側に向けてください。 • アンテナレベルの数値を確認しながら、アンテナの方向調整をしてみてください。（準備編 30☞）
	•「初期スキャン」をしましたか。	• 初期スキャンをしてください。（準備編 61☞） • 受信できたチャンネルについては「番組表」で確認できます。15☞
	• お住まいの地域は地上デジタル放送の受信可能エリアですか。	• 地上デジタル放送が行われているかをもよりの放送局にお問い合わせください。 以下のホームページのリンク先で確認することもできます。 http://www.toshiba.co.jp/product/tv/naruhodo/
	• 共聴システムをご使用の場合、共聴システムは地上デジタルに対応（パススルー方式）になっていますか。	• CATVの場合はご契約のCATV会社に、その他の場合は共聴システムの管理者にお問い合わせください。（CATVがパススルー方式でない場合はCATV用チューナーが必要な場合があります）
引越しをしたら、地上デジタル放送が受信できなくなった	• 引越し後、地上デジタル放送の「初期スキャン」または「再スキャン」を実施しましたか。	• 県外に引越しをした場合は、「初期スキャン」（準備編 61☞）をしてください。 • 県内で引越しをした場合は、「再スキャン」（準備編 62☞）をしてください。 •「初期スキャン」または「再スキャン」をしても受信できない場合は、上の「地上デジタル放送がまったく受信できない」の内容もご確認ください。
一部の地上デジタル放送が受信できない	• 放送は行われていますか。	• 地上デジタル放送が行われているかをもよりの放送局にお問い合わせください。
複数台のテレビで、地上ダイレクト選局ボタンのチャンネルが異なっている 複数台のテレビで、枝番 9☞ が異なっている	• 初期スキャンなどを異なる時間にしませんでしたか。	• どちらも東芝製テレビの場合は、同時に「初期スキャン」（準備編 61☞）をしてください。 • 異なるメーカーのテレビの場合は、枝番が同じにならないことがあります。

■ 地上デジタル放送の受信や予約など つづき

このようなとき	確認事項	対処のしかた・その他
地上Dアンテナレベル画面では受信できるチャンネルがそれ以外のときには受信できない	地上Dアンテナレベル 伝送チャンネル ◀UHF27▶ 関東広域0 46 （最大 48） ここに地域名が表示されていますか。	• 表示されている場合は、再スキャンをしてください。（準備編 62☞） • 表示されていない場合は、検査放送なので通常の選局では受信できません。
受信できなくなった放送局が番組表表示などから消えない	―	• 初期スキャンをしてください。（準備編 61☞）
地上ダイレクト選局ボタンに設定してあった放送局が別の放送局に変わっている ※以下も含みます ・以前選局できた放送がなくなっている	•「本機に関するお知らせ」の中に「放送局からの変更がありました。」などのお知らせがありますか。	• 放送の運用規定などに基づいて、設定内容が変更される場合があります。 「本機に関するお知らせ」の内容をご確認ください。 27☞
[チャンネル]での選局時に同じ3ケタのチャンネル番号が複数表示される	• 枝番 9☞ で区別されているチャンネルではありませんか。	•「番組説明」20☞ で枝番の有無をご確認ください。枝番があれば正常な動作です。
地上デジタル放送で、リモコンボタンに手動設定したチャンネルが消えている	•「初期スキャン」（準備編 61☞）をしませんでしたか。 •「再スキャン」（準備編 62☞）で「すべて設定し直す」を選択しませんでしたか。	• 必要に応じて再度「手動設定」をしてください。（準備編 64☞）
番組表を表示させても番組名などが表示されない場合や、実際の内容と合っていない場合が多い	―	• 番組情報を取得してください。情報取得には時間がかかる場合があります。18☞ • 番組データ全体を取得するには、毎日2時間以上本機の電源を「待機」にしてください。（準備編 14☞）
録画予約で、予約した番組が放送時間を繰り上げて放送されたが、「放送時間」を「連動する」に設定していたのに、連動して録画されなかった	―	• 本機は放送時間の繰り上げには、対応していません。

■ 通信・双方向サービス・通信設定など

このようなとき	確認事項	対処のしかた・その他
イーサネット通信ができない(LAN端子を使った双方向サービスができない)	• LAN端子は正しく接続されていますか。	• 接続をご確認ください。（準備編 27☞）
	•「LAN端子設定」は正しく行われていますか。	• 正しい「LAN端子設定」をしてください。（準備編 72☞～73☞） • 最後に「接続テスト」で、正しく通信できているかご確認ください。（準備編 73☞）
ダイヤルアップ通信ができない	• 電話回線は正しく接続されていますか。	•「通信環境設定」を「イーサネット優先」に設定してください。（準備編 72☞）
通信速度が遅い、不安定	• 接続ケーブルが長すぎませんか。	• ケーブルが長すぎると通信速度が遅くなる場合があります。短い接続ケーブルに換えてみてください。
	• 回線が混んでいるためではありませんか。	• イーサネット通信の場合、通信環境によるもの（ADSLの場合、局から遠いなど）ではありませんか。 • 接続機器の使用状況によっては、通信速度が遅くなる場合があります。（データ量が多い場合など） • 時間をおいてから通信をしてみてください。 ※通信速度については、インターネット接続業者にご相談ください。
通信が勝手に切れてしまう	• 通信切断前の確認画面表示を「表示しない」に設定していませんか。	•「接続確認メッセージ設定」を「表示する」に変更すると、通信切断前に確認画面を表示させることができます。（準備編 75☞）

困ったときには… つづき

録画・再生

ビデオの場合

このようなとき	確認事項	対処のしかた・その他
ビデオコントロールケーブルを使ってデジタル放送の予約録画ができない	• ビデオの入力切換を正しく設定しましたか。	• ビデオの入力切換は本機のデジタル放送録画端子からのケーブルが接続された入力にしてください。
	• ビデオの電源を「切(待機)」にしていましたか。	• 予約した録画が開始される時点でビデオの電源は「切(待機)」にしておいてください。
	• ビデオコントロールケーブルの接続と設定が正しく行われていますか。	• ビデオコントロールケーブルの接続と設定を正しくしてください。(準備編 41)
	• 「ビデオ録画方式設定」が正しく行われていますか。	• 「ビデオ録画方式設定」を正しく設定してください。(準備編 42) • ビデオやDVDレコーダーによっては電源がはいってから録画が開始されるまで、しばらく時間がかかる場合があります。 ※以下の場合は録画できません。 • ビデオ側で録画予約をしていて、録画タイマー待機中または録画中の場合。 • ビデオテープの録画防止用のツメが折れている場合。

東芝RDシリーズ(東芝製ビデオレコーダー)の場合

このようなとき	確認事項	対処のしかた・その他
本機と東芝RDシリーズで、「テレビdeナビ予約」ができない	• 本機と東芝RDシリーズの接続、設定をしましたか。	• 「東芝RDシリーズ(東芝製ビデオレコーダー)をつなぐ」に従って、接続、設定をしてください。(準備編 44～47)
設定した録画開始時刻に録画が始まらない	• 東芝RDシリーズの時刻は正しく設定されていますか。	• 時刻設定が違っている場合は、東芝RDシリーズの取扱説明書を参照して正しい時刻に修正してください。
「東芝RDアナログでの予約」で録画中に録画を中止したが、本機でチャンネルを切り換えることができない	• 東芝RDシリーズ側で録画を中止しただけではありませんか。(本機側で録画中止しましたか)	• 本機のリモコンの[終了]を2回押して本機側を録画中止にしてください。 (東芝RDシリーズ側で録画を中止した場合は、本機でも録画中止の操作をしないとチャンネルが切り換えられません)
「東芝RDアナログでの予約」で録画中に録画を中止したが、東芝RDシリーズの録画が中止されない	• 本機側で録画を中止しただけではありませんか。(東芝RDシリーズ側で録画中止しましたか)	• 東芝RDシリーズ本体の「停止」ボタンを2回押して録画中止にしてください。 (本機側で録画を中止した場合は、東芝RDシリーズ側でも録画中止の操作をしてください)

LAN HDDの場合

このようなとき	確認事項	対処のしかた・その他
HDD専用LAN端子に接続したLAN HDDが「LAN機器選択」画面に表示されない	• LAN HDDを接続した直後ではありませんか。	• LAN HDDを本機に接続してから自動登録されるまで10分ほどかかります。登録されるまでお待ちください。
	• 「登録モード設定」を「自動」に設定していますか。(準備編 78)	• 通常は「自動」に設定して使用してください。「登録モード設定」を「手動」に設定した場合は、手動で登録してください。(準備編 77)
	• LAN HDDが正しく接続・設定されていますか。	• 正しく接続・設定してください。(準備編 52、77～78) • IPアドレスの設定で、本機側を自動取得、LAN HDD側を手動・設定にしているなどの矛盾はありませんか。
汎用LAN端子に接続したLANHDDが「LAN機器選択」画面に表示されない	• LAN HDDが正しく接続・設定されていますか。	• 正しく接続設定してください。(準備編 52、77～78) [汎用LAN端子に接続したLAN HDDは自動登録されませんので、上記ページの操作で登録してください。]
	• IPアドレスが「192.168.XXX.XXX」になっていますか。(XXXは数字。「168」の部分は異なっている場合があります)	• ほかのIPアドレスに設定されたものは、本機に接続できません。(準備編 54)

LAN HDDの場合　つづき

このようなとき	確認事項	対処のしかた・その他
録画先に指定したLAN HDDに正しく録画できない	• 録画先に指定したLAN HDDが「LAN機器選択」画面 41 に表示されていますか。	• 表示されない場合は、前のページの「HDD専用LAN端子に接続したLAN HDDが「LAN機器選択」画面に表示されない」と、「汎用LAN端子に接続したLAN HDDが「LAN機器選択」画面に表示されない」の内容をご確認ください。
	• メインシステムフォルダを保存したLAN HDDの電源がはいっていますか。	• 複数のLAN HDDをつないでいる場合は、メインシステムフォルダを保存したLAN HDDの電源も入れてください。
	• 録画先に指定したLAN HDDに十分な残量がありますか。	• 残量が少ない場合は、不要な番組を消すか、または残量のある録画先を指定してください。
LAN HDDに記録されているファイル（録画番組や写真）が再生できない	• LAN HDDの電源がはいっていますか。	※以下をすると再生できるようになる場合があります。 • LAN HDDの電源を入れ直して、10分間待つ。 • 複数のLAN HDD（パソコンを含む）をつないでいる場合は、システム情報の一括更新をする。（準備編 79 の手順**1**、**2**、**6**）

DLNA認定サーバー関係（再生のみ）

このようなとき	確認事項	対処のしかた・その他
DLNA認定サーバーが「LAN機器選択」画面に表示されない	• DLNA認定サーバーは正しく接続されていますか。	• 準備編 54 を参照して、正しく接続してください。（必ずルーターを通して接続してください。）
	• 本機のLAN端子およびDLNA認定サーバーはIPアドレスを自動取得する設定になっていますか。	• 「通信接続設定」（準備編 72 ）の「LAN端子設定」で、「IPアドレス自動取得」を「する」に設定してください。 • DLNA認定サーバーについてはDLNA認定サーバーの説明書に従って設定してください。
	• I P アドレスが192 .168. XXX .XXX 、172.16.XXX.XXX ～ 172.31.XXX.XXXまたは10.XXX.XXX.XXXになっていますか。	• 準備編 72 の手順でIPアドレスを確認してください。ほかのIPアドレスに設定されたものは、本機に接続できません。
	• ルーターのIPアドレスは192.168.XXX.XXX、172.16.XXX.XXX ～ 172.31.XXX.XXまたは10.XXX.XXX.XXX範囲で割り当てる設定になっていますか。	• ルーターの説明書に従って、左記のIP アドレスがDLNA認定サーバーと本機に割り当てられるように設定してください。
	• 複数のDLNA認定サーバーを接続していますか。	• 2台目以降のDLNA認定サーバーが「LAN機器選択」画面に表示されるまで15分程度かかることがあります。 • 「LAN機器選択」画面を終了して、もう一度「LAN機器選択」画面を表示すると、機器が表示される場合があります。
録画リストが表示されない	• DLNA認定サーバーによっては、アクセス後一定時間経過しないと録画リストを表示できないことがあります。	• しばらくお待ちください。
	• DLNA認定サーバーのアクセス制限は正しく設定されていますか。	• DLNA認定サーバーによってはMACアドレスによるアクセス制限をしている場合があります。DLNA認定サーバーの説明書に従って正しく設定してください。 ※本機のMACアドレスは、「通信接続設定」（準備編 72 ～ 74 ）の「LAN端子設定」で確認することができます。
DLNA認定サーバーのコンテンツが見られない	• DLNA認定サーバーが公開しているコンテンツは、本機が再生できる種類のものですか。	• 本機が再生できるコンテンツのフォーマットは、準備編 57 に記載のとおりです。DLNA認定サーバーが公開しているコンテンツのフォーマットは、DLNA認定サーバー側でご確認ください。

困ったときには… つづき

USB機器関係

このようなとき	確認事項	対処のしかた・その他
USB機器の画像が見られない	• 本機のUSB端子に正しく接続していますか。	• USB機器の接続をご確認ください。(準備編 51)
	• 本機に接続できる機器ですか。	• 「USB端子に接続できる機器について」をご覧ください。83
	• 使用したい機器以外がつながっていませんか。	• 使用していない機器を取りはずしてください。
	• USB機器の接続設定を変更できますか。	• USB機器の接続設定を変更してみてください。（変更方法はUSB機器の取扱説明書でご確認ください。）
USB機器の一部の画像が見られない	• USB機器内に1000枚以上のファイルが保存されていませんか。	• パソコンやデジタルカメラなどで不要なファイルを削除してください。
	• ファイル名が256文字を超えていませんか。	• ファイル名を短くしてください。
画像が表示されるのが非常に遅い	• USB機器の接続設定を変更できますか。 • ファイルサイズが大きくありませんか。	• USB機器の接続設定を変更してみてください。（変更方法はUSB機器の取扱説明書でご確認ください。） • パソコンなどでファイルサイズを小さくしてください。
写真再生で表示モード切換ができない	• USB機器の接続設定を確認してください。	• 表示モード切換はUSB機器の接続設定がPC接続モードの場合にのみできます。

4th MEDIA（フォースメディア）関係

このようなとき	確認事項	対処のしかた・その他
4th MEDIAを視聴できない	• 「4th MEDIA設定」（準備編 83）の「システム情報」で、「ネットワーク状態」が「接続中」になっていますか。	• 「ネットワーク状態」が「未接続」の場合は、「4th MEDIA 設定」の「接続テスト」をしてみてください。
	• 接続・設定は正しいですか。	• 正しく接続、設定してください。(準備編 28、83 ～ 84)
	• 4th MEDIAの申込みをしていますか。	• 「4th MEDIAのお問い合わせ・お申し込みはこちらから」(準備編 93)を参照して申し込んでください。
	• 回線終端装置のLED表示が点灯していますか。	• 点灯していない場合は、ご契約のプロバイダーにお問い合わせください。

※ 上記をしても視聴できない場合は、「4th MEDIAのお問い合わせ・お申し込みはこちらから」(準備編 93)にご相談ください。

インターネット関係

このようなとき	確認事項	対処のしかた・その他
インターネット画面が表示されない	• プロバイダーなどとのインターネットをするための契約はお済みですか。	• 契約、費用などについては、プロバイダーまたはお買い上げの販売店にご相談ください。
	• LAN端子は正しく接続されていますか。	• 「LAN端子の接続（1）」（準備編 27）に従って、正しく接続してください。
	• インターネットをするための設定は正しいですか。	• 「通信接続設定」（準備編 72）に従って、「通信環境設定」と「LAN端子設定」をしてください。 ※インターネット起動時に暗証番号の入力が必要となるようにする場合は、「インターネット制限設定」（準備編 87）で設定してください。
音声が出ない	• インターネットの音声は出力されません。	―――
リモコンボタンの効きが悪い	• Webサイトのデータ読込中などは、リモコンボタンの効きが悪くなる場合があります。	―――

エラー表示、メッセージ表示について

全般 （代表的なもの）

● 代表的なエラー表示、メッセージ表示について説明します。

画面に出るエラー表示	考えられる原因など	対処のしかた・その他
「信号が受信できません。 ・アンテナの接続をご確認ください。 ・本機のアンテナ設定やアンテナレベルをご確認ください。コード：E202」	• 適合したアンテナでないため。 • 雨や雷、雪などの気象条件によって一時的に受信できない。 • アンテナ線がはずれたり、切れたりしている。 • アンテナの設定値が合っていない。 • アンテナの方向ずれや故障。 • 電波が弱くて視聴できない。	• 放送に適合したデジタル放送用アンテナであることをご確認ください。 • アンテナの接続や設定が合っているかご確認ください。（準備編 23 ～ 25 、30 ～ 31 ） • アンテナ線をご確認ください。 ※選局しているチャンネルでの放送が休止中の場合も表示することがあります。
「このチャンネルはご覧になれません。コード：E210」	• 部分受信サービス（準備編 97 ）を選局したため。	• 本機は対応していないので受信できません。
「電波の受信状態が良くありません。クイックメニューから降雨対応放送に切り換えられます。コード：E201」	• 気象条件などによって信号レベルが下がり、降雨対応放送切換が可能な状態になったため。	• 降雨対応放送に切り換えることができます。 26
「現在放送されていません。コード：E203」	• 選局したチャンネルでの放送が休止中。 • 放送が終了している。	• 番組表などで放送時間をご確認ください。 • 放送中のチャンネルを選局してください。 ※雨や雷、雪などの気象条件によって一時的に受信できない場合も表示することがあります。
「放送チャンネルではないためご覧になれません。コード：E200」	• 通信など通常の放送形態でないチャンネルを選局した。 • ホテルなどで特定の視聴者向けのサービスとして放送しているチャンネルを選局した。	• 通常の放送チャンネルを選局してください。
「ご案内チャンネルに切り換えますか？」	• 有料の放送事業者のチャンネルを選局した場合など。	• 選んだチャンネルの契約のしかたなどをご覧になる場合は、「ご案内チャンネル」に切り換えてください。
「表示するチャンネルがありません。」	• 番組表で、表示するチャンネルがまったくないため。	• BS—CS、地上D—地上A や、ラジオ/データ（ふたの中）で、表示できるチャンネルを選んでください。
「B-CASカードが正しく挿入されていません。B-CASカードをご確認ください。」	• B-CASカードが挿入されていない、または正しく挿入されていない。	• カードを抜き差ししてみてください。 • B-CASカードが正しく挿入されているかご確認ください。（準備編 22 ）
「B-CASカードの交換が必要です。B-CASカスタマーセンターへご連絡ください。コード：6400または6581」	• B-CASカードが故障している、または交換の必要がある。	• カードを抜き差ししてみてください。 • それでも正常にならない場合は、カードに記載されているB-CASカスタマーセンターにお問い合わせください。
「このB-CASカードはご使用になれません。B-CASカスタマーセンターへご連絡ください。コード：A104またはA105またはA106またはA107」	• B-CASカードが登録されていない。	• B-CASカードの登録をしてください。カードに記載されているB - CASカスタマーセンターにお問い合わせください。
「このICカードはご使用になれません。使用可能なB-CASカードを挿入してください。」	• 同梱のB-CASカード以外のカードを挿入している。	• 同梱のB-CASカードを挿入してください。
「このICカードはご使用になれません。使用可能なICカードを挿入してください。コード：EC01」	• このICカードは無効です。	
「このB-CASカードはご使用になれません。コード：A1FFまたはA102」	• 使用できないB-CASカードを挿入している。	
「B-CASカードが故障しています。」	• B-CASカードが故障している、または交換の必要がある。	• B-CASカスタマーセンターに、交換についてお問い合わせください。
「時刻情報を取得できませんでした。」	• デジタル放送が受信できないため、時刻情報を自動取得できない。	• しばらくしてからデジタル放送を受信して、時刻情報を自動取得してください。

困ったときには… つづき

全般 (代表的なもの) つづき

画面に出るエラー表示	考えられる原因など	対処のしかた・その他
「この番組には視聴制限があります。」	• 設定した視聴年齢を超えた番組を選局した。 • 設定した購入限度額よりも高い料金の番組を選局した。	• 視聴年齢を設定していない場合は「視聴年齢制限設定」(準備編 86)で視聴年齢を設定してください。 • ご覧になる場合は暗証番号を入力してください。(準備編 87)
「番組に視聴制限があるためご覧になれません。ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。コード：8903または8503または8303」	• 選んだチャンネル(番組)の視聴地域が限定されているため、視聴できない。	• 詳しくはご覧のチャンネルのカスタマーセンターにご連絡ください。
「番組購入情報がいっぱいのため新たに購入ができません。電話回線の接続をご確認の上、B-CASカスタマーセンターへご連絡ください。コード：8109」	• B-CASカード内のペイ・パー・ビュー購入履歴メモリーがいっぱいになっている。	• 電話回線が正しく接続されているのを確認してから(準備編 26)、「番組購入情報の送信」14 をしてください。
「購入受付時刻を過ぎたためご覧になれません。コード：8108」	• ペイ・パー・ビューの購入可能時間が終了したため。	• 番組によっては、購入できる時間が番組開始からある時間までに限られている場合があります。その場合は、それ以降は購入できませんのでご注意ください。 • 別の時間帯でも放送していて購入できる場合があります。詳しくはご覧のチャンネルのカスタマーセンターにご確認ください。

■ デジタル放送を受信中にメッセージが表示された場合

● メッセージ表示の中に、「【画面表示】を押し続けると消去」という文章が表示された場合は、画面表示を数秒間押し続けると、メッセージ表示を消すことができます。

● 「【画面表示】を押し続けると消去」の文章は、メッセージが表示されてから数秒後に自動的に消えます。
この文章が消えたあとも、画面表示を数秒間押し続けると、表示されている他のメッセージ表示を消すことができます。

USB機器に関するエラー表示

画面に出るエラー表示	考えられる原因など	対処のしかた・その他
「機器(メディア)が接続されていません。」	――――	• 本機が対応しているメディア、または機器を使用してください。
「機器(メディア)を認識できません。」	• 正常にフォーマットされていないメディアまたは機器が接続された。	• 本機が対応しているフォーマット形式のものを使用してください。
	• その他の原因。	• テレビ本体の電源ボタンを押して電源を切り、機器を接続してから、もう一度本機の電源を入れてください。
「機器(メディア)にアクセスできません。」	• USB接続に異常が発生した。	• USBマスストレージをはずしてから、もう一度接続してください。
「許容量を超えたUSB機器が接続されました。必要な機器のみ接続してください。」	• USB過電流エラーが発生した。(USB機器を多くつないでいる場合には、使用できなくなる場合があります)	• 接続されているUSB機器をすべてはずしたあと、使用したいUSBマスストレージを接続してください。 • 接続し直しても、このエラーメッセージが出る場合は、テレビ本体の電源ボタンを押して電源を切り、USB機器を本機からはずし、使用したいUSB機器のみを接続してから、もう一度本機の電源を入れてください。

通信（電話回線やLAN端子を使った通信）に関するエラー表示 （代表的なもの）

画面に出るエラー表示	考えられる原因など	対処のしかた・その他
「ダイヤルトーンの検出ができませんでした。電話機コードが正しく接続されているかご確認ください。コード：C100」	• 電話がつながらなかったため。	• 「電話回線の接続」（準備編 26 ）および「電話回線設定」（準備編 70 〜 71 ）で接続・設定の状態をご確認ください。
「接続に失敗しました。電話回線の設定をご確認ください。コード：C103」	• 電話回線を使用した通信ができなかったため。	
「サーバーと通信できませんでした。詳しくは取扱説明書をご覧ください。」	• サーバーからのダウンロードに失敗したため。	• 回線が混んでいる場合があります。時間帯を変えて、もう一度操作してください。 • 「LAN端子の接続」（準備編 27 ）および「LAN端子設定」（準備編 72 〜 73 ）で接続・設定の状態をご確認ください。
「本機にルート証明書が設定されていないため、サーバーに接続できません。」	• 本機にルート証明書が設定されていない。	• ルート証明書番号（準備編 69 ）を確認し、東芝家電ご相談センター（裏表紙参照）にお問い合わせください。 番号が確認できなかった場合は、数時間後にもう一度、番号を確認してください。それでも確認できない場合は、東芝家電ご相談センターにお問い合わせください。
「現在設定されているルート証明書ではサーバーの安全性を確認できないため、接続できません。」	• ルート証明書は本機内に設定されているが、接続先のサーバー証明書との検証が取れない。	• ルート証明書番号（準備編 69 ）を確認し、正しいルート証明書であるかを東芝家電ご相談センター（裏表紙参照）にお問い合わせください。
「現在設定されているルート証明書の有効期限が切れているため、サーバーに接続できません。」	• ルート証明書の有効期限が切れている。	
「サーバーの証明書の有効期限が切れているため、接続できません。」	• 接続先の証明書が有効期限切れになっている。	• 接続先の安全性に問題があります。本機は、一部の接続先については、安全性の確認ができない場合、接続を行いません。（本機の動作は正常です）
「サーバーの証明書には表示するページの名前が含まれていないため、接続できません。」	• サーバー証明書に表示しようとしているページの名前がない。	
「サーバーの証明書の不正が検出されたため、接続を中断します。」	• 接続先の証明書が改ざんされている。	
「サーバーの証明書に問題があるため、接続を中断します。」	• 認証エラーが発生した。	
「接続できません。通信環境設定をご確認ください。」	• 本機の通信環境設定が正しく設定されていない。	• 「通信環境設定」を正しく設定し直してください。（準備編 72 ）

東芝RDシリーズに「テレビdeナビ予約」をするときのエラー表示

画面に出るエラー表示	考えられる原因など	対処のしかた・その他
「東芝RDシリーズの予約と一部重複があります。東芝RDシリーズでご確認ください。」	• 予約はできたが、東芝RDシリーズ側の予約時間と、本機の「テレビdeナビ予約」の時間が一部重なっている。	• 東芝RDシリーズで予約内容をご確認ください。
「東芝RDシリーズで設定が変更されました。東芝RDシリーズでご確認ください。」	• 予約はできたが、東芝RDシリーズ側で録画設定が変更されている。	• 東芝RDシリーズで録画設定の内容をご確認ください。
「東芝RDシリーズの動作によって登録できません。」	• 東芝RDシリーズ側の動作との競合（何らかの操作、動作、表示をしている）がある。	• しばらくしてからやり直すか、または、東芝RDシリーズ側の操作などを中止してください。
「東芝RDシリーズの予約がいっぱいです。」	• 東芝RDシリーズ側の予約数がいっぱいになっている。	• 東芝RDシリーズで、どれか予約を取り消してください。
「指定した時刻情報では登録できません。」	• 東芝RDシリーズ側が対応していない形式で時刻を設定した。	• 東芝RDシリーズの取扱説明書で、指定できる時刻の形式をご確認ください。
「東芝RDシリーズの予約と重複するため、登録できません。」	• 東芝RDシリーズ側の予約と、本機の「テレビdeナビ予約」の時間が重なっている。	• 東芝RDシリーズ側で予約している時間帯は、本機からの「テレビdeナビ予約」はできない場合があります。

困ったときには… つづき

東芝RDシリーズに「テレビdeナビ予約」をするときのエラー表示 つづき

画面に出るエラー表示	考えられる原因など	対処のしかた・その他
「東芝RDシリーズに時刻が設定されていません。」	• 東芝RDシリーズの時刻設定をしていない。	• 東芝RDシリーズの時刻設定をしてください。
「東芝RDシリーズに予約を登録できませんでした。」 または 「東芝RDシリーズに録画情報を登録できませんでした。」	• 東芝RDシリーズの電源がはいっていない。	• 東芝RDシリーズの電源を入れてください。
	• 本機と東芝RDシリーズが正しく接続されていない。	• 本機と東芝RDシリーズを直接つなぐときは、クロスタイプのLANケーブルを使用してください。(準備編 44) • ルーターを通してつなぐときは、ストレートタイプのLANケーブルを使用し、ルーターの電源も入れてください。(準備編 46)
	• ネットワークの設定が正しくない。	• 本機と東芝RDシリーズを直接つないだときは、「直接つなぐ場合の設定をする」(準備編 45)で正しく設定してください。 • ルーターを通してつないだときは、「ルーターを通してつなぐ場合の設定をする」(準備編 47)で正しく設定してください。
「このレコーダーでは、TSフォーマットの映像をDVDに録画することはできません。」	• 東芝RDシリーズが「TS」モードでのDVDへの録画に対応していないため。	• 録画モードを「TS」以外にするか、録画先を「HDD」に変更してください。

i.LINKに関するエラー表示 (代表的なもの)

画面に出るエラー表示	考えられる原因など	対処のしかた・その他
「機器に接続できません。」	• 「i.LINK機器選択」画面で選んだ機器への接続に失敗した。 • i.LINK操作中に接続変更があり、その接続処理に失敗した。	• i.LINK機器の接続をご確認ください。 • 機器の操作をし直すか、「i.LINK機器選択」画面で選び直してください。41 • 相手機器の電源を入れ直してください。 • 相手機器のi.LINK設定をご確認ください。
「ブロードキャスト出力機器はありません。」	• ブロードキャスト出力している機器がない。	• i.LINK接続機器をご確認ください。
「現在入力されているブロードキャスト信号には対応していません。」	• 本機が対応していないブロードキャスト信号を入力したため。	• この機器から出力されている信号は本機では視聴できません。 • 本機が対応する信号を出力するi.LINK機器を接続してください。
「i.LINK機器の接続に変更がありました。接続状態を確認しています。」	• i.LINK接続ケーブルがはずれている、または接続が不十分。 • i.LINK接続に変更があった。	• 接続状態を確認中です。1分たっても終了しない場合は、機器の操作を終了し、i.LINK機器の接続、設定をご確認ください。(準備編 58、76)
「i.LINK機器の接続を確認してください。」	• i.LINK機器との接続が正しくない。	• i.LINK機器はループ状態には接続できません。正しく接続してください。(準備編 58)
	• i.LINK機器を64台以上接続している。	• 64台以上のi.LINK機器は接続できません。本機を含めて63台以下にしてください。
「外部機器から接続されています。」	• 外部のi.LINK機器から接続(制御)されているため、i.LINK操作ができません。	• i.LINK機器を操作するには、外部機器から本機へのi.LINK接続(制御)を終了してください。
「使用可能な帯域を超えているため操作できません。他の機器の接続をはずしてご使用ください。」	• 使用する帯域が確保できないため信号の通信ができません。	• 使用していないi.LINK機器でブロードキャスト出力設定されている場合は、ブロードキャスト出力を「切」にしてください。 • 同時に使用する機器の数を少なくしてください。 • 接続機器の電源プラグを抜き差ししてください。
「対応したデジタル信号が入力されていません。」	• DV機器などフォーマットの異なる機器をつないだため。	• DV機器などフォーマットの異なる機器は、接続してもデータのやりとりなどはできません。

i.LINKに関するエラー表示 （代表的なもの） つづき

画面に出るエラー表示	考えられる原因など	対処のしかた・その他
「i.LINK制御機能が正しく動作していません。番組を正常に送受信できない場合があります。詳しくは取扱説明書をご覧ください。」	• i.LINK処理に用いる内部情報が壊れているため。	• お買い上げの販売店にエラー表示をご説明のうえ、修理をご相談ください。
「機器操作中は切り換えられません。」	• 機器操作中に、番組表、二画面などの操作をしようとしたため。	• 機器の操作を終了してから、選局などの操作をしてください。
「録画機器が操作を受け付けません。録画機器側での設定を確認してください。」	• 録画機器の制御ができないため。	• 録画機器側が外部制御できない設定になっていないかご確認ください。録画機器の取扱説明書をご確認ください。

LAN HDDに関するエラー表示

画面に出るエラー表示	考えられる原因など	対処のしかた・その他
「再生できません。」	• 本機で対応しているファイルフォーマットではないため。	• 本機では再生できません。
「システム情報にエラーがあるため、録画番組を再生できない場合があります。」	• システムフォルダに含まれるシステム情報がこわれている。	• システムフォルダがこわれているため、このLAN HDDは再生できません。メインシステムフォルダの保存先を他のLAN HDDに変更してください。（準備編 79）
「一部のシステム情報が欠落しているため、再生できない録画番組があります。」	• システムフォルダ内の情報が不足している。	• メインシステムフォルダの保存先となっているLAN HDDも含めて、すべてのLAN HDD（パソコンも含めて）を本機に接続して、システムフォルダの一括更新をしてください。（準備編 79 の手順**1**、**2**、**6**）

DLNA認定サーバーに関するエラー表示

画面に出るエラー表示	考えられる原因など	対処のしかた・その他
「検索に失敗しました。」	• DLNA認定サーバーが正しく接続されていない。	• 準備編 54 を参照して、正しく接続してください。
「機器（メディア）にアクセスできません。」	• DLNA認定サーバーが正しく接続されていない。	• 準備編 54 を参照して、正しく接続してください。
	• DLNA認定サーバーのアクセス制御が正しく設定されていない。	• DLNA認定サーバーによってはMACアドレスによるアクセス制限をしている場合があります。 DLNA認定サーバーの説明書に従って正しく設定してください。 ※本機のMACアドレスは、「通信接続設定」（準備編 72 ～ 73 ）の「LAN端子設定」で確認することができます。
「再生できません。」	• コンテンツが本機で対応しているフォーマットではないため。	• 本機では再生できません。
「サーバー側の設定やアクセス状態により現在アクセスできません。しばらくしてからやり直してください。」	• DLNA認定サーバーが起動準備中。 • DLNA認定サーバーが他の機器で使用中。	• しばらくしてからやり直してください。
「システム情報にエラーが発生したため、番組を再生できません。」	• コンテンツ再生処理に使用する内部情報が壊れているため。	• お買い上げの販売店にエラー表示をご説明のうえ、修理をご相談ください。
「このサーバーから、番組を受信することはできません。」	• DLNA認定サーバーと本機が複数のルーターを介して接続されているため。	• 準備編 54 を参照して、正しく接続してください。

困ったときには… つづき

インターネットに関するエラー表示

画面に出るエラー表示	考えられる原因など	対処のしかた・その他
「エラーコード：BR-ACS-0-020 DNSの設定が正しくありません。」	• DNSが正しく設定されていない。	•「LAN端子設定」（準備編 72 ～ 73 ）の「DNS設定」が正しく設定されているかご確認ください。
「エラーコード：BR-ACS-04-021 DNSの設定が設定されていません。」	• DNSアドレスが設定されていない。	
「エラーコード：BR-ACS-04-022 接続に失敗しました。」	• 指定したDNSサーバーからの応答がない。	•「LAN端子の接続（1）」（準備編 27 ）および、「LAN端子設定」（準備編 72 ）の「IPアドレス設定」が正しく接続・設定されているかご確認ください。
「エラーコード：BR-ACS-04-023 接続に失敗しました。」	• 指定したIPアドレスがDNSサーバーではない。	
「エラーコード：BR-ACS-04-030 接続に失敗しました。」	• TCP/IPのソケットがオープンできなかった。	• 読込み途中のページを「便利機能」 47 で読込み「中止」にしてください。
「エラーコード：BR-ACS-04-031 接続に失敗しました。」	• TCP/IPのコネクトに失敗した。	• 接続先サーバーのURLをご確認ください。また、「LAN端子の接続（1）」（準備編 27 ）が正しく接続されているかご確認ください。
「エラーコード：BR-ACS-04-032 接続に失敗しました。」	• TCP/IPでの受信に失敗した。	•「LAN端子の接続（1）」（準備編 27 ）が正しく接続されているかご確認ください。
「エラーコード：BR-ACS-04-033 接続に失敗しました。」	• TCP/IPでの送信に失敗した。	• 送信先サーバーが正しいかご確認ください。また、「LAN端子の接続（1）」（準備編 27 ）が正しく接続されているかご確認ください。
「エラーコード：BR-ACS-04-040 SSL接続に失敗しました。 （SSL接続エラー）」	• SSLの接続中に何らかのエラーが発生した。 ※このダイアログが表示される場合は、原因に関するダイアログも表示されます。	• 左記の原因でこのページを表示できません。（もう一度接続しても同様の場合は、このページは見ることはできません）
「エラーコード：BR-ACS-04-041 SSL接続に失敗しました。 （SSL、handshakeエラー）」	• SSLでのネゴシエイションに失敗した。	
「エラーコード：BR-ACS-04-042 SSL接続に失敗しました。 （SSL読み込みエラー）」	• SSLによる受信に失敗した。	
「エラーコード：BR-ACS-04-043 SSL接続に失敗しました。 （SSL送信エラー）」	• SSLによる送信に失敗した。	
「エラーコード：BR-ACS-04-050 接続がタイムアウトしました。」	• HTTPによるRequest送信に失敗した。	• 接続先サーバーは正しいかご確認ください。また、「LAN端子の接続（1）」（準備編 27 ）が正しく接続されているかご確認ください。
「エラーコード：BR-ACS-04-060 接続に失敗しました。 （認証ヘッダがありません）」	• 認証ヘッダに不正がある。	
「エラーコード：BR-ACS-04-070 接続がタイムアウトしました。」	• サーバーからのレスポンスを受信できない。	
「エラーコード：BR-ACS-04-080 保護あり／なしが混在したページは表示できません。表示したい場合は設定を変更してください。」	• HTTPとHTTPSを混在して参照することを禁止していた場合で、該当する状況が発生した。	•「セキュリティー設定」 51 で「保護あり／なしの混在ページを表示」のチェックボックスにチェックしてください。
「メモリ不足です。他のタブの内容を消去して再度読み込みしますか。」 [OK][キャンセル]	• コンテンツを表示するために必要なメモリー容量をオーバーした。	• 他の二つの色タブを消去してよい場合は、◀・▶で「OK」を選び、決定を押してください。消去しない場合は「キャンセル」を選んでください。
「エラーコード：BR-ACS-11-002 メモリ不足のためコンテンツの一部を正しく表示できない可能性があります。」	• コンテンツを表示するために必要なメモリー容量をオーバーした。	• 他の色タブで、ページ操作 48 の「ページの消去」を実行してから「再読込み」をしてください。上記操作をしても同様のメッセージが出る場合は、このページを見ることはできません。
「エラーコード：BR-ACS-11-003 メモリ不足のためコンテンツの一部を正しく表示できない可能性があります。」		
「エラーコード：BR-ACS-13-008 ページが大きすぎるため、コンテンツの一部を正しく表示できない可能性があります。」		

インターネットに関するエラー表示 つづき

画面に出るエラー表示	考えられる原因など	対処のしかた・その他
「エラーコード：BR-ACS-15-001 開こうとしているページは保護されています。情報は暗号化されます。」	• HTTPSで参照している状態からHTTPSで参照を開始する場合。（エラーでなく、通知メッセージ）	――――――
「エラーコード：BR-ACS-15-002 開こうとしているページは保護されていません。情報は暗号化されずに送信されます。」	• HTTPSで参照している状態からHTTPSで参照を開始する場合。（エラーでなく、通知メッセージ）	――――――
「エラーコード：BR-ACS-15-005 接続先を認証できません。（ルート証明書が未知のものです）続けますか？」	• ルート証明書の発行先が不明。	• この画面で「OK」を選んだ場合は、選んだページを表示します。（情報は暗号化されません） この画面で「キャンセル」を選んだ場合は、ページを見ることはできません。
「エラーコード：BR-ACS-15-007 接続先を認証できません。（ルート証明書が期限切れです）続けますか？」	• ルート証明書が期限切れになっている。	
「エラーコード：BR-ACS-15-008 接続先を認証できません。（CNがホスト名と一致しません）続けますか？」	• CNがホストと一致していない。	
「エラーコード：BR-ACS-15-009 接続先を認証できません。（サーバ証明書が期限切れです）続けますか？」	• サーバ証明書が期限切れになっている。	
「エラーコード：BR-ACS-19-005 Java Scriptが想定外の動作をしている可能性があります。」	• 悪意のあるコンテンツである可能性がある。	• Java Scriptを停止したい場合は、画面のチェックボックスをチェックしてから◀·▶で「OK」を選び、決定を押してください。
「エラーコード：BR-ACS-19-006 ファイルのアップロードには対応していません。」	• 本機の仕様で対応していないファイルをアップロードしようとした。	――――――

■ 次のメッセージが表示された場合は、本機ではそのWEBページをまったく表示できないか、正しく表示できません。（またはファイルを読み込むことができません）

画面に出るエラー表示	原因（ご参考）
この認証には対応していません。	本機が対応していない認証方法を要求された。
コンテンツを正しく表示できない可能性があります。	コンテンツの文法が不正。
エラーが発生しました。	コンテンツの文法が不正。
ページの内容が正しくありません。（このリダイレクト形式には対応していません。）	HTTPのサーバー側からのヘッダに問題がある。
ファイルが開けません。	file://で指定したURLにはファイルが存在しない。
ファイルが読み込めません。	file://で指定したURLにはファイルが読み込めない。
ページが読み込めません。	コンテンツにボディがない。
ページの内容が正しくありません。（リダイレクト回数が制限を超えています。）	リダイレクト回数がこのインターネットブラウザで規定する最大値を超えた。
ページの内容が正しくありません。（正しくないURLが指定されています。）	URL入力が正しくない。
ページの内容が正しくありません。（MIMEタイプが正しくありません。）	MIMEタイプがサポート範囲外のものである。
接続に失敗しました。	HTTPのRequestヘッダを用意するためのメモリーが不足した。
接続に失敗しました。	HTTPのRequestボディを用意するためのメモリーが不足した。
このタイプの文書は表示できません。	Contentタイプがサポート範囲外のものである。
接続先を認証できません。	サーバーがクローズしたセッションを使用して接続をしようとした。
接続先を認証できません。（サーバ証明書が検証できません。）	サーバ証明書が改ざんされている。
接続先を認証できません。（ルート証明書が無効です。）	ルート証明書が無効。
エラーが発生しました。	サポート外の要求を受けた。

メニュー 一覧

● 設定・調整のメニュー 一覧を下図に示します。(薄く記載している部分は、別冊「準備編」で使用する部分です)
「準備編」のメニュー 一覧は、準備編 94 ～ 95 をご覧ください。

● メニューで選択できる項目は、映像や音声の種類などによって変わり、選択できない項目はメニュー画面で薄く表示されます。

設定 つづき
初期設定
はじめての設定
アンテナ設定
地上Dアンテナレベル
BS・110度CS アンテナレベル
BS・110度CS アンテナ電源供給
BS中継器切換
110度CS中継器切換
チャンネル設定
地上A自動設定
地上D自動設定
初期スキャン
再スキャン
自動スキャン
手動設定
地上A
地上D
BS
110度CS
チャンネル スキップ設定
地上A
地上D
BS
110度CS
GR設定
初期設定に戻す
データ放送設定
郵便番号と地域の設定
文字スーパー表示設定
ルート証明書番号
通信設定
電話回線設定
ダイヤル方式
外線発信番号
電話会社の設定
電話番号通知設定
電話回線テスト
待ち時間の設定
通信接続設定
通信環境設定
LAN端子設定
IPアドレス設定
DNS設定
プロキシ設定
MACアドレス
接続テスト
LAN HDD端子設定
IPアドレス設定
DHCPサーバー設定 →DHCPサーバー →開始IPアドレス →リースアドレス数
MACアドレス
接続確認 メッセージ設定
通信エラー履歴
右側につづく
初期設定 つづき
録画機器設定
ビデオ録画方式設定
テレビdeナビ設定
東芝RDアナログ
東芝RDデジタル1
東芝RDデジタル2
東芝RDデジタル3
i.LINK設定
機器の登録
登録モード設定
ブロードキャスト 入力設定
最大データ転送 速度設定
D-VHSテープ検出
ちょっとタイム機器
ちょっとタイム機器 電源設定
LAN HDD設定
機器の登録
登録モード設定
LAN HDD動作テスト
システムフォルダ設定
外部機器からの制御
ワンタッチ操作設定
ワンタッチスキップ設定
ワンタッチリプレイ設定
メール設定
基本設定
POP3サーバー アドレス
POP3ユーザー名
POP3パスワード
APOP
POP3アクセス間隔
SMTPサーバー アドレス
メールアドレス
メール録画予約設定
メール録画予約機能
録画機器
メール予約パスワード
予約設定結果通知
指定メールアドレス
予約アドレス登録
4th MEDIA設定
フレッツの「お客様ID」/「Sub NO.」
ユーザー名
パスワード
視聴制限設定
視聴年齢制限設定
番組購入制限設定
暗証番号設定
暗証番号削除
接続テスト
システム情報
簡易確認テスト
設定の初期化

Basic Operations

● For more information on operations, safety instructions, maintenance,etc, please contact your local dealer.

[TV Front Panel]

[TV Right Side Panel]

● You can operate the TV by using the buttons.

B-CAS card slot

B-CAS

B-CAS card

● To view digital broadcasting programs,insert the B-cas card into the card slot.
(without B-cas card, you CANNOT receive digital broadcasting.)

電源

● Push the Main power switch to turn on.

▲ チャンネル ▼

For changing the program position.

＋ 音量 －

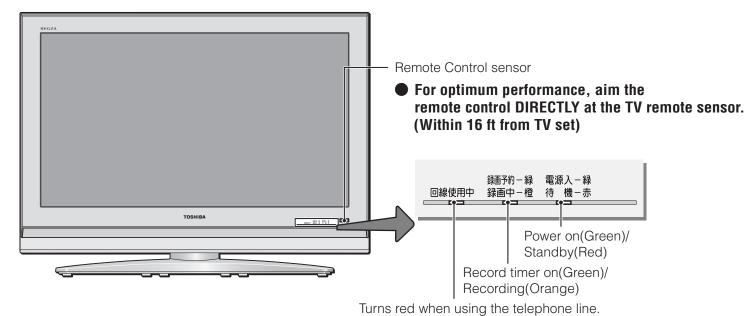
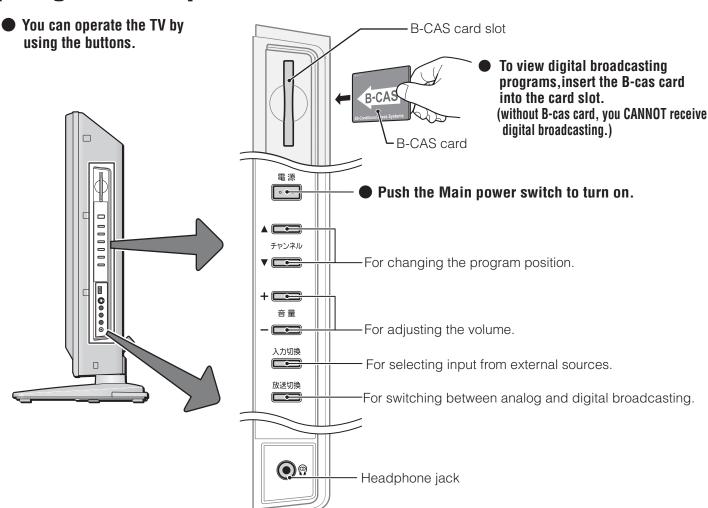
For adjusting the volume.

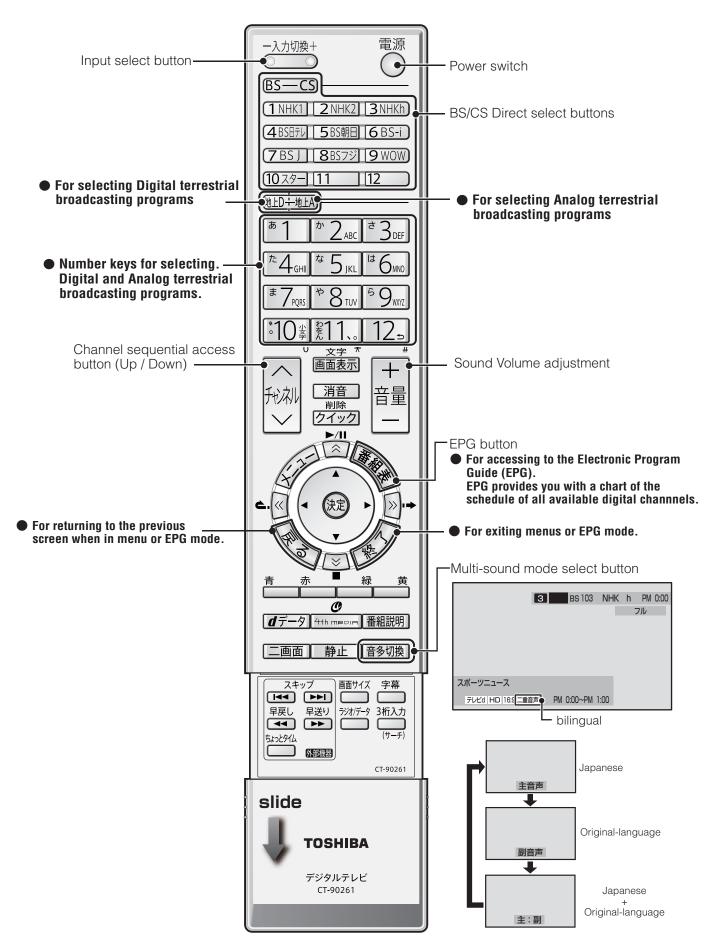
入力切換

For selecting input from external sources.

放送切換

For switching between analog and digital broadcasting.

Headphone jack

[Remote controller]

アイコン一覧

■ 番組についてのアイコン

アイコン	説　明	アイコン	説　明
テレビ	テレビ放送	MV	マルチビューサービス（25 おしらせ」）
ラジオ	ラジオ放送	HD	デジタルハイビジョン放送
データ	データ放送	HD:1125i	放送フォーマットが1125i信号のデジタルハイビジョン放送
テレビd	データ放送がある場合（テレビ）	HD:750p	放送フォーマットが750p信号のデジタルハイビジョン放送
ラジオd	データ放送がある場合（ラジオ）	SD	デジタル標準テレビ放送
16：9	画面の横と縦の比が16：9の番組の放送	SD:525i	放送フォーマットが525i信号のデジタル標準テレビ放送
4：3	画面の横と縦の比が4：3の番組の放送	SD:525p	放送フォーマットが525p信号のデジタル標準テレビ放送
ステレオ	ステレオ音声放送	信号切換	複数の映像、または音声またはデータがある場合
サラウンド	サラウンドステレオ放送	ペイ・パー・ビュー	ペイ・パー・ビュー番組
二重音声	二重音声放送	年齢	視聴年齢制限が設定されている番組の場合
字	字幕放送		

※ テレビd が表示されていなくても、データ放送（番組に連動していないもの）がある場合があります。
テレビd が表示されていても、放送局側の運用によってはデータ放送が番組に連動していない場合があります。

■ お知らせ、予約、録画、録画リスト、その他についてのアイコン

アイコン	説　明	アイコン	説　明
データ取得中	データの取得中です。	Dコピー×	デジタル録画できない番組の場合
i	未読の「おしらせ」	コピー可	光デジタル録音できます。
i	既読の「おしらせ」	コピー¥	録画購入すれば光デジタル録音できます。
	録画予約	コピー1	1回のみ光デジタル録音できます。
✔	視聴予約	コピー×	光デジタル録音できません。
コピー可	アナログ録画できます。		フォルダや録画した番組にロックをかけている場合
コピー¥	録画購入すればアナログ録画できます。		非リンク型サービス（通信番組）10
コピー×	アナログ録画できません。		SSLなどの暗号通信をしている場合 10
Dコピー可	デジタル録画できます。		上書き録画を「する」に設定した番組 38
Dコピー¥	録画購入すればデジタル録画できる番組の場合		「ちょっとタイム」動作中
Dコピー1	1回のみデジタル録画できる番組の場合		

USB端子に接続できる機器について

● 下表の1 ～ 53番までの機器は、本機に接続して「写真をテレビで見る」28で使用できることを確認済みです。
また、54番以降のUSBキーボードは、本機に接続して「市販のUSBキーボードを使う」31で使用できることを確認済みです。ただし、どちらの場合もすべての動作を保証するものではなく、機種によってはいくつかの機能が正常に動作しない場合もありますので、ご了承ください。
● 下表以外の機器については、正しく動作しない場合があります。
● 接続のしかたとUSB機器を使用する際の注意については、「USB機器をつなぐ」（準備編51）に記載していますので、よくお読みください。
● 接続できる機器については、ホームページで順次公開していく予定です。（ホームページについては準備編15を参照）

USB端子に接続できる機器

番号	機器の分類	メーカー	型名等
1	デジタルカメラ	キヤノン	IXY DIGITAL 500
2			IXY DIGITAL 50
3			IXY DIGITAL 55
4			IXY DIGITAL 800IS
5			IXY DIGITAL L2
6			PowerShot A520
7			PowerShot S60
8			EOS Kiss DIGITAL N
9		ニコン	D70s
10			COOLPIX S1
11			D70
12		カシオ	EX-Z1000
13			EX-Z40
14			EX-S500
15			EX-Z57
16		コダック	EasyShare V570 デュアルレンズ
17		オリンパス	X-600
18		富士フィルム	FINEPIX F710
19			FINEPIX F10
20			FINEPIX Z1
21		ソニー	DSC-T30 ※1
22			DSC-P9
23			DSC-T1
24		パナソニック	FX-01
25			FZ5
26	メモリーカードリーダー	バッファロー	MCR-MST/U2
27			MCR-MST-LT/U2
28			MCR-SM-LT/U2
29			MCR-CF/U2
30			MCR-CF-LT/U2

番号	機器の分類	メーカー	型名等
31	メモリーカードリーダー	バッファロー	MCR-MINISD/U2
32			MCR-C8/U2
33			MCR-8U/U2
34			MCR-SD-LT
35			MCR-MSDUO
36			MCR-C12/U2
37			MCR-MINISD
38			MCR-SM/U2
39			MCR-C7/U2
40		アイ･オー･データ	USB-2inIR
41			USB2-2inRW
42			USB2-8inRW
43			US2-MSRW
44			US2-SDRW
45			US2-SMRW
46			USB2-7inRW
47		ロジテック	LMC-CAMINIIU
48			LMC-CA64U2
49	USB メモリ	東芝	U2A-128MT
50			U2A-256MT
51			U2B-256MT
52			U2B-512MT
53			U2B-001GT
54	USB キーボード	マイクロソフト	Basic Wireless Optical Desktop
55			Wireless Optical Desktop Elite
56		ロジテック	Internet Navigator Keyboad ik-37
57			Cordless Mx Duo CK-87MX

※1 デジタルカメラ側で「MassStorage」に接続設定変更が必要

お手入れについて

■ お手入れのときは、電源プラグをコンセントから抜く
感電の原因となることがあります。

■ ベンジン・アルコールなどは使わない
● ベンジン・アルコールなど揮発性のものは使わないでください。キャビネットが変質したり、塗料がはげたりすることがあります。

■ キャビネットや操作パネルのお手入れ
● 柔らかい布で軽くふき取ってください。
● 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。

■ 画面（液晶パネル）は特殊な加工をしています
● 固い布でふいたり、強くこすったりすると表面が傷つきますので、ていねいに扱ってください。

■ 画面（液晶パネル）は水ぶきをしない
● 脱脂綿あるいはガーゼなどの乾いた柔らかい布（OA機器清掃用の布）で軽くふいてください。
● アセトンなどケトン類やキシレン、トルエンなどの溶剤、水は使用しないでください。

さくいん

※ ページ番号の前の「準」は別冊の準備編に記載されていることを意味します。

● 数字・ABC順

1CH表示 18
3ケタ(桁)チャンネル番号 9
4th MEDIA（フォースメディア）......11
4th MEDIA設定 準83
AVアンプ電源連動 準90
B-CAS(ビーキャス)カード 準22
B-CASカード番号表示 60
BS･110度CSアンテナ電源供給 準31
BS･110度CSアンテナレベル 準31
BS中継器切換/110度CS中継器切換 準60
D4映像入力端子 準18
D-VHSビデオ(i.LINK接続) 準58
DLNA認定サーバー 準57
DVDプレーヤー 準40
Eメールで録画予約 35
GR（ゴーストリダクション)設定 準68
HDDビデオレコーダー（i.LINK接続) 準58
HDMI1音声入力設定 準88
HDスーパーライブ 21
HDズーム 21
i.LINK機器 準58
i.LINK再生 41
i.LINK設定 準76
i.LINK機器の登録と解除 準76
LAN HDD 準52
LAN HDD設定 準77
LAN HDD端子設定 準74
LAN HDDの登録と解除 準77
LAN再生 41
LAN端子(4th MEDIA専用) 準18
LAN端子(HDD専用) 準18
LAN端子(汎用) 準18
LAN端子設定 準72
MPEG NR 57
PPV(→ペイ･パー･ビュー番組) 14
RDシリーズ(東芝製HDD＆DVDビデオレコーダー) 準44
S2映像入力端子 ......準17､準18
USB端子 準17
USBキーボード 準51
USB機器(デジタルカメラ､メモリーカードリーダーなど) 準51
Vエンハンサー 54
WOW設定 59

● アイウエオ順

ア行 ページ

アイコン 82
明るさセンサー 58
あざやか 53
暗証番号 準87
暗証番号(4th MEDIA専用) 準83
色あい 53
色温度 54
色の濃さ 53
インターネット 47
インターネット制限設定 準87
映画(映像メニュー) 53
映画字幕 21
映画プロ 53
映像メニュー 53
枝番 8
オーバースキャン 21
お買い上げ時の状態 準92
お知らせ 27
追っかけ再生 41
オフタイマー 26
音多切換 25

カ行 ページ

外線発信番号 ......準34､準70
外部機器からの制御 準80
外部機器録画 33
画面サイズ切換 21
カラーイメージコントロールプロ 55
カラーパレットプロ調整 55
簡易確認テスト ......準36､準84
ガンマ調整 54
キーボード(→USBキーボード) 準51
キーワード ......16､準85
機器の情報 46
クイックメニュー 19
黒レベル 53
ゲーム機をつなぐ 準51
降雨対応放送 26
高音(音声調整) 59
個人情報. 準13

サ行 ページ

再スキャン 準62
左右振幅調整 58
シームレス表示 29
写真再生 28
システムフォルダ設定 準79
視聴制限設定(4th MEDIA用) 準83
視聴年齢制限設定 準86
視聴予約 32
自動スキャン 準62
自動設定(チャンネル設定) 準60
自動ダウンロード 61
字幕放送 26
シャープネス 53
写真の回転 29
写真の並べ替え 29
ジャストスキャン 21

ジャンル 16
ジャンル色分け設定 19
手動設定(チャンネル設定)......準63
省エネ設定......60
上下画面位置......58
上下振幅調整......58
詳細調整(映像調整)......53
初期スキャン......準61
ショートカット削除......46
ショートカット作成......46
信号切換 25
スーパーライブ......21
ズーム 21
スキップチャンネル表示／非表示......19
ステレオ／モノラルの設定......59
ステレオにつなぐ......準49
静止画 25
設定の初期化......準91
双方向サービス......10
ソフトウェアバージョン 62

タ行 ページ

ダイナミックNR......57
ダイナミックガンマ 54
タイムサーチ(4th MEDIA) 12
ダイヤル方式......準35
ダウンロード......61
地上A番組表設定......準85
地上Dアンテナレベル......準30
チャンネルスキップ設定 準67
チャンネル設定......準60
チャンネル設定を最初の状態に戻す 準68
ちょっとタイム......44
通常表示 29
通信エラー履歴......準75
通信環境設定......準72
低音(音声調整)......59
データ放送......10、準96
データ放送用メモリーの割当て......準38
デジタルハイビジョン放送......準96
デジタル放送録画出力端子......準18
テレビdeナビ設定......準45
テレビサーフ......36
テレビプロ......53
電話回線端子......準18
電話回線設定......準70
電話回線テスト......準71
登録モード設定......準78
独立データ放送......10
ドット･クロスカラーリダクション 57

ナ行 ページ

名前の変更......46
二画面 23
日時指定予約(日時指定録画)......37
入力切換 13
入力文字一覧表......30
任意ダウンロード......61
ノイズリダクション設定 57
ノーマル 21

ハ行 ページ

バックライト......53
はじめての設定......準32
バランス(音声調整) 59
番組記号一覧......19
番組検索 16
番組購入限度額......準86
番組購入情報の送信 14
番組購入履歴......14
番組指定録画(番組指定予約)......34
番組情報 20
番組情報取得設定......60
番組情報の取得......18
番組説明 20
番組表 15
番組連動データ放送 10
番組を移動する......46
光デジタル音声出力......準49、準90
ヒストグラムバックライト制御......58
ビデオ 準41
ビデオコントロールケーブル......準41
ビデオスキップ設定 準89
ビデオ入力表示設定 準88
ビデオ録画方式設定 準42
標準(映像メニュー) 53
ファインシネマ......58
フォルダ作成......46
フル 21
フルサイズ切換......21
プレビュー......14
ベースカラー調整......55
ペイ・パー・ビュー番組(有料番組) 14
ヘッドホーン端子 4
ヘッドホーンモード 24
ヘッドホーン音量......24
便利機能(4th MEDIA)......13
便利機能(インターネット)......47
ボード 27
放送局からのお知らせ 27
本機に関するお知らせ 27

マ行 ページ

マルチビューサービス 25
マルチ表示......18
メール設定......準81

さくいん つづき

マ行 つづき ページ

メモリー(映像メニュー) 53
文字サイズ変更 19
文字スーパー表示設定 準69
文字入力 30

ヤ行 ページ

ユーザーカラー調整 56
郵便番号と地域の設定 準69
有料番組(ペイ・パー・ビュー番組) 14
ユニカラー 53
予約内容の確認 39
予約の取り消し 39
予約番組の優先順位 39
予約リスト 39

ラ行 ページ

ラジオ放送 ....10、準96
リピート再生設定 43
リモコン ....3、42
リモコンの準備 準20
ルート証明書番号 準69
録画した番組の移動 46
録画した番組の検索 45
録画した番組のロック 45
録画した番組の削除 45
録画した番組の並べ替え 45
録画設定 38
録画・予約 32
録画リスト 41

ワ行 ページ

ワンタッチ(スキップ/リプレイ)操作設定 準80

仕様

項目		32Z2000	37Z2000	42Z2000	47Z2000
種類		地上・BS・110度CSデジタルハイビジョン液晶テレビ			
形名		32Z2000	37Z2000	42Z2000	47Z2000
受信機型サイズ		32V	37V	42V	47V
電源		AC 100V 50/60Hz共用			
消費電力	電源「入」時	159W	205W	286W	325W
	電源「待機」時	0.6W	0.6W	0.4W	0.3W
	機能動作時※1	26W	26W	40W	40W
	電源「切」時	0.5W	0.5W	0.3W	0.2W
年間消費電力量[標準時]		140kWh/年	166kWh/年	213kWh/年	296kWh/年
区分名		BFF	BJJ	BJJ	BJJ
スタンドを含む外形寸法 ( )は本体のみ	幅	79.4cm(79.4cm)	91.6cm(91.6cm)	104.2cm(104.2cm)	113.2cm(113.2cm)
	高さ	59.9cm(54.7cm)	67.6cm(62.4cm)	76.2cm(70.7cm)	79.5cm(74.0cm)
	奥行	29.8cm(11.7cm)	29.8cm(12.3cm)	35.2cm(12.3cm)	35.2cm(11.8cm)
スタンドを含む質量( )は本体のみ		19.7kg (17.3kg)	25.6kg (22.8kg)	33.7kg (29.7kg)	42.4kg (38.4kg)
液晶画面	画面寸法	幅69.8cm×高さ39.2cm 対角80.0cm(32V型)	幅81.9cm×高さ46.1cm 対角94.0cm (37V型)	幅93.0cm×高さ52.3cm 対角106.7cm (42V型)	幅104.0cm×高さ58.5cm 対角119.3cm (47V型)
	駆動方式	TFTアクティブマトリクス			
	画素数	水平1366×垂直768	水平1920×垂直1080		
受信チャンネル		地上アナログ:VHF (1～12)、UHF (13～62)、CATV (C13～C38) 地上デジタル:VHF (1～12)、UHF (13～62)、CATV (C13～C63) BSデジタル:BS000～BS999、110度CSデジタル:CS000～CS999			
スピーカー		6cm×12cm 2個、3.3cm丸型2個		6cm×12cm 4個、3.3cm丸型2個	
音声出力		実用最大出力 10W+10W (総合音声出力 20W)(JEITA)			
入力・出力端子	ビデオ入力 (入力1、2、3/ゲーム、4)	S2映像:Y入力:1V (p-p)、75Ω、同期負、C入力:0.286V (p-p)(バースト信号)、75Ω 映像:1V (p-p)、75Ω、同期負(ピンジャック)、音声:200mV (rms)、22kΩ以上(ピンジャック)			
	オーディオ出力(固定)	音声:200mV (rms)、2.2kΩ以下(ピンジャック)			
	デジタル放送録画出力	S1映像:Y出力:1V (p-p)、75Ω、同期負、C出力:0.286V (p-p)(バースト信号)、75Ω 映像:1V(p-p)、75Ω、同期負(ピンジャック)、音声:250mV(rms)、2.2kΩ以下(ピンジャック)			
	D4映像入力 (ビデオ1、2)	14ピン、1.27mmピッチ Y:1V (p-p)、P_B/C_B、P_R/C_R:0.7V (p-p)			
	i.LINK (TS)	IEEE1394 4ピン、S400対応、MPEG-TS信号			
	HDMI端子1～3	HDMI1.2a準拠 HDMIアナログ音声入力(HDMI端子1のみ搭載):200mV (rms)、22kΩ以上(ピンジャック)			
	USB端子	USB1.1			
	光デジタル音声出力	トスリンク			
	RIオーディオコントロール端子	口径3.5mmミニジャック			
	電話回線接続端子	モジュラージャック方式			
	汎用LAN端子	RJ-45			
	HDD専用LAN端子	RJ-45			
	4thMEDIA専用LAN端子	RJ-45			
	ヘッドホーン端子	口径3.5mmステレオミニジャック、適合インピーダンス8Ω～32Ω			
	ビデオコントロール端子	口径3.5mmミニジャック			
使用条件		使用周囲温度:0℃～35℃、使用周囲湿度:20%～80% (結露のないこと)			
意匠	キャビネット材質	ポリスチレン樹脂(PS)			
角度調整範囲 (テレビスタンド)		左右:それぞれ約15° 上下:不可			
主な付属品		取扱説明書 操作編 (本書)、準備編 (別冊) ×各1部 リモコン (CT-90261) ×1個 単四形乾電池 (R03) ×2個 ビデオコントロールケーブル ×1個 同軸ケーブル ×1本 電話機コード ×1本		モジュラー分配器 ×1個 B-CASカード (IDラベル付き) ×1枚 BS・110度CSデジタル放送受信契約申込書 ×1式 「お客様登録のお願い」のハガキ ×1枚 簡単接続ガイド ×1枚 チャンネル設定ガイド ×1枚	

※1:「機能動作時」は、以下の設定や動作をしている場合の電源「待機」時の消費電力です。
- 「外部機器からの制御」を「あり」に設定しているとき
- 「メール録画予約機能」を「使用する」に設定しているとき
- 本機で受信したデジタル放送を外部機器で録画しているとき
- 番組情報などの取得中

仕様 つづき

インターネットブラウザの仕様

記述言語	HTML4.01（XHTML1.0, XHTML Basic1.0）準拠
動作記述言語	Java Script 1.5 サブセット
スタイルシート	CSS1 および CSS2 の一部
セキュア通信	SSL ver2/3, TLS1.0
プラグイン	なし

- 意匠・仕様・ソフトウェアは製品改良のため予告なく変更することがあります。
- テレビのV型（32V型など）は、有効動画面の対角寸法を基準とした大きさの目安です。
- このテレビを使用できるのは日本国内だけで、外国では放送方式、電源電圧が異なるため使用できません。
(This television set is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.)
- 本商品は、ご愛用終了時に再資源化の一助としておもなプラスチック部品に材質名表示をしています。
- 本商品の改造は感電、火災などのおそれがありますので行わないでください。
- イラスト、画面表示などは、見やすくするために誇張や省略などで実際とは多少異なります。
- 省エネルギーのため長時間テレビを見ないときは電源プラグを抜いてください。
- 年間消費電力量：年間消費電力量とは省エネルギー法に基づいて、型サイズや受信機の種類別の算出法により、一般家庭での平均視聴時間（4.5時間）を基準に算出した、一年間に使用する電力量です。
- 区分名：「エネルギーの使用の合理化に関する法律（省エネルギー法）」では、テレビに使用される表示素子、アスペクト比、画素数、受信可能な放送形態及び付加機能の有無等に基づいた区分を行っており、その区分名称を言います。
- 「JIS C 61000－3－2 適合品」 ― JIS C 61000－3－2 適合品とは、日本工業規格「電磁両立性一第3-2部：限度値一高調波電流発生限度値（1相当たりの入力電流が20A以下の機器）」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルに適合して設計・製造した製品です。
- 液晶画面は非常に精密度の高い技術で作られており、微細な画素の集合で表示しています。99.99%以上の有効画素があり、ごく一部（0.01%以下）に光らない画素や、常時点灯する画素などがありますが、故障ではありませんので、ご了承ください。
- 静止画をしばらく表示したあとで映像内容が変わった時に、前の静止画が残像として見えることがありますが、自然に回復します。（故障ではありません。）
- i.LINKとi.LINKロゴ「i.」は、ソニー株式会社の商標です。
- 著作権保護に対応したi.LINK対応機器には、デジタルデータのコピー・プロテクション技術が採用されています。この技術は、DTLA (The Digital Transmission Licensing Administrator)というデジタル伝送における著作権保護技術の管理運用団体から許可を受けているものです。このDTLAのコピー・プロテクション技術を搭載している機器間では、コピーが制限されている映像、音声、データでは、i.LINKでのデジタルコピーができない場合があります。また、DTLAのコピー・プロテクション技術を搭載している機器と搭載していない機器との間では、映像、音声、データのやりとりができない場合があります。
- この製品はドルビーラボトリーズからの実施権に基づき製造されています。
Dolby、ドルビー、及びダブルD記号はドルビーラボトリーズの商標です。
- 本製品には、インターネットブラウザとして（株）ACCESS社のNetFront DTVProfileを搭載しています。
- Copyright (C) 1996-2005 ACCESS CO.,LTD.
- NetFrontは、（株）ACCESSの日本およびその他の国における登録商標または商標です。
- 本製品の一部分にIndependent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています

※ 本製品は、マクロヴィジョン社ならびに他の権利者が保有する米国特許およびその他の知的財産権で保護された著作権保護技術を採用しています。この著作権保護技術の使用は、マクロヴィジョン社の許可が必要で、また、マクロヴィジョン社の特別な許可がない限り家庭用およびその他の一部の鑑賞用の使用に制限されています。分解したり、改造することも禁じられています。

※ この製品にはPPXP開発チームによって開発されたソフトウェアが含まれています。

※ この製品に含まれているソフトウェアをリバース・エンジニアリング、逆アセンブル、逆コンパイル、分解またはその他の方法で解析、及び変更することは禁止されています。

※ 国外で本品を使用して有料放送サービスを享受することは有料放送契約上禁止されています。
(It is strictly prohibited, as outlined in the subscription contract, for any party to receive the services of scrambled broadcasting through use of this television set in any country other than Japan and its geographic territory as defined by international Law.)

B-CASカードID番号記入欄

● 下欄にB-CASカードのID番号をご記入ください。
- お問い合わせの際に役立ちます。

保証とアフターサービス

必ずお読みください

ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談ならびに、お取り扱い・お手入れに関するご不明な点は **お買い上げの販売店にご相談ください。**

販売店に修理のご相談ができない場合

東芝家電修理ご相談センター

フリーダイヤル 0120-1048-41

携帯電話・PHSからのご利用は
東日本地区（北海道、東北、関東、甲信越、東海、沖縄県）044-543-0220
西日本地区（上記以外）06-6440-4411

電話で 24時間 365日 お応えします

お買い物、お取り扱いのご相談

東芝家電ご相談センター

フリーダイヤル 0120-1048-86

携帯電話・PHSからのご利用は 03-3426-1048
FAX 03-3425-2101（365日：8:00～20:00受付）

- 「東芝家電修理ご相談センター」「東芝家電ご相談センター」は東芝テクノネットワーク株式会社が運営しております。
- お客様からご提供いただいた個人情報は、修理やご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用いたします。
- 利用目的の範囲内で、当該製品に関連する東芝グループ会社や協力会社にお客様の個人情報を提供する場合があります。

※電話受付：365日・24時間受け付けます。　※フリーダイヤルは、携帯電話・PHSなど一部の電話ではご利用になれません。

ホームページに最新の商品情報などを掲載しておりますので、ご参照ください。
http：//www.toshiba.co.jp/product/tv/
※上記のアドレスは予告なく変更される場合があります。このような場合は、お手数ですが、東芝総合ホームページ（http://www.toshiba.co.jp/）をご参照ください。

保証書（別添）

●保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき内容をよくお読みのあと、たいせつに保管してください。

保証期間……お買い上げの日から1年間です。
B-CASカードは、保証の対象から除きます。

補修用性能部品の保有期間

●液晶テレビの補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後8年です。
●補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

部品について

●修理のために取りはずした部品は、特段のお申し出がない場合は弊社で引き取らせていただきます。
●修理の際、弊社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

修理を依頼されるときは～出張修理

●63ページにしたがって調べていただき、なお異常があるときは本体の電源を切り、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

■保証期間中は

修理に関しては保証書をご覧ください。保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

■保証期間が過ぎているとき

修理すれば使用できる場合には、ご希望によって有料で修理させていただきます。

■修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。	
技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の料金です。

■ご連絡いただきたい内容

項目	内容
品名	地上・BS・110度CSデジタルハイビジョン液晶テレビ
形名	32Z2000, 37Z2000, 42Z2000, 47Z2000
お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	付近の目印等も合わせてお知らせください。
お名前	
電話番号	
訪問ご希望日	
便利メモ お買い上げ店名	おぼえのため、ご購入年月日、ご購入店名を記入されると便利です。 TEL（　）　ー

廃棄時のお願い

●**一般の廃棄物といっしょにしないでください。**ごみ廃棄場で処分されるごみの中にテレビを捨てないでください。
本機の蛍光管の中には水銀が含まれています。廃棄の際は、地方自治体の条例または規則に従ってください。

愛情点検

長年ご使用の液晶テレビの点検をぜひ！
熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用の度合いによって部品が劣化し、故障したり、ときには安全性を損なって事故につながることもあります。

ご使用の際このような症状はありませんか?
●電源を入れても映像や音が出ない。
●映像が時々、消えることがある。
●変なにおいがしたり、煙が出たりする。
●電源を切っても、映像や音が消えない。
●内部に水や異物がはいった。

ご使用中止

このような場合、故障や事故防止のため、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、必ずお買い上げの販売店に点検・修理をご相談ください。
ご自分での修理は危険ですので、絶対にしないでください。

●有機物質を含んだ廃液が少ない、水なし印刷方式で作成しました。
●この印刷物は環境に配慮した植物性大豆油インキを使用しています。
●この印刷物は古紙配合率100%再生紙を使用しています。

〒105-8001　東京都港区芝浦1-1-1
※所在地は変更になることがありますのでご了承ください。

ちょっとした心づかいでテレビの安全

TD/T VX1A000270A0